

プロジェクト推進の考え方

2017.8.29 デザイン会議

報告事項

- (1) THANKS ONTOの実施について
- (2) 社会実験の実施概要及び進捗について
- (3) 住民WS & 設計施工者WS、照明改善等の実施
- (4) 第1号リノベ事業「cafe&pottery音」のオープンについて
- (5) ハード整備の進捗
 - ①設計協議進捗の報告
 - ②恩湯泉源調査と今後の対応
 - ③整備スケジュール
- (6) プロジェクトコンセプトについて
- (7) オーディション・ファンド等の進捗について
- (8) 地域観光プランニングカレッジの実施について
- (9) プロジェクトの情報発信について

(1) THANKS ONTOの実施について

イベントの目的

1427年の開湯から約600年の歴史を誇る長門湯本温泉。その中でも長きにわたり地元の人たちに愛されてきた共同浴場「恩湯」の建て替えにあたり、恩湯にこれまでの感謝を込めつつ、より良き未来のビジョンを共有するイベント

留意したキーワード

- × 大きな集客
- × 地域だけの満足・内輪感
- × プロデュースサイドだけの満足
- × 派手な演出
- コンパクトでこだわったクオリティ、統一感
- 地元の理解と空間の共有
- 過去への敬意、本物の価値との融合
- 心地よいプレイスメイキング、奉納感あるアンプラグドな音楽

計画から実施まで

4/7
開催・組織
決定

4/18
内容確定
発表

4/30
告知開始

5/18・19
関連イベント
実施

5/20
本イベント
実施

写真集制作プロ
ジェクトは継続中

運営体制

★非常に短い準備期間のため、アイデアをすぐに実現させる仕組みが必要だった。

時代にあった新しい
アイデア・ディレクション



country kitichen ウエダ
観光コンベンション山本
深川薫・坂倉、fantas 白石

イベントコンテンツ、出店者
の選定、デザイン統一
告知など

経験と信頼に基づく
多様なイベント実務



湯本温泉街みらい検討会議
湯本温泉旅館組合、まちづく
り協議会、地元自治会等

各種事前手続き、協賛のお
願い、当日の会場設営、
交通整理など

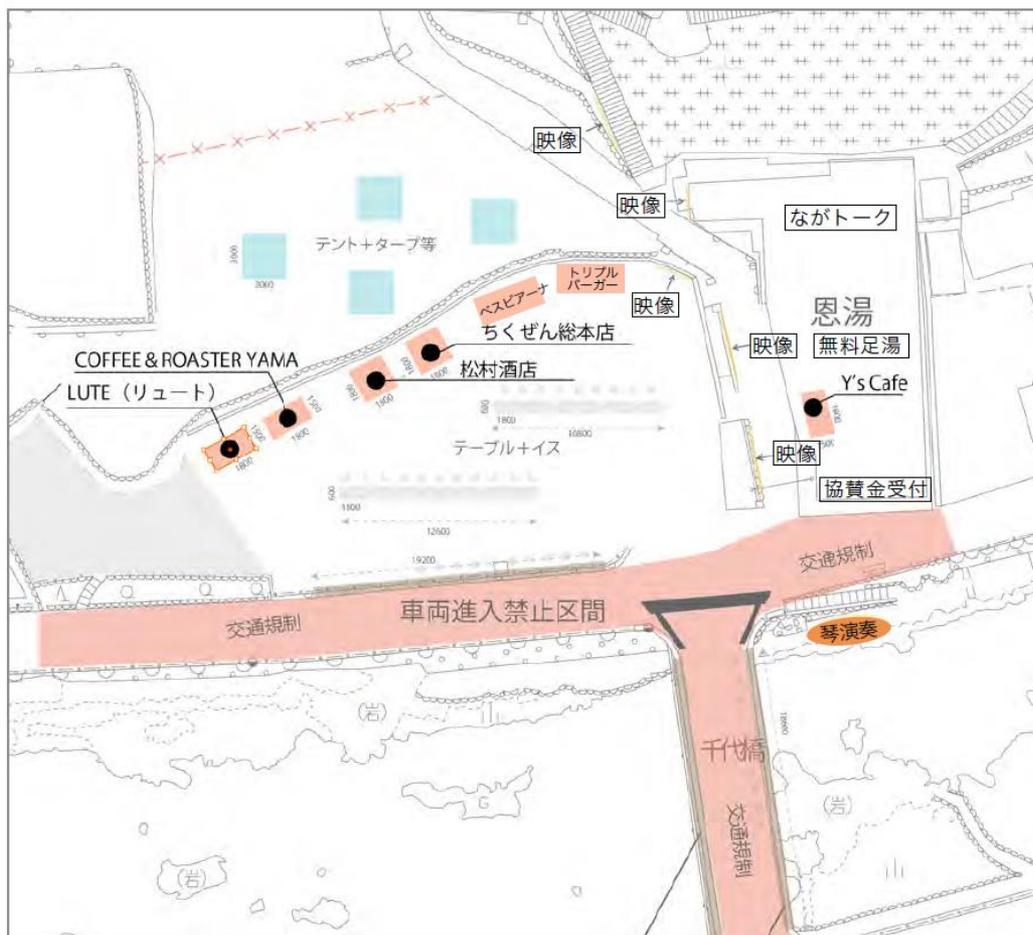
プロフェッショナル
によるディテールカアアップ



ハートビートプラン、LEM
空間工房、utrio design,
日本海コンサルタント等

トークイベント、空間演出、
出展ブース演出など

決定コンテンツ



フード＆ドリンク

集客の要となるフードは、話題の市外の店舗と、長門市の人気実力店をミックス。わざわざいきたいと思わせるレア感を強調。

ライブ音楽

恩湯へ感謝をささげる意図から「奉納感」のある和楽器琴の演奏者に決定。余分なBGMや過剰な音量は避けた。

トークイベント

長門市を楽しむトークイベント「ながトーク」と連携。ゆもと観光まちづくりの司令塔HBP泉氏とビジョンを共有する機会を提供。

空間演出

場所としての長門湯本温泉、音信川のポテンシャルを感じられる立体的な照明、映像のプロジェクト。

事前告知

★実施までの期間が短いために facebook による告知に重点

イベントポスター・フライヤー配布

フライヤー 500 部
ポスター 30 部

市内店舗等に配布

facebook ページ投稿

投稿回数 23 回

いいね 127
リーチ 7817

facebook 出店者、関連イベント紹介



【Thanks ONTO〜恩湯に感謝を込めて未来へ〜】
イベント開催のお知らせ
2797012192795835906/?type=3 上の歴史を誇る長門湯本温泉。その中でも長きに



関連イベント

恩湯無料貸切風呂 5/18・19の2日間、恩湯を無料貸切風呂として開放

恩湯無料貸切風呂のご案内

1427年の開湯から500年以上の歴史を誇る長門湯本温泉。その中でも長きにわたり長門市民に愛されてきた共同浴場「恩湯」が本年5月、建替えのために一旦営業を停止します。そこで湯本温泉街みらい検討会議では、恩湯への感謝と建替え後のさらなる発展を願うイベント「Thanks ONTO」プロジェクトの一環として、2017年5月18日、19日の2日間にわたり、恩湯の男湯・女湯を、予約制貸切風呂として無料開放いたします。昭和の風情を色濃く残す恩湯でのひと時を、ご家族、ご友人と是非お楽しみください。

開催日程	5月18日(木)・19日(金)
内容	貸切風呂
風呂	恩湯(男湯・女湯) ※お湯も、もしくは、お湯をお借りください。
利用時間	9:00 - 21:00 ※9時から1時間ごとの予約です。最終予約は20時です。
入浴時間	50分 ※次の予約のお客様の準備のため、50分とさせていただきます。
予約方法	要事前予約 ※下記、予約窓口までお電話ください。
受付事項	氏名、連絡先、人数、年齢、利用時間、男湯または女湯
対象者	1名からどなたでもご予約可能です。(先着順)
料金	無料
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・湯み付けのタオル、手鏡等にご用意しません。各自お持ちください。 ・浴場内への飲食物等持ち込みはご遠慮ください。その他、他のご利用者の迷惑になる行為をご遠慮ください。 ・ご予約は先着順です。ご希望日時に満たない場合もございます。

予約窓口：湯本まちづくり協議会 事務局 (湯本温泉旅館組合管内)
0837-25-3611
受付時間：5月13日(土) - 5月19日(金)
受付時間：10時 - 16時30分

Thanks ONTO
Thanks ONTOプロジェクトの詳細を随時更新中！
https://www.facebook.com/yumotonirai



地元の方を中心に
合計44組 約110名が
最後の恩湯を満喫。恩湯への
深い愛情を感じさせた。

恩湯 貸切風呂 予約表 2017年5月18日

予約番号	予約日時	予約人数	予約性別	予約料金	予約備考
001	5/18 9:00-10:00	1	男	0	
002	5/18 10:00-11:00	1	女	0	
003	5/18 11:00-12:00	3	男	0	
004	5/18 12:00-13:00	1	女	0	
005	5/18 13:00-14:00	2	男	0	
006	5/18 14:00-15:00	1	女	0	
007	5/18 15:00-16:00	1	男	0	
008	5/18 16:00-17:00	1	女	0	
009	5/18 17:00-18:00	1	男	0	
010	5/18 18:00-19:00	1	女	0	
011	5/18 19:00-20:00	1	男	0	
012	5/18 20:00-21:00	1	女	0	
013	5/19 9:00-10:00	1	男	0	
014	5/19 10:00-11:00	1	女	0	
015	5/19 11:00-12:00	3	男	0	
016	5/19 12:00-13:00	1	女	0	
017	5/19 13:00-14:00	2	男	0	
018	5/19 14:00-15:00	1	女	0	
019	5/19 15:00-16:00	1	男	0	
020	5/19 16:00-17:00	1	女	0	
021	5/19 17:00-18:00	1	男	0	
022	5/19 18:00-19:00	1	女	0	
023	5/19 19:00-20:00	1	男	0	
024	5/19 20:00-21:00	1	女	0	
025	5/19 9:00-10:00	1	男	0	
026	5/19 10:00-11:00	1	女	0	
027	5/19 11:00-12:00	3	男	0	
028	5/19 12:00-13:00	1	女	0	
029	5/19 13:00-14:00	2	男	0	
030	5/19 14:00-15:00	1	女	0	
031	5/19 15:00-16:00	1	男	0	
032	5/19 16:00-17:00	1	女	0	
033	5/19 17:00-18:00	1	男	0	
034	5/19 18:00-19:00	1	女	0	
035	5/19 19:00-20:00	1	男	0	
036	5/19 20:00-21:00	1	女	0	
037	5/19 9:00-10:00	1	男	0	
038	5/19 10:00-11:00	1	女	0	
039	5/19 11:00-12:00	3	男	0	
040	5/19 12:00-13:00	1	女	0	
041	5/19 13:00-14:00	2	男	0	
042	5/19 14:00-15:00	1	女	0	
043	5/19 15:00-16:00	1	男	0	
044	5/19 16:00-17:00	1	女	0	
045	5/19 17:00-18:00	1	男	0	
046	5/19 18:00-19:00	1	女	0	
047	5/19 19:00-20:00	1	男	0	
048	5/19 20:00-21:00	1	女	0	

清掃には、地元自治会やイベント
主催スタッフも自主的に多数参加し、
恩湯への感謝を込めた。

事前準備・会場設営

旅館組合、みらい検討会議、行政での事前協議や、会場設備のレンタル、設営作業等、地元メンバーを中心に



各種申請や通達などの協議



会場内の整備作業

日	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00
5月20日	警備員												
5月21日	警備員												

駐車場・警備シフト管理



設営機材準備作業



案内板等の設置



必要備品の調達



会場設営作業



備品返却作業

当日の様子

駐車場：food & drink エリア



欄干・川辺：琴演奏・角打ちエリア



当日の様子

恩湯内：トークイベント、足湯、協賛金受付



全体：恩湯、住吉神社、音信川



恩湯 御神像 抜魂の儀
平成28年5月29日
次 一 開式の辞
二 香読
三 読経
四 焼香
五 回向
六 閉式の辞

恩湯 抜魂の儀 2017.5.29 ⇒解体へ



セミナー「公民連携で稼ぐ温泉街再生」6/14



ながトークのネットワーク



Vol. 0 1/31 木村大吾さん



Vol. 1 3/1 LUTEさん



Vol. 2 3/29 内藤加奈さん



Vol. 3 5/20 泉 英明

ながトークのネットワーク



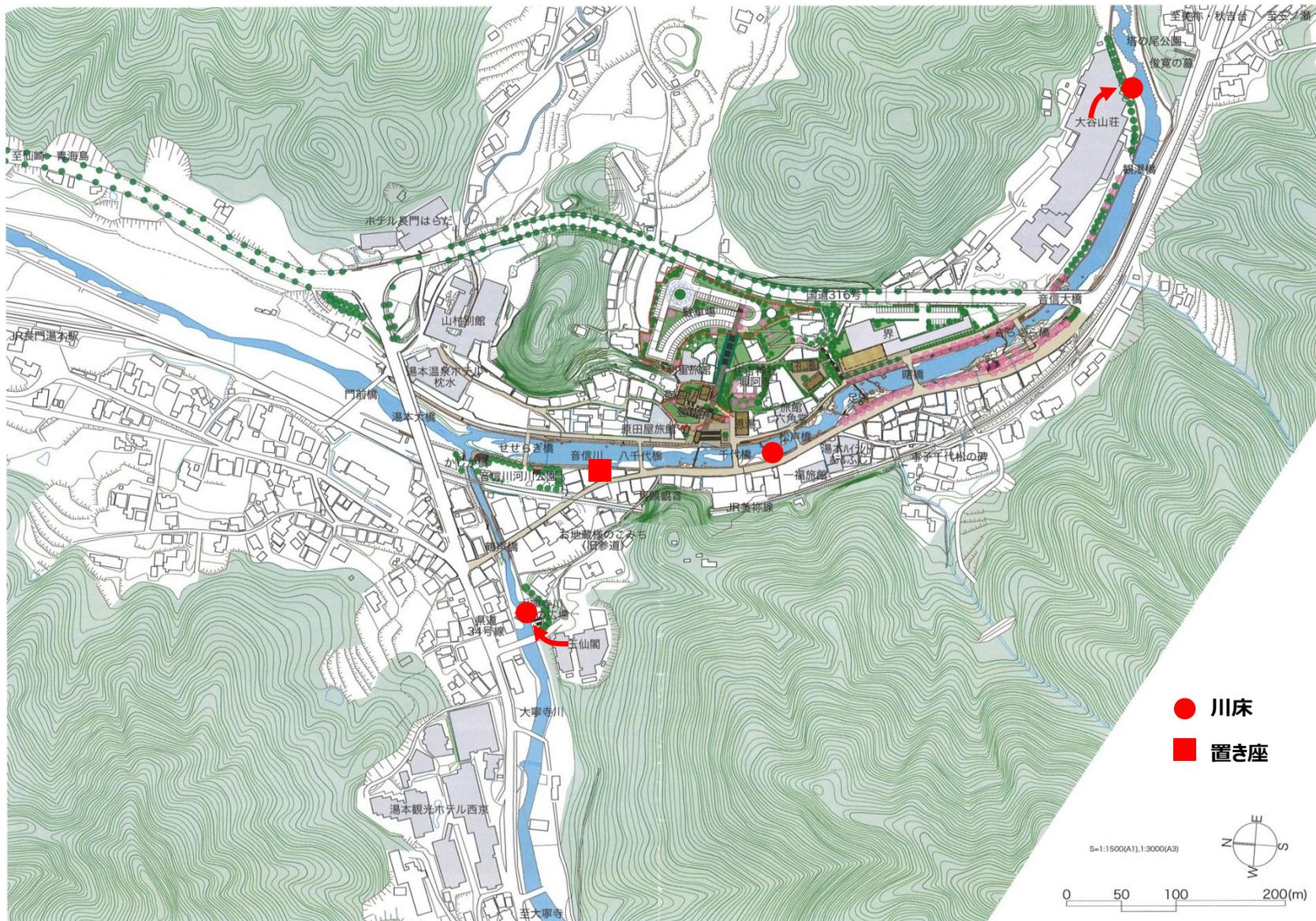
Vol.4 6/3 鈴木心さん



Vol.5 8/16 バンベニ 桃

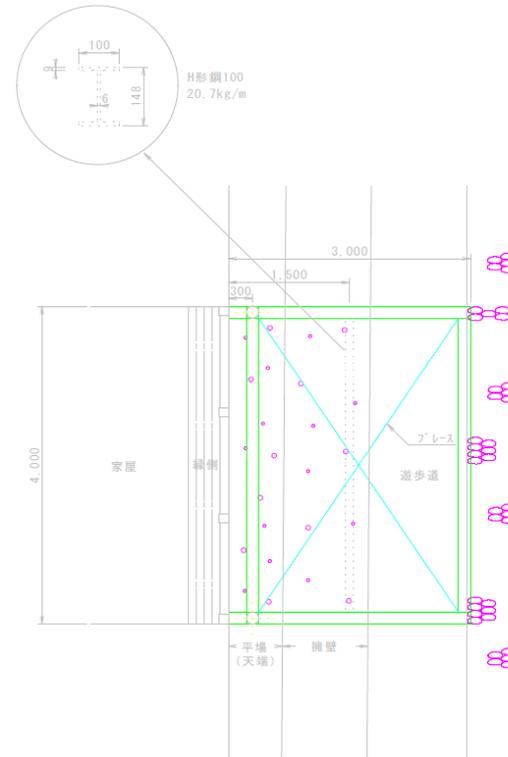
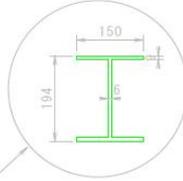
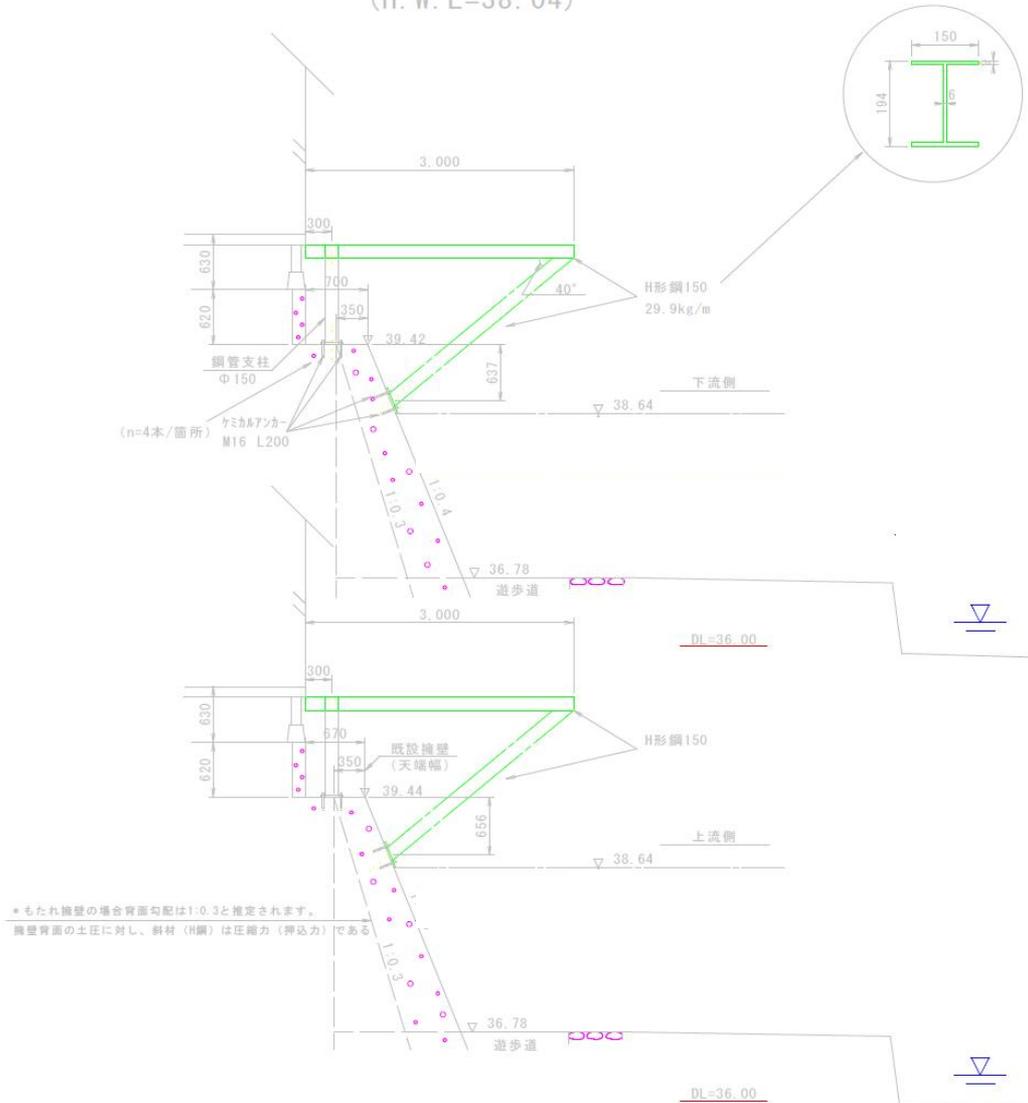
(2) 社会実験の実施概要及び進捗について

① 川床&置き座



置き座 (音カフェ)

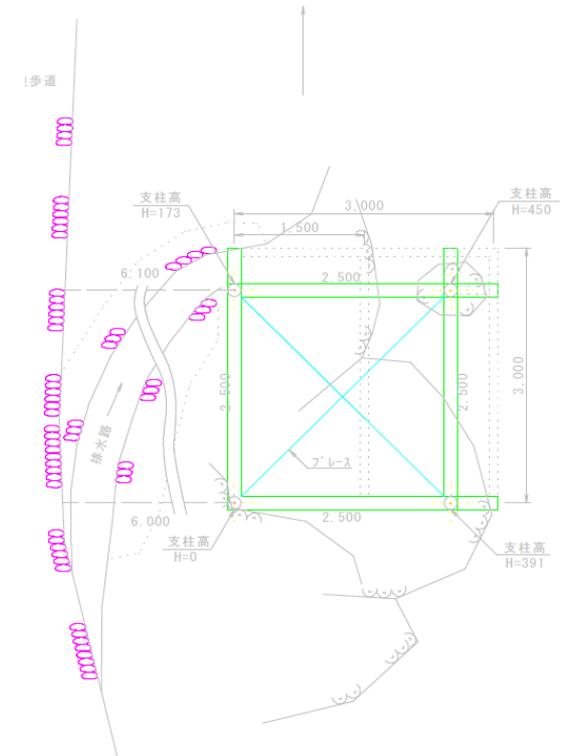
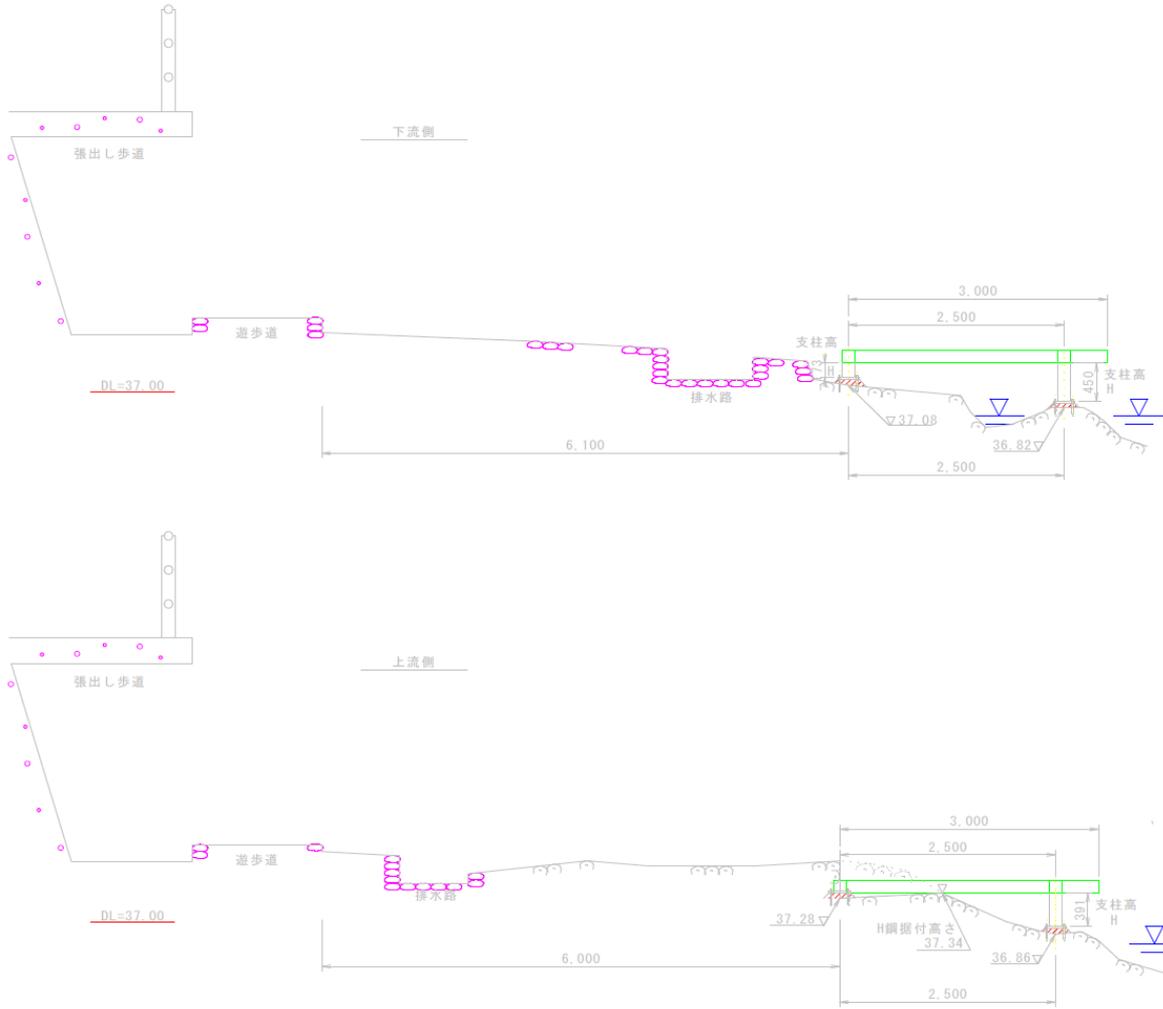
音信川① No. 117+10.0付近 S=1/50
(H. W. L=38.04)



川床 (恩湯前)

音信川③

No. 119+43.0付近 S=1/50
(H. W. L=39.03)

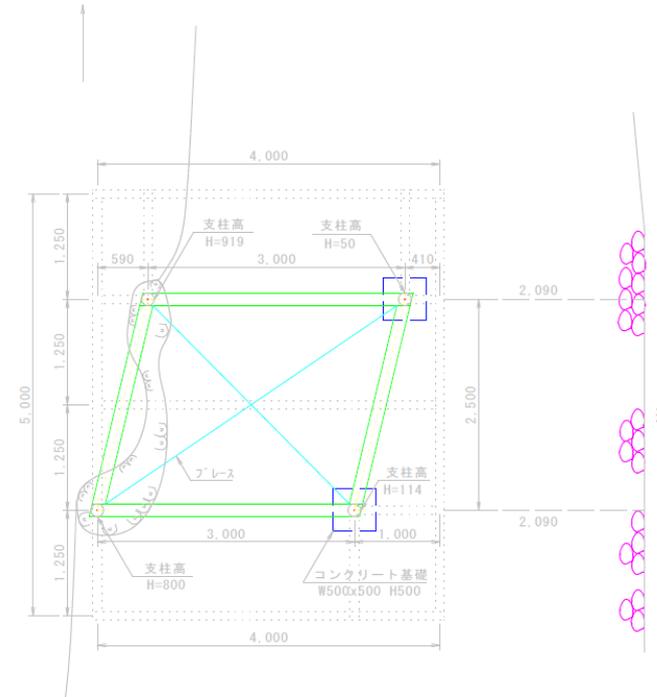
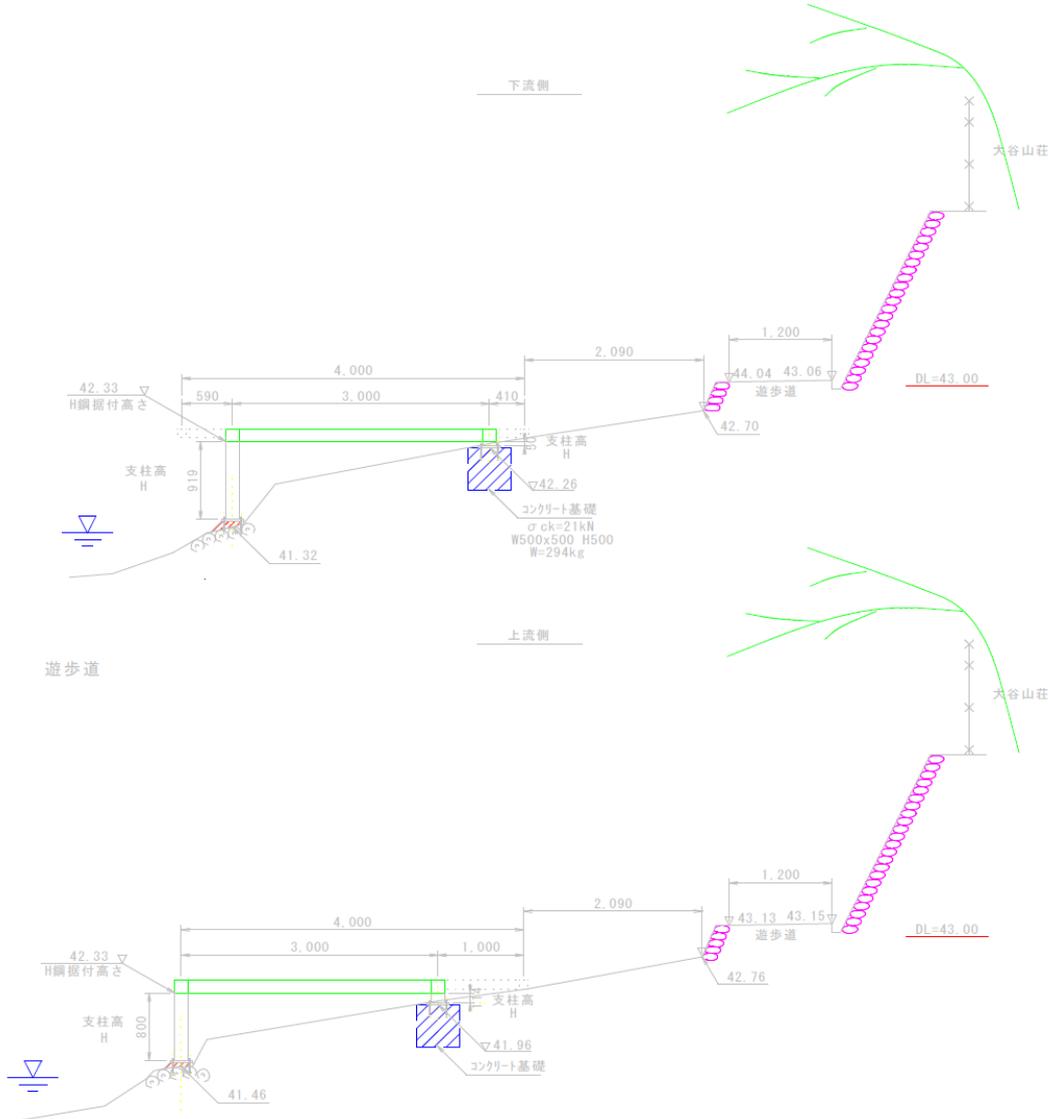


川床 (大谷山荘)

音信川⑥

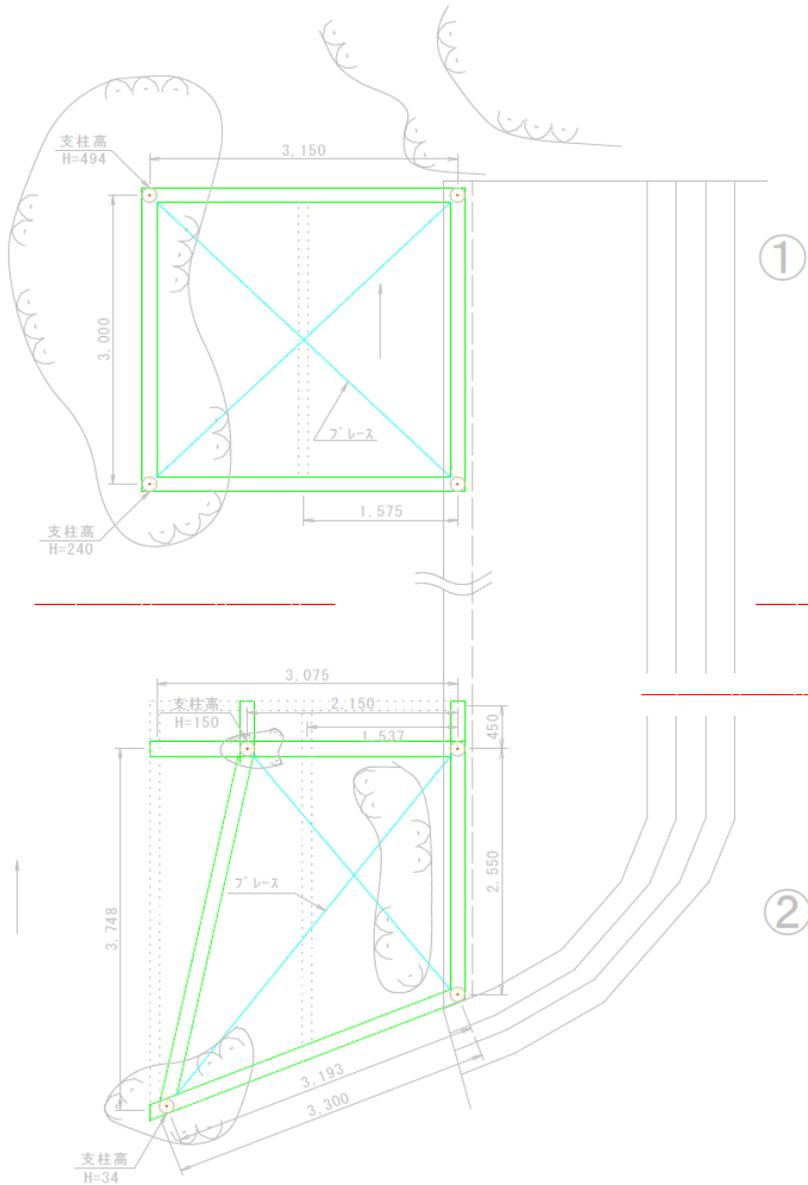
No. 130+24付近
(H. W. L=45.52)

S=1/50

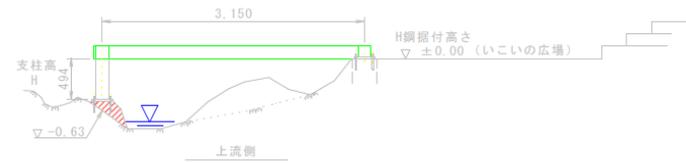


川床 (玉仙閣)

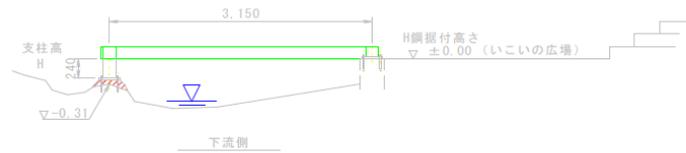
大寧寺川①、② S=1/50



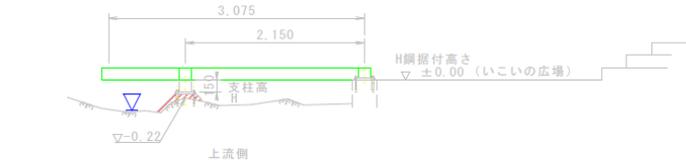
下流側



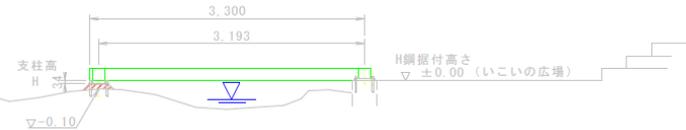
上流側



下流側



上流側



上流側

河川組合との協議（7/24）

【社会実験・川床設置について】

社会実験の内容に問題は無い

川を直接照らすような照明は魚が弱ってしまうので注意

川にみんなの意識が向くことは良い

【川の状況について】

昔は九州から釣り人が来るほど魚が釣れた

今は山もスギやヒノキばかりでどんどん山も川も痩せていっている

河川も安全対策によって魚の棲み処は無くなってしまっている

昔のように大きく育たなくなっている

水質は昔とほとんど変わっていない

今でもカニを捕ったりはしている

【河川組合のやっていること】

年3回川の掃除をしている

13か所でアユ、カニ、ウナギの放流をしている

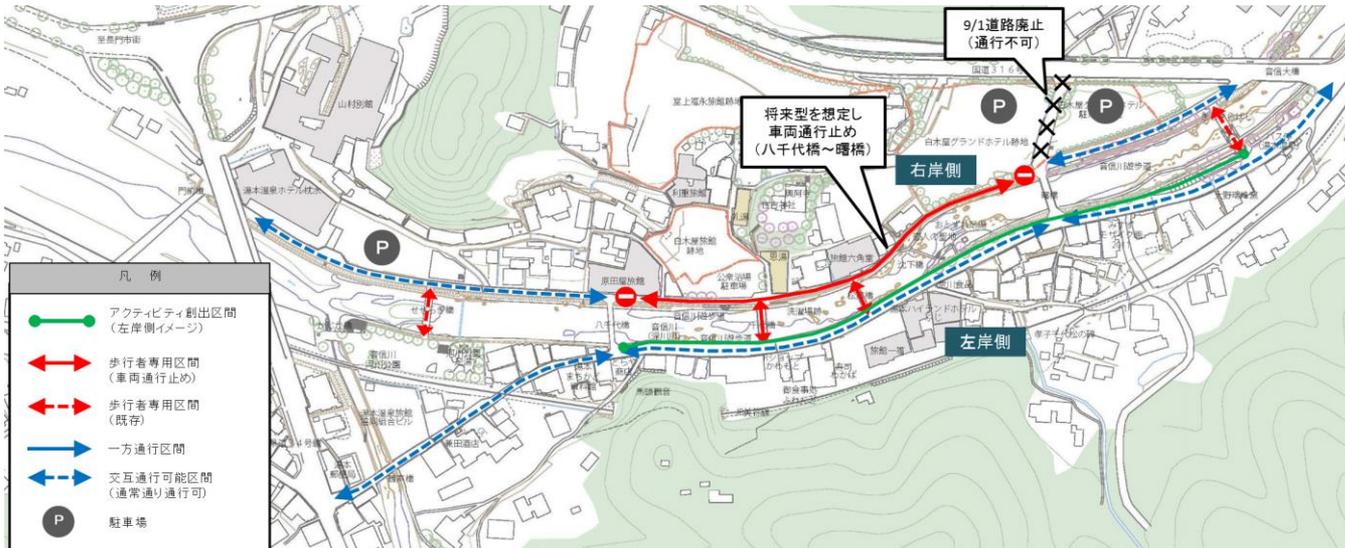
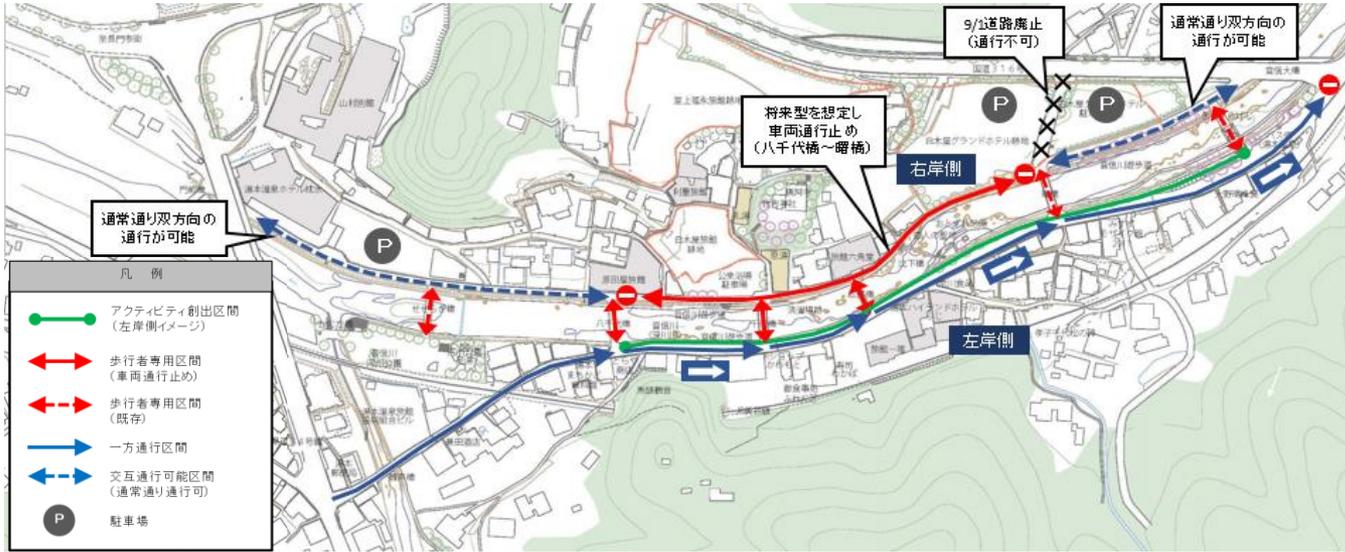
PTAからの依頼で投網の体験なども行っているが、学校では川に入るなど教えられている。

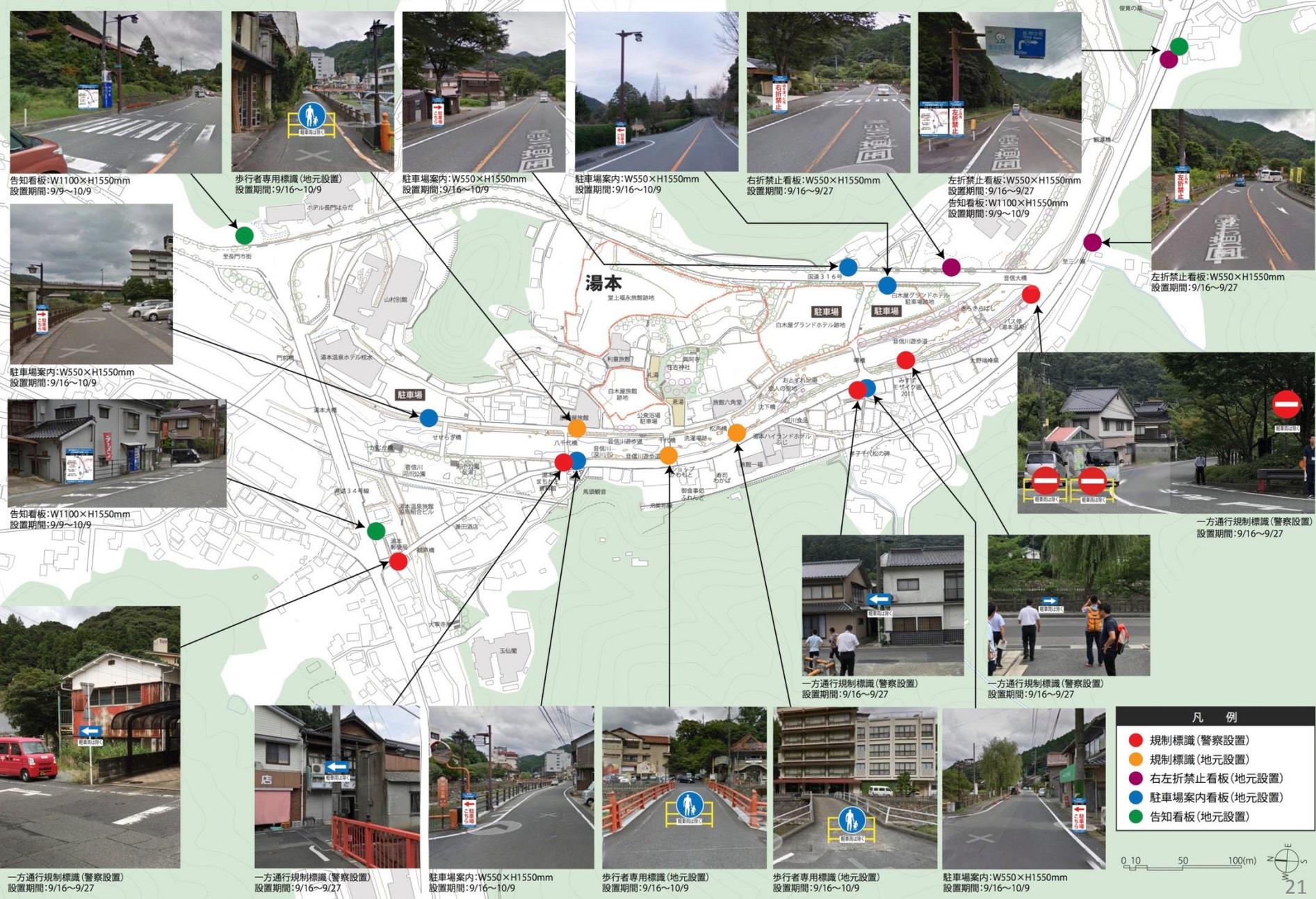
現状を守るのが精一杯

組織も高齢化が著しい（組合員85人）



②交通再編 & 道路空間プレイスメイキング





告知看板:W1100×H1550mm
設置期間:9/9~10/9

歩行者専用標識(地元設置)
設置期間:9/16~10/9

駐車場案内:W550×H1550mm
設置期間:9/16~10/9

駐車場案内:W550×H1550mm
設置期間:9/16~10/9

右折禁止看板:W550×H1550mm
設置期間:9/16~9/27

左折禁止看板:W550×H1550mm
設置期間:9/16~9/27
告知看板:W1100×H1550mm
設置期間:9/9~10/9

左折禁止看板:W550×H1550mm
設置期間:9/16~9/27

駐車場案内:W550×H1550mm
設置期間:9/16~10/9

告知看板:W1100×H1550mm
設置期間:9/9~10/9

一方通行規制標識(警察設置)
設置期間:9/16~9/27

一方通行規制標識(警察設置)
設置期間:9/16~9/27

一方通行規制標識(警察設置)
設置期間:9/16~9/27

一方通行規制標識(警察設置)
設置期間:9/16~9/27

一方通行規制標識(警察設置)
設置期間:9/16~9/27

駐車場案内:W550×H1550mm
設置期間:9/16~10/9

歩行者専用標識(地元設置)
設置期間:9/16~10/9

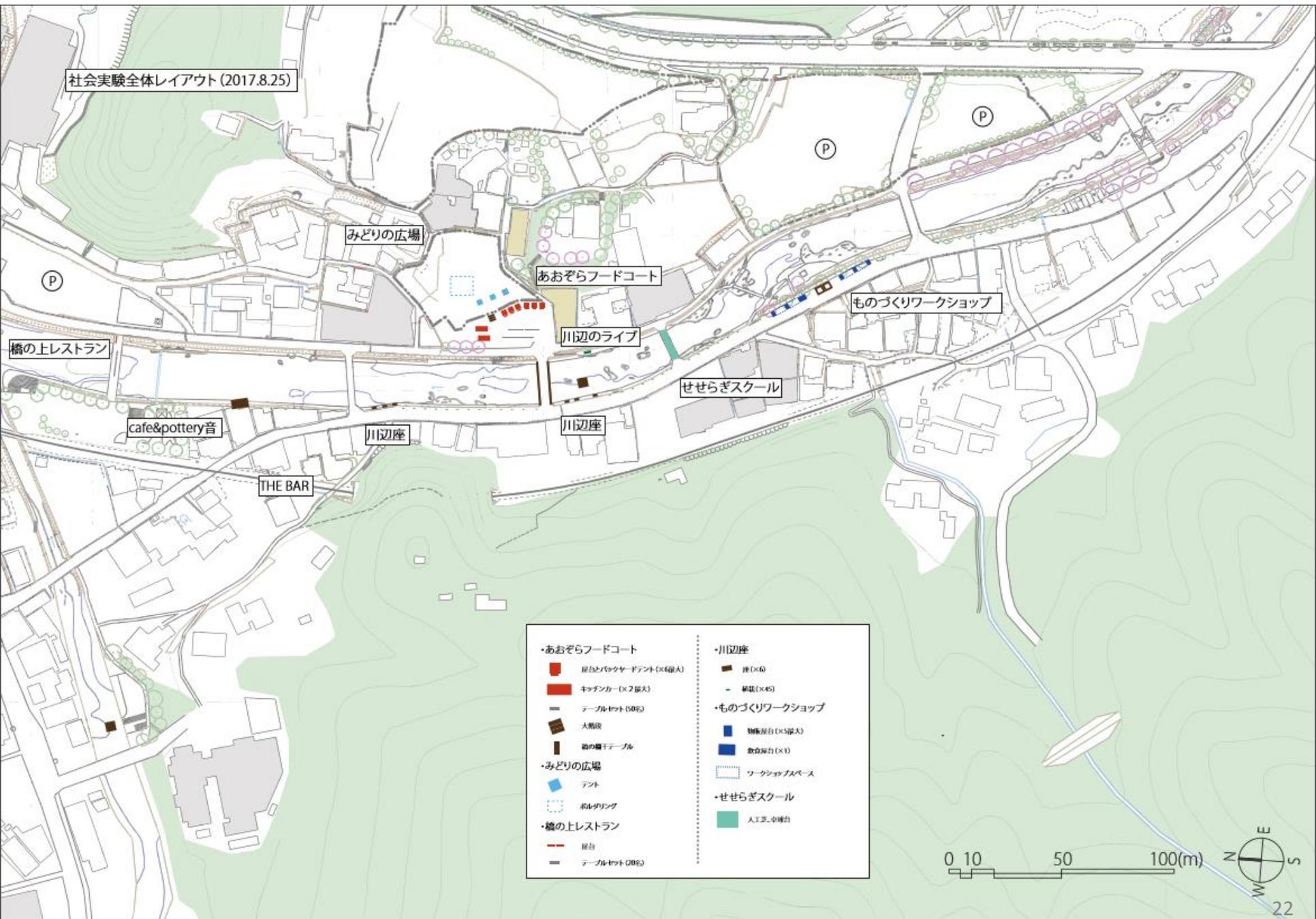
歩行者専用標識(地元設置)
設置期間:9/16~10/9

駐車場案内:W550×H1550mm
設置期間:9/16~10/9

- 凡例
- 規制標識(警察設置)
 - 規制標識(地元設置)
 - 右左折禁止看板(地元設置)
 - 駐車場案内看板(地元設置)
 - 告知看板(地元設置)



社会実験全体レイアウト (2017.8.25)

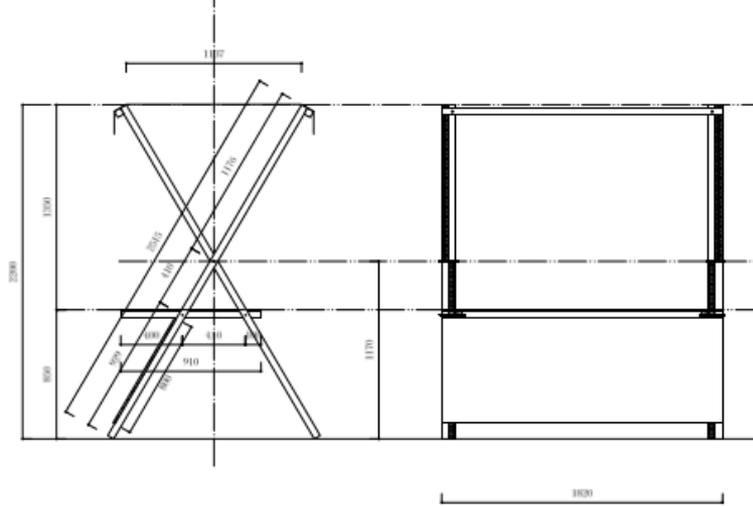


- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・あおぞらフードコート ■ 屋上バタキヤードテント (×4個) ■ キッチンカー (×2台) ■ テーブルセット (20席) ■ 大階段 ■ 島の欄干テーブル ・みどりの広場 ■ フォント ■ 木のリング ・橋の上レストラン ■ 屋台 ■ テーブルセット (20席) | <ul style="list-style-type: none"> ・川辺座 ■ 座 (×6) ■ 観覧 (×4) ・ものづくりワークショップ ■ 物販屋台 (×5個) ■ 教員屋台 (×1) ■ ワークショップスペース ・せせらぎスクール ■ 人工芝、卓球台 |
|--|--|

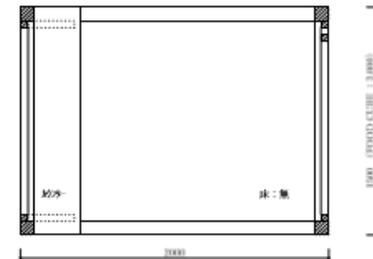
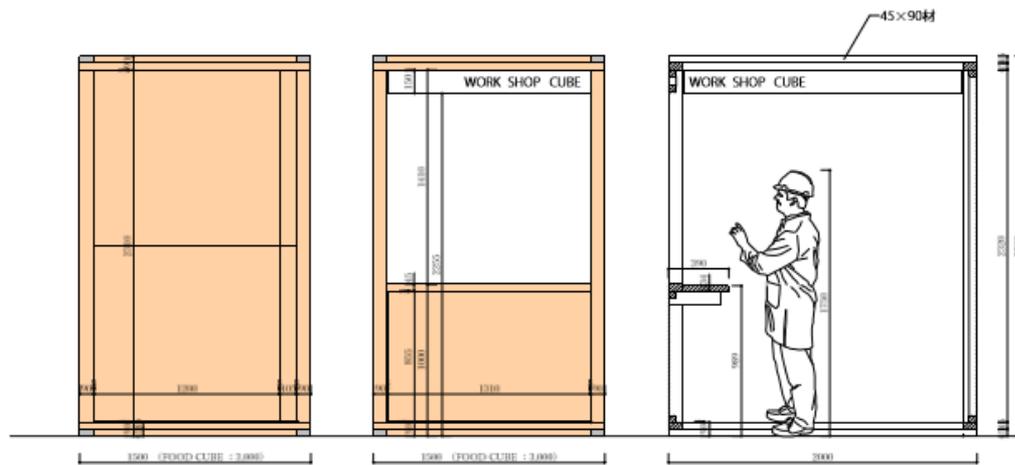
0 10 50 100(m)



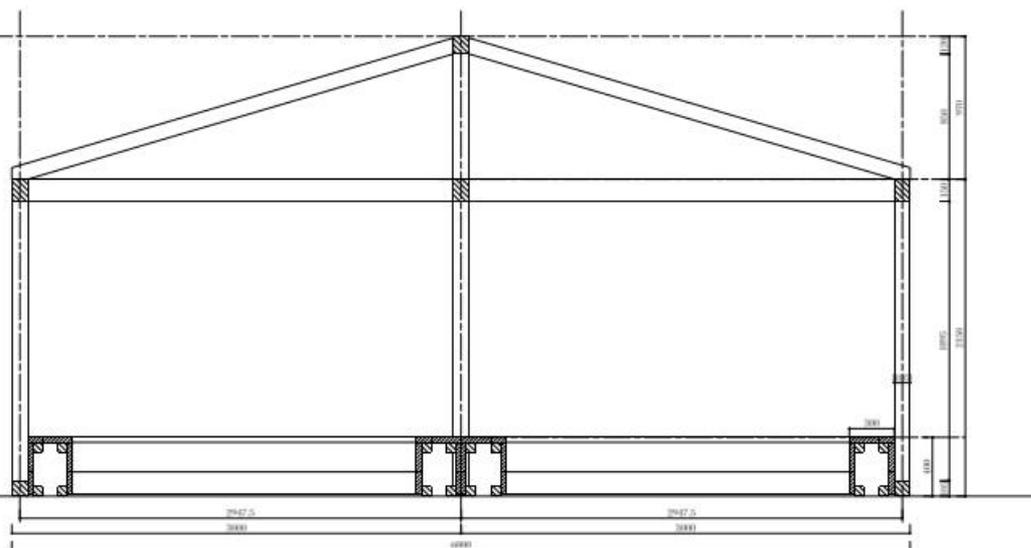
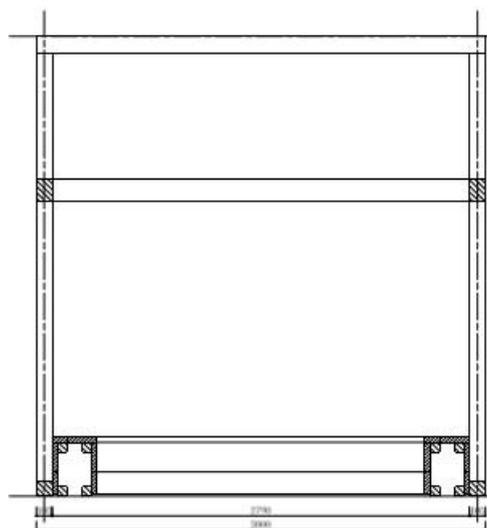
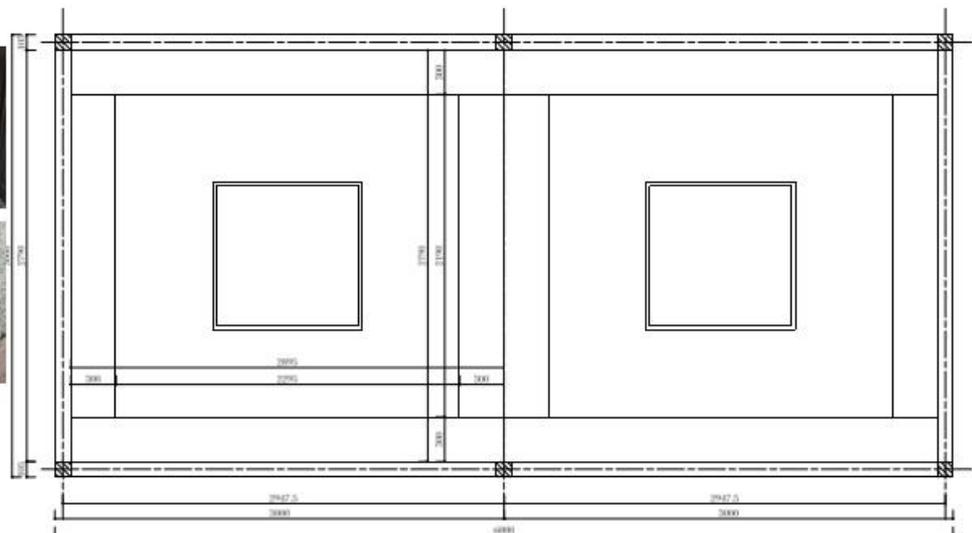
YataY 屋台: X



屋台: CUBE



恩湯ベンチ



川辺座

①とらや商店前



①R ショップ川本前



③照明・夜のそぞろ歩き

【目的】 「選ばれる温泉地」に相応しい夜間景観の探索と実現性の検証

【実験項目】 *一度にすべて実施する必要はなく、協議の上段階を迫って実施するのも良い

1 川床に最適なあかり手法の探索

内容：・川床で使用する照明器具の設置運営
 ①ソーラー行灯、掛け提灯、手提げ提灯
 ②ハイボールスポットライト等外側から
 ③水中照明等河川内設置物
 ・置き座への照明器具の設置 ③と連動

実施期間：2017年9月16日(土)～10月9日(月)

*河川空間活用の実験と同期間

実施主体：河川空間活用社会実験の実施団体

費用：①実施者負担 ②③協議の上実施



2 公共エリアの改善イメージの共有

内容：・重要な公共景観資源のライトアップ
 (千代橋、せせらぎ橋、アーチ等)
 ・足湯からのビューの探索
 (街路樹ライトアップ、石垣演出等)
 ・事務局が設置する滞留空間等の演出

実施主体：行政及び照明デザイナーチーム

実施期間：2017年9月16日(土)～10月9日(月)



3 民間施設を利用した、地域景観向上策の検討

内容：・軒先への「長門提灯」の設置
 (共通のデザインなど検討)
 ・旅館や店舗などの照明改修、色温度改善
 ・住吉神社への照明設置 (参道・境内)

実施主体：住民、民間事業者、寺社仏閣
 各種団体 (内容により相談)

実施期間：2017年9月16日(土)～10月9日(月)

費用：提灯は社会実験予算で購入し、支給
 その他は実施者の自己負担もあり

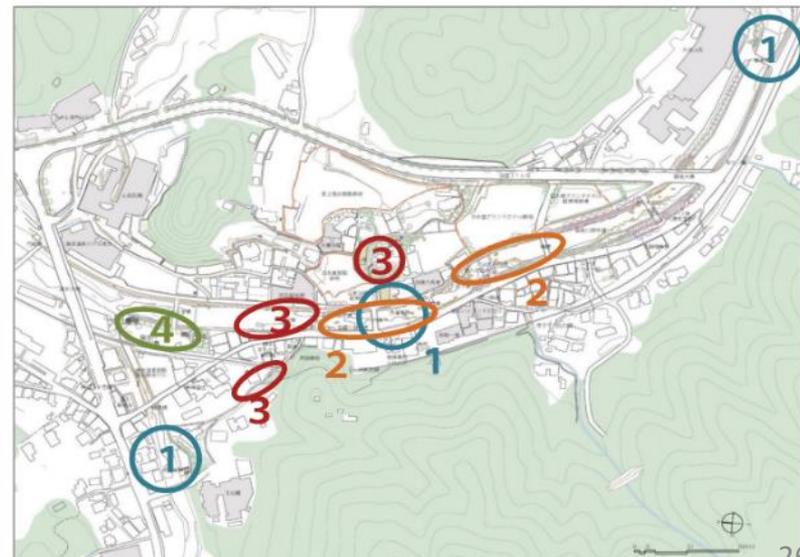
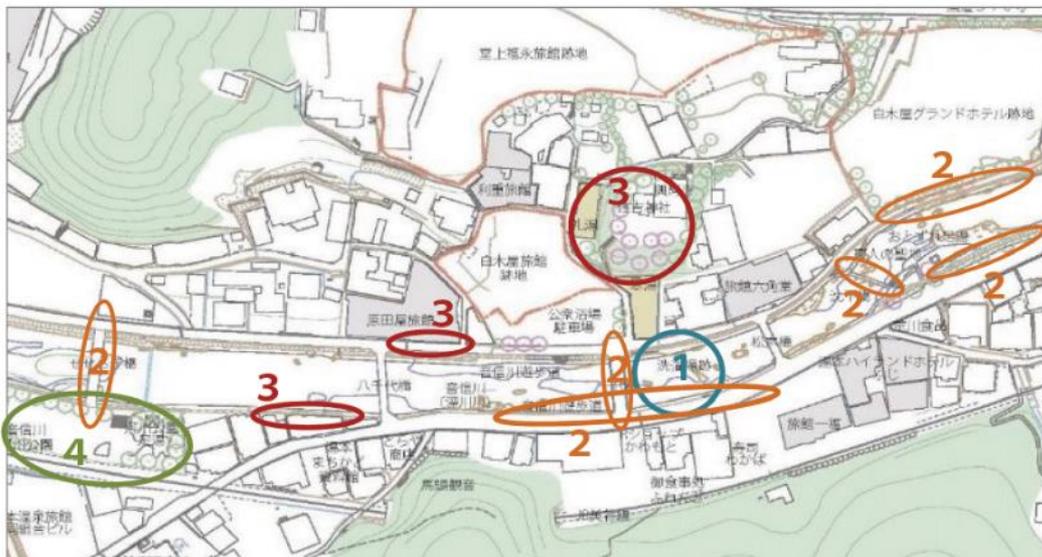


4 既存あかりイベントの進化実験

内容：コア期間において、夜間の灯りイベント
 の企画及び実施
 *イベントスケジュールを吟味し、
 本社会実験にてプレ実施。
 実イベント時に進化形を実施。

実施主体：住民の方、旅館組合などの団体

実施期間：プレ：2017年9月16日(土)～18日(月)
 10月7日(土)～9日(月)の
 どちらか2日間



■ 照明社会実験 項目リスト・・・全20項目

1) 川床に最適なあかり手法の探索



No	イメージ	場所・項目	検証事項	期間	使用機材	機材画像
① 川床に最適なあかり手法の探索		川床用照明①-A (置き座も同様) ソーラー置き行灯を出し入れする	<input type="checkbox"/> 運営出し入れが可能かどうか <input type="checkbox"/> 照明効果の検証 <input type="checkbox"/> 実施イメージの共有	2017年9月16日(土)～10月9日(月祝) 河川空間活用社会実験に合わせて実施	ソーラー置き照明、	
		川床用照明①-B (置き座も同様) 手持ち提灯を使ってみる	<input type="checkbox"/> 使い勝手の検証 (歩行・着座) <input type="checkbox"/> 照明効果の検証 <input type="checkbox"/> 実施イメージの共有	2017年9月16日(土)～10月9日(月祝) 河川空間活用社会実験に合わせて実施	手持ちLED提灯	
		川床用照明③ 川床の基礎に水中照明を設置	<input type="checkbox"/> 常設の可能性の検証 <input type="checkbox"/> 実施イメージの共有 <input type="checkbox"/> 照明効果の検証	2017年9月16日(土)～10月9日(月祝) 河川空間活用社会実験に合わせて実施	テーブルライト	
		川床用照明④ (川床・飛び石・足湯を想定) 護岸上にスポットライト付ポールを立て、 狭角で川床を照射 (今回の実験では沈下橋を照射)	<input type="checkbox"/> 実施イメージの共有 <input type="checkbox"/> 照明効果の検証	2017年9月16日(土)～10月9日(月祝)	スポットライトポール *既存照明柱にバンド固定	
		オリジナル提灯の設置	<input type="checkbox"/> 実施イメージの共有 <input type="checkbox"/> 照明効果の検証	2017年9月16日(土)～10月9日(月) 河川空間活用社会実験に合わせて実施	オリジナル提灯	
					提灯用ランプ・ケーブル	

2) 公共エリアの改善イメージの共有



② 公共エリアの改善イメージの共有

8		千代橋 欄干間接照明	<input type="checkbox"/> 改善イメージの共有 <input type="checkbox"/> 照明効果の検証	2017年9月16日(土)～10月9日(月祝)	テープライト	
9		恩湯前護岸 アーチライトアップ	<input type="checkbox"/> 改善イメージの共有 <input type="checkbox"/> 照明効果の検証	2017年9月16日(土)～10月9日(月祝)	蛍光灯(既存) + 色温度変換フィルター	
10		せせらぎ橋 主塔カラーライトアップ 橋梁の側面ライトアップ・足元照明の改善	<input type="checkbox"/> 改善イメージの共有 <input type="checkbox"/> 照明効果の検証	2017年9月16日(土)～10月9日(月祝)	LED投光器等	
11		足湯からのビュー 河川内からの石垣のライトアップ	<input type="checkbox"/> 改善イメージの共有 <input type="checkbox"/> 照明効果の検証	2017年9月16日(土)～18(月祝)	LED投光器	
12		足湯からのビュー 樹木ライトアップ(ソテツを照射)	<input type="checkbox"/> 改善イメージの共有 <input type="checkbox"/> 照明効果の検証	2017年9月16日(土)～10月9日(月祝)	クリップライト	
13		音信川沿い道路 一部分手摺照明	<input type="checkbox"/> 改善イメージの共有 <input type="checkbox"/> 照明効果の検証	2017年9月16日(土)～18(月祝)	電池式LED光源 +和紙塗布アクリルカ バー	
14		音信川沿い道路(石垣上想定) ソーラー照明①	<input type="checkbox"/> 改善イメージの共有 <input type="checkbox"/> 照明効果の検証	2017年9月16日(土)～18(月祝)	ソーラー灯具	
15		音信川沿い遊歩道(河川内) ソーラー照明②	<input type="checkbox"/> 改善イメージの共有 <input type="checkbox"/> 照明効果の検証 <input type="checkbox"/> オリジナル素材の検討(萩焼・名栗・石州瓦)	2017年9月16日(土)～18(月祝)	ソーラー低ポール照明	
16		地藏の小道 竹林ライトアップ	<input type="checkbox"/> 改善イメージの共有 <input type="checkbox"/> 照明効果の検証	2017年9月16日(金) 2時間程度	LED投光器	

3) 民間施設を利用した、地域景観向上策の検討

③ 民間施設を利用した、地域景観向上策の検討	17		住吉神社 社殿、樹木ライトアップ	<input type="checkbox"/> 改善イメージの共有 <input type="checkbox"/> 照明効果の検証	2017年9月16日(土)~10月9日(月祝)	LED投光器	
	18		軒先への「長門提灯」の設置	<input type="checkbox"/> 実施イメージの共有	2017年9月16日(土)~10月9日(月祝)	提灯・電源タイプ 提灯・電池タイプ	
	19		旅館や店舗の照明改修、色温度改善	<input type="checkbox"/> 実施イメージの共有	2017年9月16日(土)~10月9日(月祝)	電球色LEDランプなど ※個別に異なる	—
④ 想定したイベント演出	20		河川公園 桜の季節に実施(延期) 桜ライトアップ(カラー演出)	<input type="checkbox"/> 改善イメージの共有 <input type="checkbox"/> 照明効果の検証	2017年10月7日(土)~9日(月祝) (じゃらんじゃらん)	RGB投光器	
	21		飲食屋台の夜間営業用照明	<input type="checkbox"/> 実施イメージの共有	2017年9月16日(土)~18(月祝)、 2017年10月7日(土)~9(月祝) 空間活用社会実験に合わせて実施		

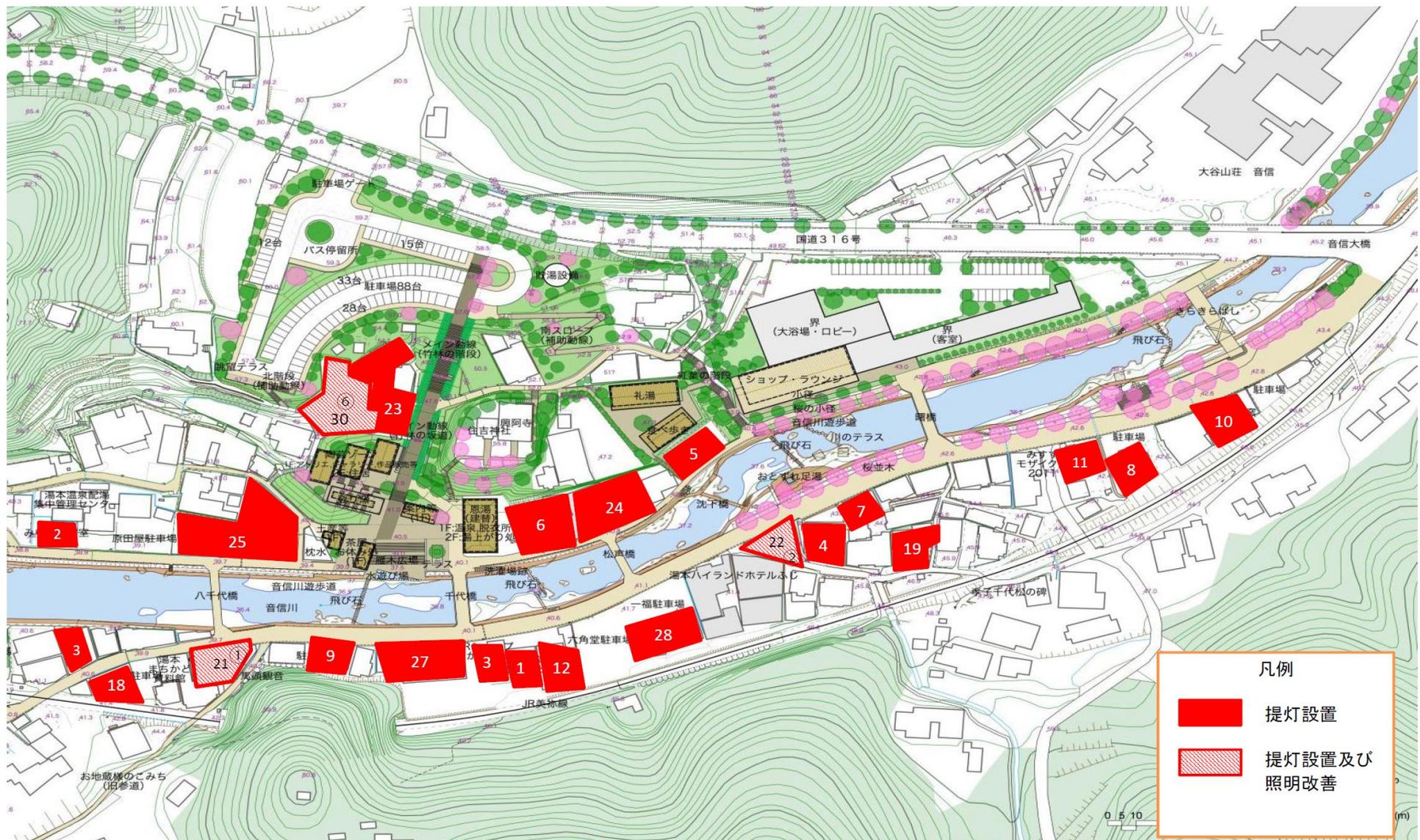
◇軒先への「長門提灯」の設置

申込数・・・住宅17軒、店舗・旅館15軒

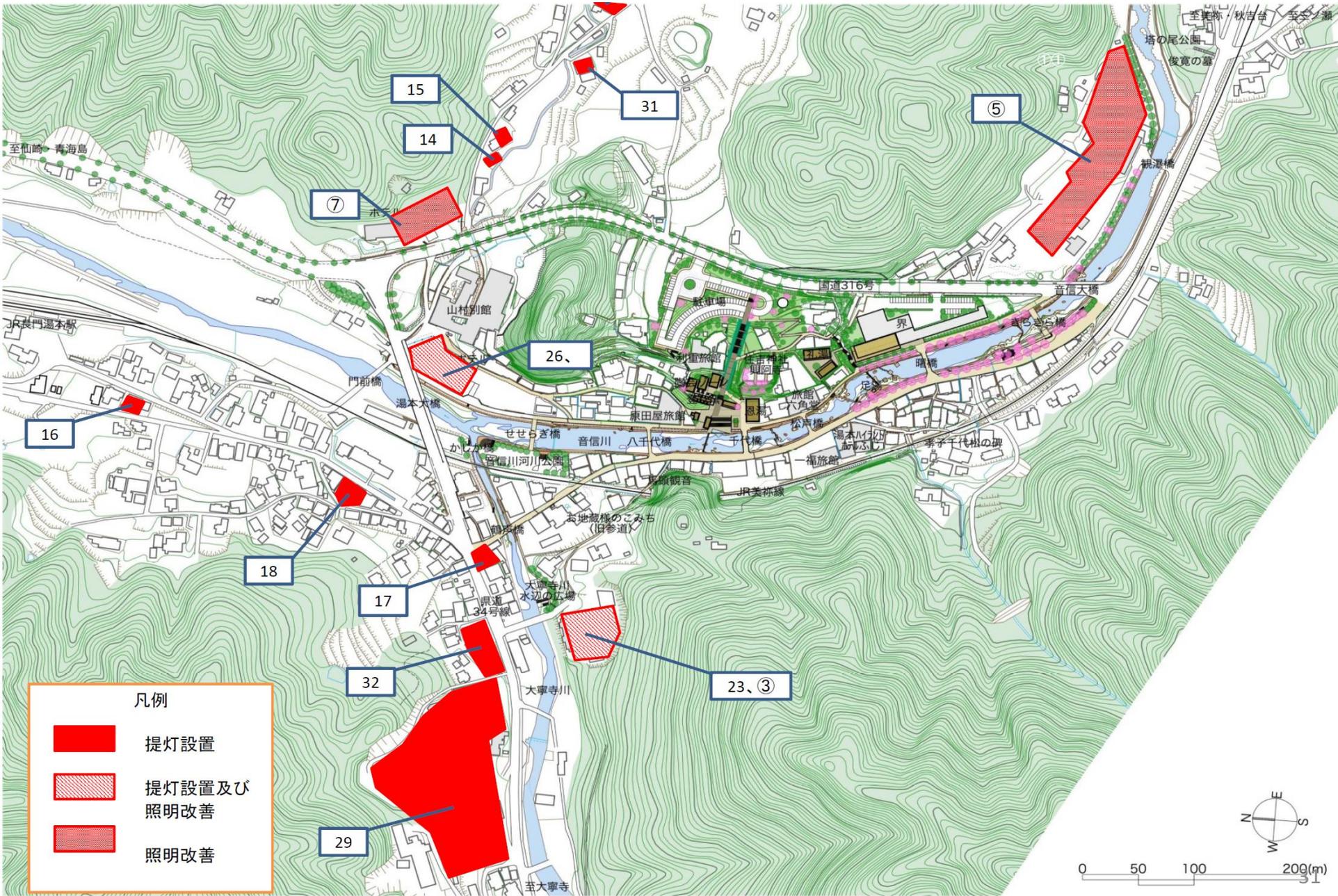
総数50個！



「長門提灯」の設置マップ①



「長門提灯」の設置マップ②



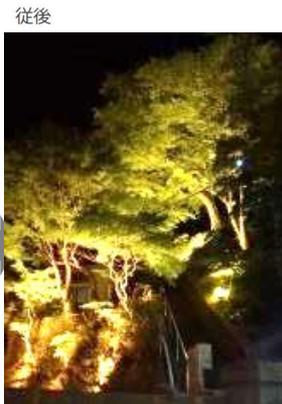
◇住吉神社参道・境内ライトアップ

■住吉神社の照明計画について

LEM DESIGN STUDIO Co.,Ltd.

住吉神社は、年月を超えて地域の人々に愛されてきた大切な場所です。
住民ワークショップでも多くの方が、住吉神社を大切なランドマークであると認識しています。
しかしながら現在の住吉神社は、夜間には真っ暗で不安な環境であり、改善が必要だといえます。
今回の社会実験の機会をきっかけに、住吉神社参道と社殿をライトアップすることによって
夜間にも安全安心な地域のシンボルとすることを検討願えればと思います。

従後 静かなたずまいでありながら、安心感と安らぎのある夜の住吉神社を演出します。



5月の恩湯イベントの際の試験点灯の様子。普段闇に沈んでいる立派な樹木がライトアップされ、安心安全にも寄与しています。



従後のイメージ



■配灯計画



■使用機器：

① LED投光器 13台



メーカー：KOYA JAPAN Lighting
品番：SPC50-FL1-1WW-50/120
価格：¥20,000 (納入価格、税別)
電圧：AC100-200V
消費電力：50W
ビーム角：50度
色温度：3000K

*社殿の機材は小さいものに変更する可能性があります。

② LED防犯灯 2台



メーカー：Panasonic
品番：NNY20327K
価格：¥20,000 (定価、税別)
電圧：AC100
消費電力：7.7W
色温度：3000K

■電気料金

合計665.4W

1日4時間点灯の場合 月額・・・2156円

従前



プロジェクトミーティング

第1回 2017年8月3日（木）

① 15:00～17:00 ② 19:00～21:00

- ・プロジェクトの趣旨説明
- ・国内外の公共空間の活用事例紹介
- ・各プログラムの概要紹介
- ・今後のスケジュール確認
- ・応募者同士の交流 など



第2回 2017年8月16日（水）

① 15:00～16:00 ② 18:00～19:00

- ・運営の詳細について
- ・広報内容の確認
- ・応募者同士の交流など



第3回 2017年10月下旬予定

- ・実施感想共有・振り返り
- ・今後の活用に向けてのアイデア出し など

おとずれリバーフェスタMAP 2017 9月 16 17 18 10月 7 8 9

🍴 フード、ドリンク 🛍️ 雑貨販売 🏠 ワークショップ 🎵 ライブ
あおぞらフードコート

開催時間 15:00~21:00

開催時間 12:00~21:00

出店日時は各店舗で異なりますので、下記にてお確かめください。また店舗によっては売り切れ等の理由により、早めに閉店する場合があります。予めご了承ください。

～薪焼きピッツアや自家焙煎コーヒー等のこだわりグルメから家具職人や陶芸家などのワークショップ、手作り雑貨も集合～

- | | |
|---|---|
| 🍴 タカダコーヒー 9/16-18(15-21時) | 🍴 YoroZuFarm 9/17(15-21時), 10/8(12-17時) |
| 🍴 yuQuri 9/17.18(15-21時) | 🍴 松村酒店 9/16-18(15-21時), 10/8,9(15-21時) |
| 🍴 ちくぜん・とまりぎ 9/16-18, 10/7-9(15-21時) | 🍴 薪窯ピッツァ VESUVIANA 10/7, 10/9(15-21時) |
| 🍴 ララフラン 9/16.17(15-21時) | 🍴 COFFEE&ROASTER YAMA 10/8(12-17時), 9(15-21時) |
| 🍴 ツムグお台所 9/17.18(15-21時), 10/8(12-19時), 9(15-21時) | 🍴 ユーカリとタイヨウ 10/8(12-17時) |
| 🏠 秘密基地ワークショップ 9/17(14-19時) | 🏠 ボルダリングジムユニティ 10/7.8(12-19時) |

臨時駐車場②

橋の上レストラン

🍴 La Ceiba 9/16 (17-21時)
🍴 La Tierra 10/9 (17-21時)

川辺のライブ&トーク

- 🎵 ハンマーダルシマー生演奏(藤沢 由一) 9/17.18, 10/8.9(17時, 19時)
- 🎵 ながトーク vol.06 (ゲスト塩満直弘) 10/9(19時~)

川沿いカフェ&バー

🍴 cafe&pottery 音 9/16-18, 10/7-9 (11-21時)
🏠 薪焼深川窯 陶芸体験 9/17.18 (13-18時)
🍴 THE BAR OSAKA 10/7-9 (17-翌1時)

臨時駐車場①

せせらぎスクール

- 🏠 みんなの教室ワークショップ 9/17.18(14-19時)

ものづくりワークショップ

🍴 Patra cafe 9/17.18(15-21時), 10/8.9(12-19時)	🏠 Akiko Okajima 10/8.9(12-19時)
🍴 ツムグお台所 9/16(15-21時), 10/7(12-19時)	🏠 macaron うさぎ 9/16-18(15-21時), 10/7.8(12-19時)
🏠 POTATO MEGANE 9/16.17(15-19時), 10/7(12-19時)	🏠 尾崎 真吾 9/17.18(15-21時), 10/7.9(12-19時)
🏠 中原木材工業 9/16-18(15-21時)	🏠 なにかひとつのからだかざり 9/16-18(15-21時)
🏠 つつみ舎 9/18(15-21時)	🏠 ムクロジ木器 10/7(15-21時), 8(12-19時)

出店者のご紹介

【ワークショップについて】一部のワークショップは有料となります。詳細はホームページまたはフェイスブックにてご確認ください。
 【出店日時について】出店日時は各店舗で異なります。また店舗によっては売り切れ等の理由により早めに閉店する場合があります。
 【内容の変更について】天候等のやむを得ない理由により当日の内容は変更になる場合があります。最新情報はフェイスブックまたは事務局にてご確認ください。

La Ceiba (レストラン)	La Tierra (レストラン)	cafe&pottery 音 (ギャラリーカフェ)	タカダコーヒー (和菓子+コーヒー)	yuQuri (ペーカリー)	ちくぜん・とまりぎ (長門やまとり)	ララフラン (ドリンク+輸入食材)	ツムグお台所 (キッチンカー)	YoroZuFarm (ファーマーズデリ)	松村酒店 (ビール&日本酒)	VESUVIANA (薪窯ピッツァ)	COFFEE&ROASTER YAMA (コーヒー+コーヒー豆)	ユーカリとタイヨウ (焼き菓子)	Patra cafe (カフェ)
kakerutasu (秘密基地 workshop)	Bouldering gym Unity (ボルダリング)	萩焼深川窯 青年部 (陶芸体験)	藤沢 由一 (ハンマーダルシマー)	ながトーク (参加型トークイベント)	又吉家 (みんなの教室)	POTATO MEGANE (メガネ、アクセサリー)	中原木材工業 (木工家具)	つつみ舎 (ステイショナリー)	Akiko Okajima (ポストカード、便箋)	macaron うさぎ (オリジナルクラフト)	尾崎 真吾 (似顔絵体験)	なにかひとつのからだかざり (オリジナルクラフト)	ムクロジ木器 (てづくり木器)

長門湯本の情報やイベントの詳細を随時更新中!
www.yumoto-mirai.jp
<https://www.facebook.com/yumotomirai>

OSAKA から特別参加

THE BAR OSAKA (カクテルバー)

長門湯本みらいプロジェクト

おとずれリバーフェスタ 温泉街を楽しもう！

おとずれリバーフェスタは、これから数年かけて大きく変わろうとしている長門湯本温泉を舞台に、ここに遊びに来る人、住む人、働く人が、楽しく豊かな時を過ごせるよう、未来の温泉街をイメージして体感する取り組みです。

初めての今年は、普段自由に使うことのできない川や道路などを使いこなし、よりすぐりの飲食店やワークショップ、物販など様々なワクワクする出展者のみなさまが集結しますので、是非温泉街を楽しみにきて下さい！

さらに
期間中は



川床・置き座で
川を楽しむ



湯本提灯と照明で
夜を楽しむ



交通再編で
道を楽しむ

リバーフェスタと並行して、温泉街では常設化に向けて3つの社会実験を行っています。①川を楽しむ川床や置き座（テラス）の設置実験、②湯本提灯や橋などのライトアップで夜を楽しむ照明実験、③道路の一部をブースや休憩スペースに活用する空間再編実験。これらも是非体験してみてください！



イベント主催 湯本温泉街みらい検討会議

www.yumoto-mirai.jp 0837-25-3611 info@yumoto-mirai.jp yumotomirai

NAGATO-YUMOTO MIRAI PROJECT

おとずれ リバーフェスタ

2017

9月

土 16 日 17 祝 18

開催時間 15:00~21:00

10月

土 7 日 8 祝 9

開催時間 12:00~21:00

川とあそぼう！

長門湯本であそぼう！

riverside cafe

restaurant on bridge

riverside live music

aozora foodcourt

kids friendly workshop

【社会実験】実施スケジュール

川床：9/16(土)～10/9(月)



空地活用：
9/16(土)～
18(祝)



空地活用：
10/7(土)～
9(祝)



一方通行+活用
9/16(土)～
27(水)



相互通行+活用
9/28(木)～
10/9(月)



公共空間活用

交通再編

照明改善

照明：9/16(土)～10/9(月)



(3)住民WS&設計施工者WS、照明改善の実施



設計者・施工者ワークショップが始まりました！

長門湯本温泉の住まゆくりに関わる、市の設計者、大工・工務店、資材商、建材業者などを対象とした、設計者・施工者ワークショップが始まり、第1回目は平成29年5月19日(金)夜、湯本温泉旅館協同組合会議室において、開催しました。

住民や観光事業者を対象としたガイドラインの検討と並行して、実際に設計を担当する設計者、工事を担当する施工者がガイドラインの内容を共有することで、長門湯本温泉らしきガイドラインの工事を進めて積み上げ、実効性のあるガイドラインとなります。

また、複数回のワークショップを通じて、設計者・施工者側から考える長門湯本温泉らしさとそれを盛り上げるガイドラインの仕上がりについて協議していきます。

住まゆくり・作り手・観光事業者が一体となり、長門湯本温泉らしい町並みづくりを推進していきます！

"Thanks ONTO" が開催されました！

1427年の歴史から600年以上の歴史を誇る長門湯本温泉。その中でも長きにわたる地元の人たちに愛されてきた公共施設「湯本」が、2017年5月、建て替えのために一旦営業を停止します。

そこで、長門湯本温泉の象徴ともいえる湯本二丁目までの歩道を広め、より良きこの町のまちづくりをテーマとしたまちづくりイベント【Thanks ONTO - 湯本に感謝を込めて 未来へ】が平成29年5月20日(土)に開催されました。

湯本での足元は滑りながらの「ながりカープ」、機織りやビュッパ、ハンバーガー、カフェ、バー等の飲食店の出店、昔川での舟の注文、夜間照明の演出、山出しの手作りカウンターの設置など、長門湯本温泉観光まちづくりの目指している賑わいを感じさせるイベントでした。

第1号 平成29年5月26日発行

ゆもと通信

発行：長門市 経済観光部 成長戦略推進課

長門湯本温泉のまちづくりが進んでいます！

長門市では昨年8月に長門湯本温泉の再生を目的とした「長門湯本温泉観光まちづくり計画」を策定し、本年8月には湯本区・門区・三ノ湯区を対象区域とした「長門湯本地区観光計画」を策定しました。

長門湯本地区では、長門湯本温泉観光まちづくり計画に準拠し「湯本駅前広場・湯本や竹林の整備・駐輪場等」を並行して、長門湯本温泉観光地として魅力ある観光づくりをする為、前年度より、前年度のガイドラインづくりと「川・夜間照明・交通」の多様な社会実験を進めたまちづくりを進めています。

第1回住民ワークショップを開催しました！

平成29年5月20日(土)午後、湯本温泉旅館協同組合会議室において、第1回住民ワークショップを開催しました。

住民ワークショップでは、まちづくり計画に長門湯本温泉の今後のまちづくりの進め方を紹介しました。その後、長門湯本温泉のまちづくりを体験し、長門湯本温泉の今後の整備を協議すると共に、長門湯本温泉らしきや賑わい、見どころを意見交換しながら進めました。お楽しみ、まち歩きを考えたこの地域交流イベントは、1日観光まちづくり、2回ランチと湯川利用、3回ランチとバーベキュー、4回夜間照明、5回交通の5つのテーマで話し合いました。意見交換した内容は、黄葉のまち歩きマップにまとめていきます。

第2回住民ワークショップを6月11日(日)に開催します

第2回住民ワークショップ「長門湯本温泉らしい夜間照明と町並み」を考える日
 日時：平成29年6月11日(日) 13:00~16:00
 場所：湯本温泉旅館協同組合2階 会議室
 参加費：地域のみなさん、どなたでも参加できます！お気軽にご参加ください！(参加無料)

5/19 第1回施工者WS



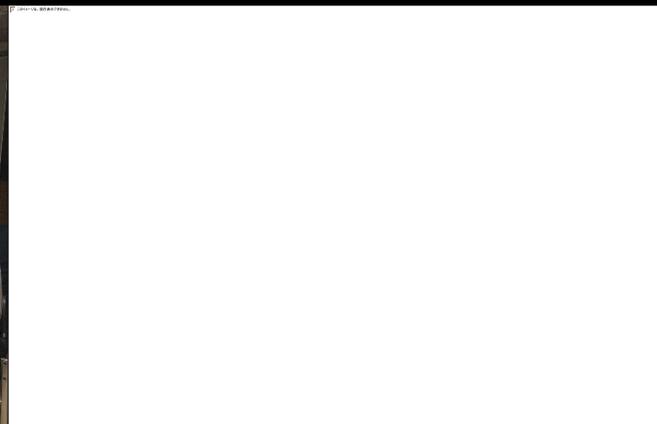
5/20 第1回住民WS



6/11 第1回住民WS



6/12 第2回施工者WS



7/23 第3回住民WS



7/24 第3回施工者WS



設計施工者WS 空き物件測量&リノベ提案



照明改善

ご相談のあった店舗や旅館で改修を検討中（一部をご紹介）



修理！

看板を改善！



色温度を変更！



室内照明を改善！

現在7件検討中！

(4)「cafe&pottery音」のオープンについて



メンバー紹介
~これまでの枠組みを超えて~

 伊藤 健一	 田原 崇雄	 坂倉 正敏	 藤野 南
 山村 亨	 白石 慎一	 大谷 和弘	



cafe&pottery 音



open 2017. Aug. 05

cafe&pottery 音



cafe&pottery 音



cafe&pottery 音 (従前建物)



cafe&pottery 音



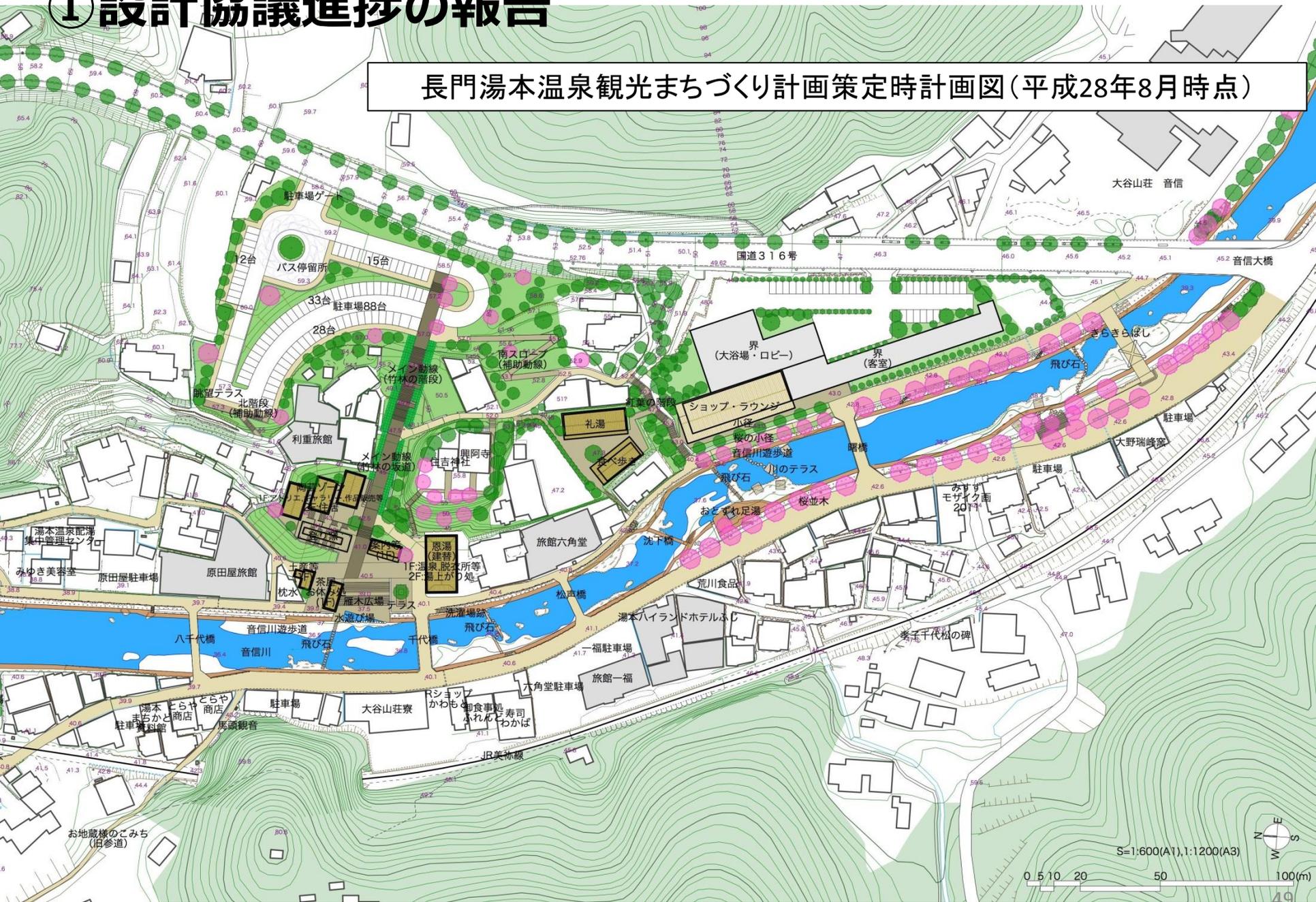
cafe&pottery 音



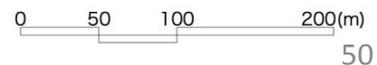
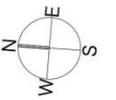
(5)ハード整備の進捗

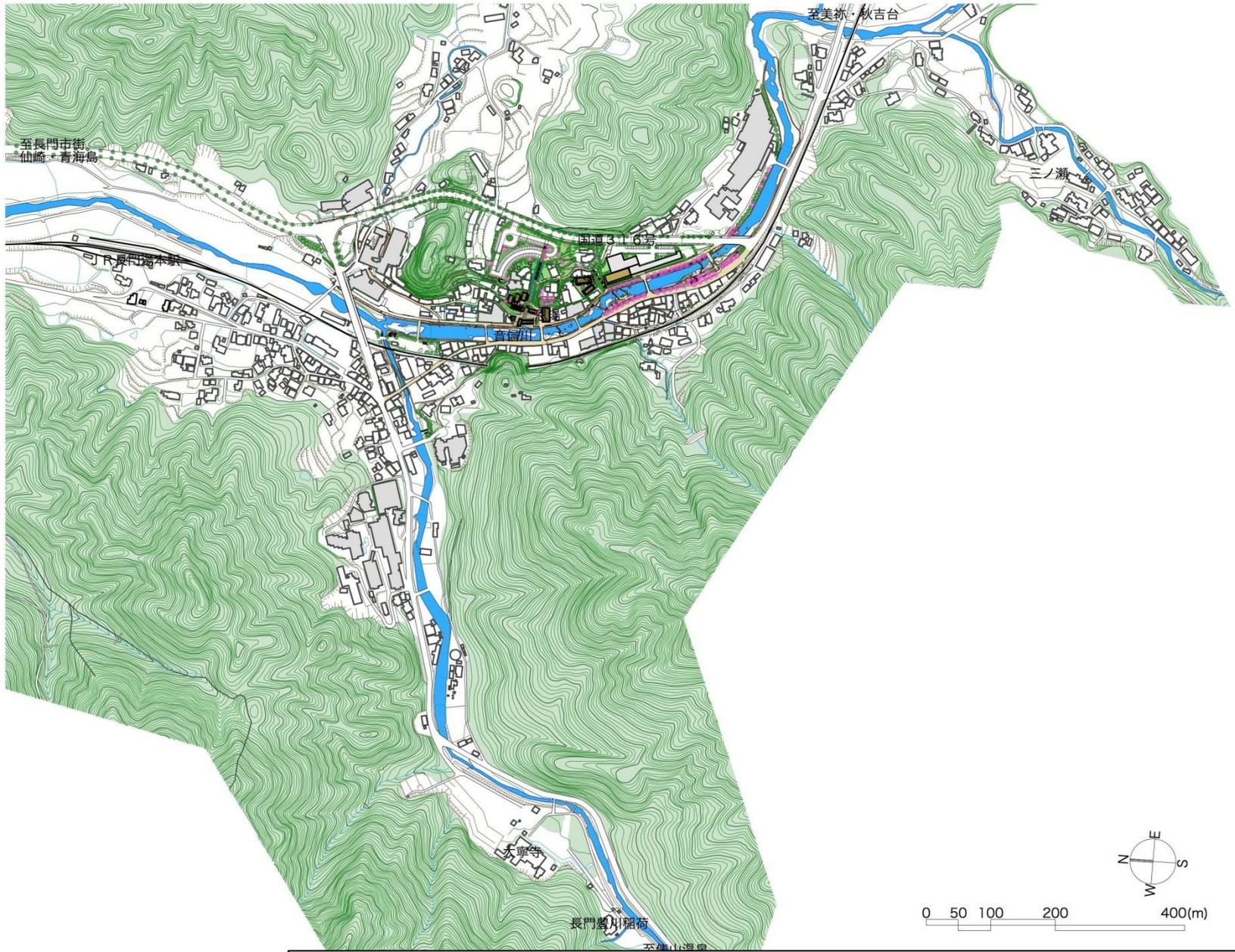
① 設計協議進捗の報告

長門湯本温泉観光まちづくり計画策定時計画面図(平成28年8月時点)



長門湯本温泉観光まちづくり計画策定時計画図(平成28年8月時点)





長門湯本温泉観光まちづくり計画策定時計画図(平成28年8月時点) 51



鳥瞰パース



国道316号 (画面左が駐車場)



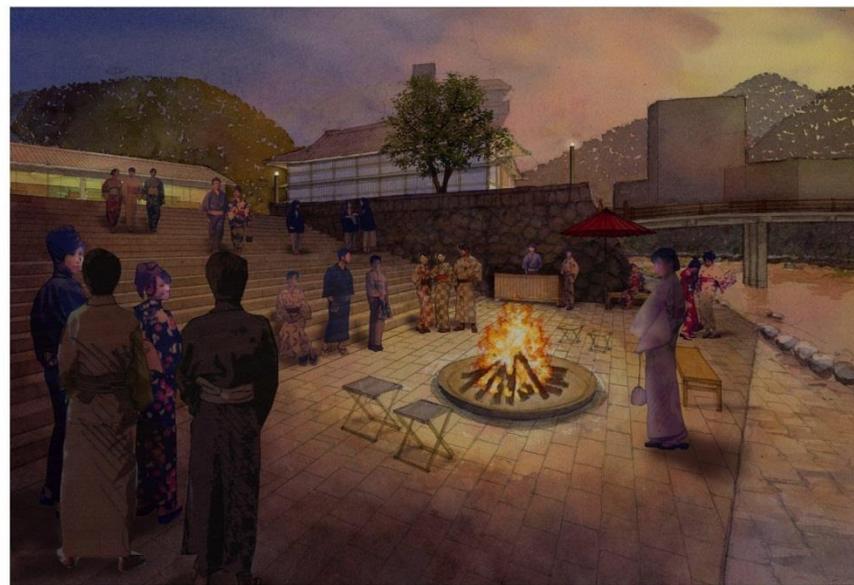
竹林の階段



陶芸ゾーン



千代橋からの眺め



雁木広場



南スロープ



川床

ランドスケープデザイン担当 有限会社力ネミツヒロシセッケイシツ
kanemitsu hirosi design office

長門湯本温泉観光まちづくり事業
景観デザインガイドライン策定・設計支援業務
ランドスケープデザイン

マスタープラン時のパース-2
S=non scale

2017.08.27
デザイン監修・資料

LS000

1) ランドスケープデザイン・土木景観デザインのコンセプト

『長門湯本の人たちが大切にしてきた ～川・湯・窯・寺・緑・街～ を尊重し活かすデザイン』
『街を訪れる人・生活する人が主役となり、個性と普遍性を両立させる基盤となるデザイン』

2) デザインにおける7つの考え方

(1) 背景となり舞台装置となるデザイン

街の主役は整備する要素ではなく人である。人々の背景、引き立て役となることを心がける。

- ・舗装面、柵類、擁壁、護岸自体は目立たせず控えめなデザインとする。
- ・背景、引き立て役、控えめ、舞台装置であるからといって、粗く雑な仕上げとはせずディテールを追求し味わいのある洗練されたデザインとする。
- ・明度、彩度の低い色彩とするなど落ち着いた雰囲気となる表面仕上げを基本とする。



護岸自体は控えめとし活動する人々や周囲の山並み、街並みを主役とすることに心がけている
(島根県津和野町・津和野川護岸)



明度や彩度を低くして落ち着いた色彩を基調としたまちづくりを行っている
(熊本県南小国町・黒川温泉)



張り出し道路を支える構造材の現状



→ ダークブラウン色とした場合



張り出し道路を支えるアーチ構造材の現状



→ ダークブラウン色とした場合

(2) さりげなく洗練されたデザイン

過度に地域性を演出しすぎず抽象化に努め、飽きがこない、洗練度を高めたデザインとする。

- ・地域の名産品などを安易に絵や形で表現しない。
- ・コンクリート及びモルタル面の露出を減らすよう工夫する。
- ・ディテールを重視する。特に境界部のデザインがポイントとなる。



配湯タンクに文字や地域の名物などを描いた地域表現事例



名産品である将棋の駒をそのままの形で巨大化し、高欄の一部とした安易な地域表現事例



コンクリートの縁が見えてしまっている排水施設の事例



自然石と地域の特産品である瓦を護岸のパラペットに用いて構造物の洗練度を高めている。
(島根県津和野町・津和野川護岸)



床面を構成する要素が細部にわたって丁寧に割りつけられている。
(福岡県北九州市・門司港レトロ地区)

(3) 他者を活かすデザイン

周囲の山々・岩場のある音信川・坂道・石積みや樹木など自然の地物や地域の魅力を積極的に活用する。公共空間整備のみで全てを解決しようとせず、沿道の事業者や民間の力に頼ってみる。

- ・丘からの俯瞰景、川からの仰瞰景、遊歩道や路地など地域の魅力を発見して活用する。
- ・視点場の整備と視対象の保全及びデザイン化を図る。
- ・段差を生かした腰掛けなど地形を活かした居場所をつくる。
- ・長門湯本の顔である音信川の魅力をさらに高める。
- ・広場と舞台をつくり、ベンチを並べるような施設や装置づくりを行っても街の賑わいは生まれにくい。むしろ他力本願に徹して沿道の事業者や民間の知恵と力に頼り、その下支えをする基盤を丁寧につくる。



山並みと赤褐色の瓦屋根が美しい長門湯本の街並み

岩場のある水の流れや背後の山並みが美しい音信川

湯本大橋からみる山並みと街の眺め



石を積んで先人がつくりあげた柵田状の地形

水面を近くに感じることができる音信川遊歩道

(4) 自然素材を導入したデザイン

時間の経過でマイナス要素となる素材ではなく、風合いが増しプラスに働く自然素材を活用する。

- ・現状の石積み擁壁や石積み護岸は良いお手本である。先人の知恵や仕事に学ぶ。
- ・木材、竹、瓦（焼物）、石灰岩を含む自然石など地場材を積極的に活用する。
- ・植物による季節感の演出、視線の制御、建造物の修景を図る。但し、植物至上主義的にならないよう周辺との関係性や使い方などに留意する。
- ・コストや維持管理面などを念頭におきながらも、柵の笠木、塀、腰掛け、テラス等への木材、竹、瓦などの活用を検討する。
- ・地域に存在する自然素材は財産である。やむを得ず撤去する建造物の自然石や瓦などの再利用を推し進める。
- ・同じく、既存樹木も財産であるため積極的に保全に努めるが、潜在種や代償植生など地域にふさわしい植栽種を基本とする。



せり器タイルを使用した踊り場（島根県津和野町・津和野川護岸）



石灰岩を使用した舗装と擁壁（沖縄県那覇市・那覇新都心）



木材を利用したガードレール（大分県別府市・鉄輪温泉）



木材を笠木に用いた高欄（熊本県南小国町・黒川温泉）



視線制御に用いた木塀（長野県軽井沢町・某宿泊施設）



自然石の坂道（大分県由布市・湯平温泉）



撤去される擁壁は自然石を再利用



石に似せた模様による擁壁
擬似模様の仕上げのあり方については議論が必要である



擬木の転落防止柵
擬似材料のあり方については議論が必要である

(5) 空間や場の格に応じたデザイン

通り・空間・場などの格に応じた雰囲気づくりを行う。

- ・メイン動線とサブ動線、表通りと路地、丘の道と川の道、中心となる広場と辻広場など街の中での立地、スケール、周辺状況、使われ方、歴史などに応じて通りや空間には格がある。標準設計の機能格付けてはなく、それぞれの格に応じたデザインを基本とする。
- ・コストや整備工程などの課題もあることから、整備の要所をとらえデザインのめりはりを効かせながら質の高いデザインを行う。



温泉街のメインストリート

まちの路地空間

丘の中腹の路地空間

(6) 人の行動やスケールにふさわしいデザイン

安心で落ち着ける人間らしいスケール感を追求する。

- ・山あいの温泉街らしい適切なスケール感を演出する。
- ・囲繞感、距離感、奥行感、アフォーダンスなど人の行動や心理に働きかける指標や感覚に配慮する。



駐車場予定地
車輛優先だけではなく人を迎え温泉街へと導く重要な場としてのデザインを行う

高木や低木が混植された緑地により適度なスケール感や奥行き感をもたせた有名観光地の駐車場
(長野県小布施町・森の駐車場)

(7) 引き算のデザイン

景観を阻害する要素は取り除いていくとともに、むやみに要素を付加させない。

- ・著しく汚損していたり、時代に取り残されて機能していない施設は撤去する。
- ・公益事業者や民間施設に関わる電柱、設備機器、配管配線類などの撤去、移設、埋設といった景観向上の対策を働きかける。
- ・コンセプトだけが一人歩きして要素だらけとならないように留意する（来訪者にわかりやすい=サインだらけ、来訪者の居場所=ベンチだらけ等）。



足湯付近のサインと設備配管の現状

→ 足湯付近のサインと設備配管を撤去した場合



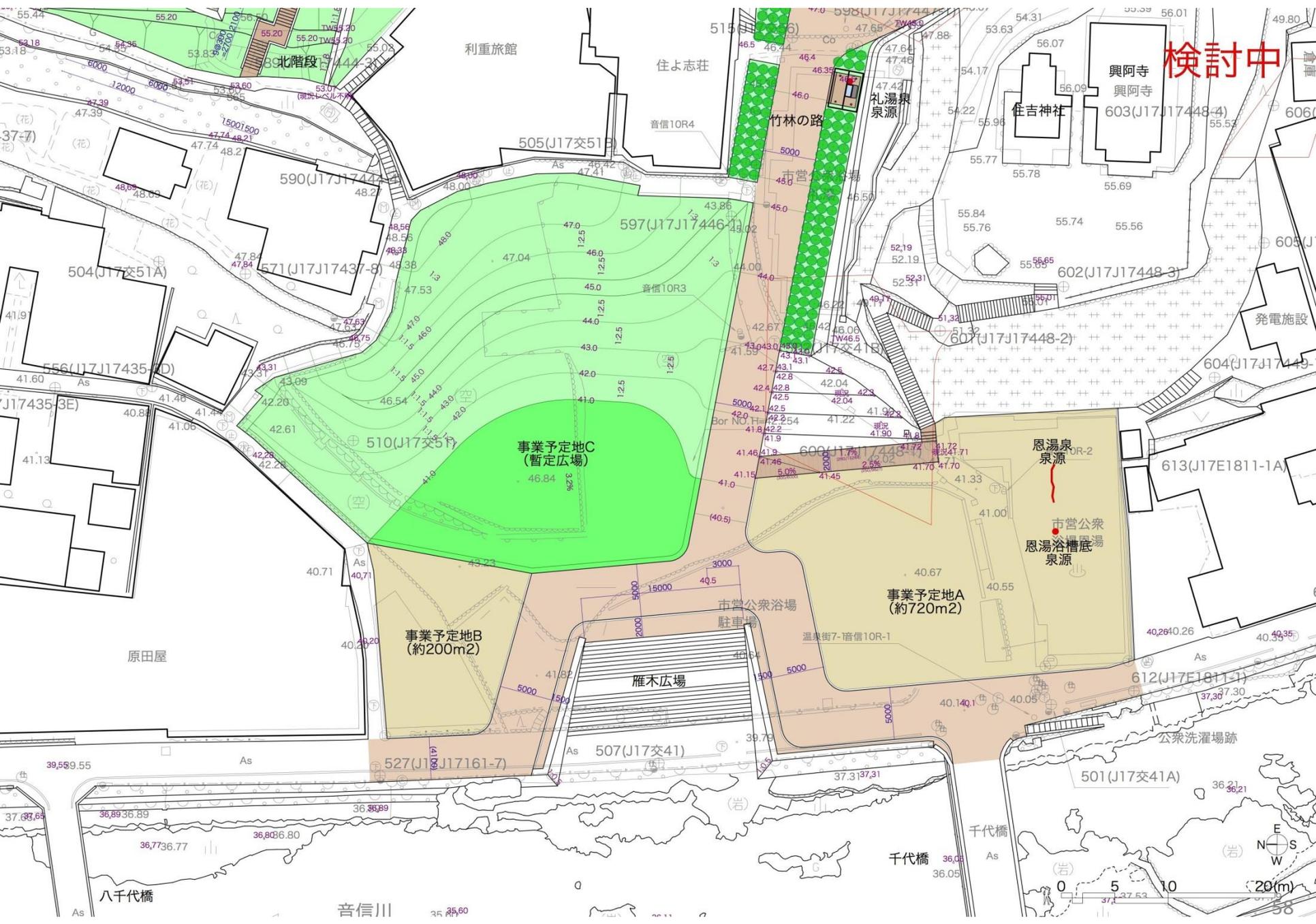
電線地中化された通り
(京都府豊岡市・城崎温泉 駅通り)

国道 316 号など長門湯本温泉へのアクセス道路にある風呂桶をモチーフとした車輛系サイン

検討中



検討中





駐車場ゲート周り（国道側よりの俯瞰）



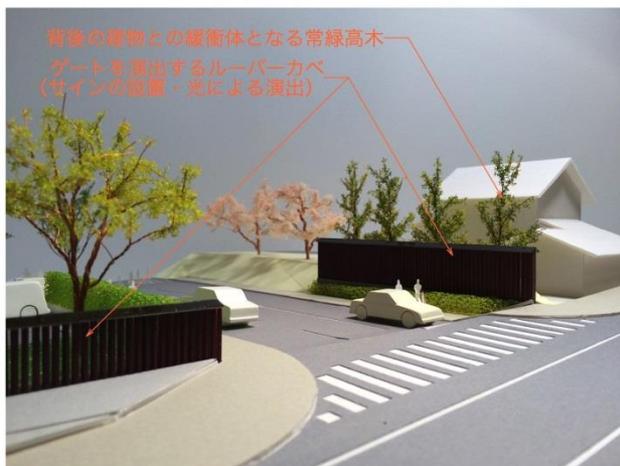
駐車場ゲート周り（国道 山側よりの俯瞰）



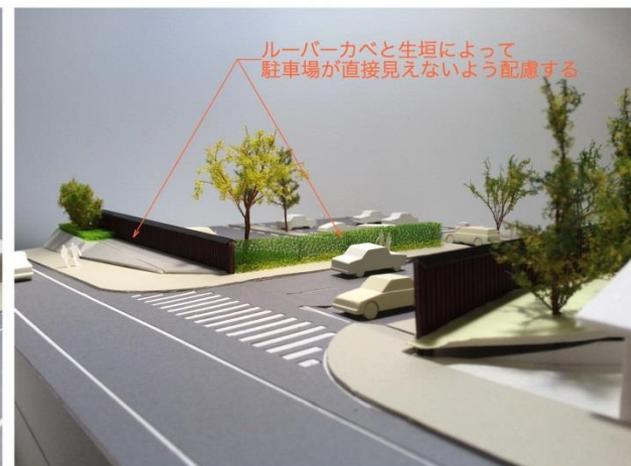
駐車場ゲート周り（駐車場側よりの俯瞰）



駐車場ゲート正面

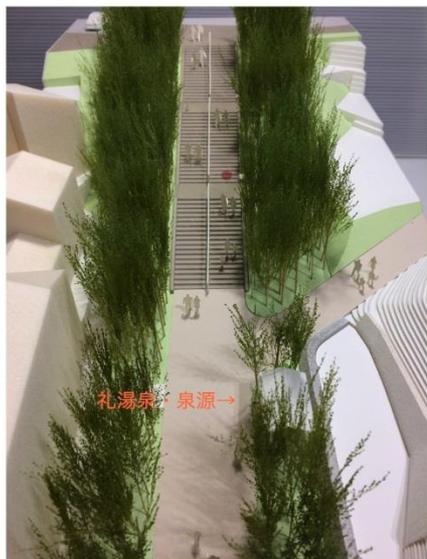


駐車場ゲート（国道南側からみる）



駐車場ゲート（国道北側からみる）

駐車場ゲート周り 模型写真



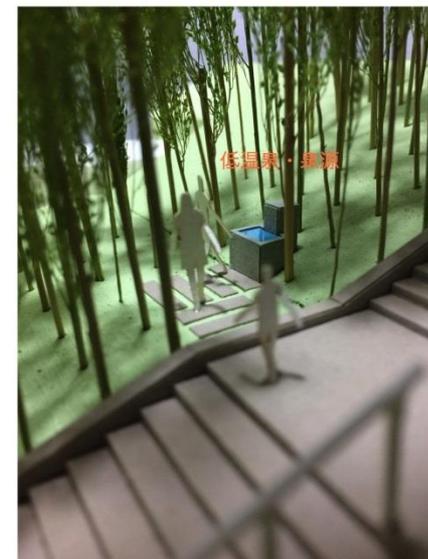
竹林の階段全景



竹林の階段を川側から見上げる



竹林の階段を駐車場側から見下ろす



階段脇にある低温泉広場



礼湯泉・泉源は格式ある屋根、水盤、銘板によって構成

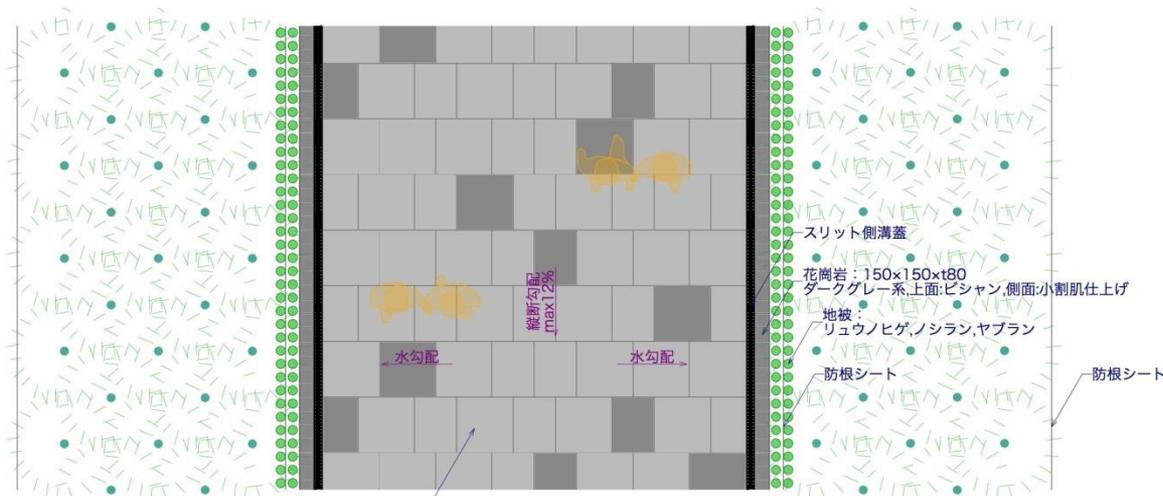


高温泉・泉源は階段下に位置する。現在湯がでていないため、位置を赤石などで示し、付近に銘板を設置

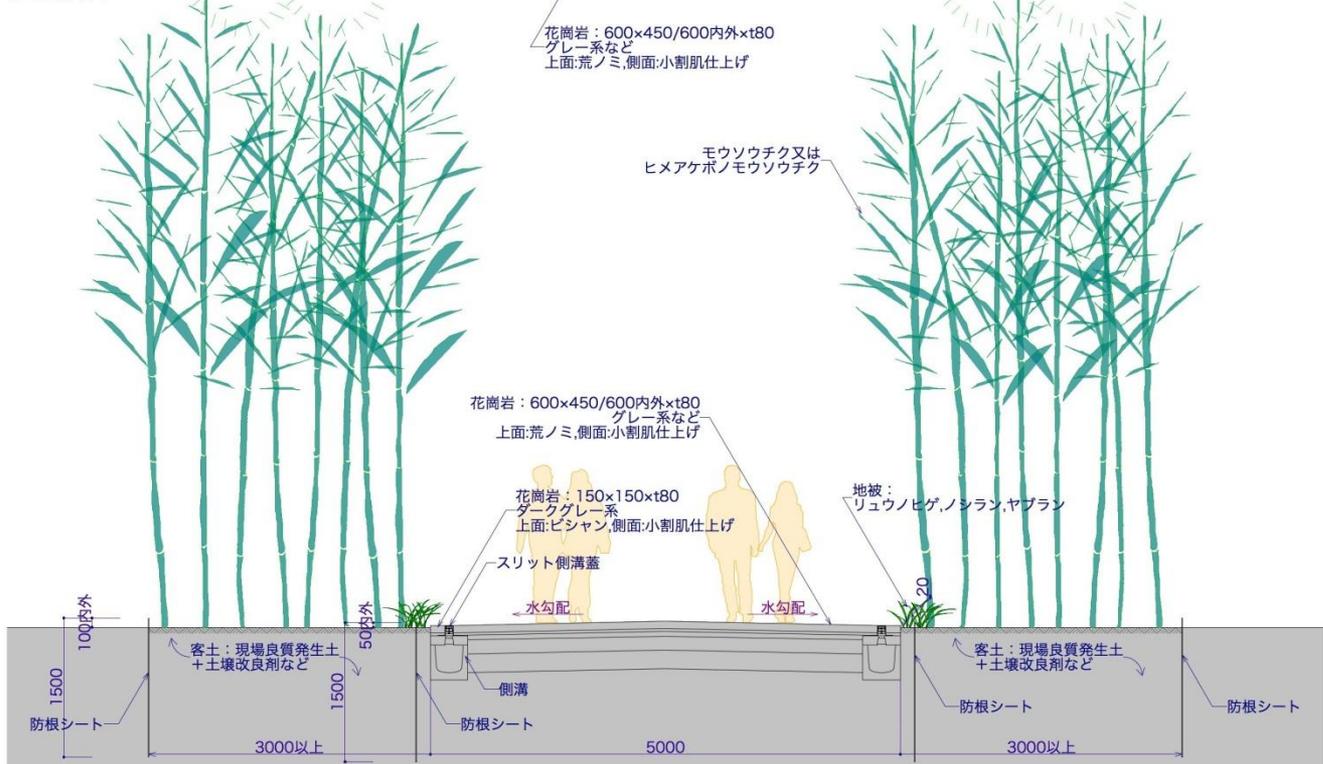


低温泉・泉源は階段脇に位置する。湧出のお湯を利用して水盤、銘板、階段踊り場からの飛び石を設置

標準平面図

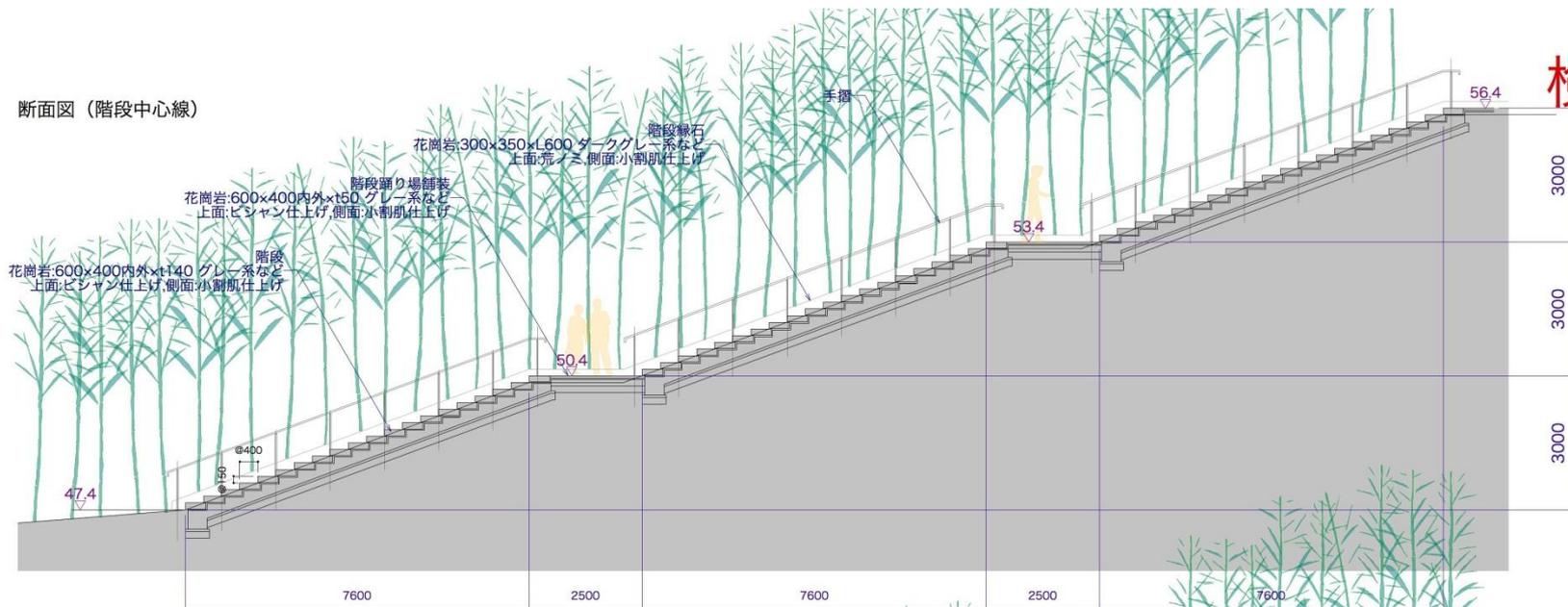


標準断面図

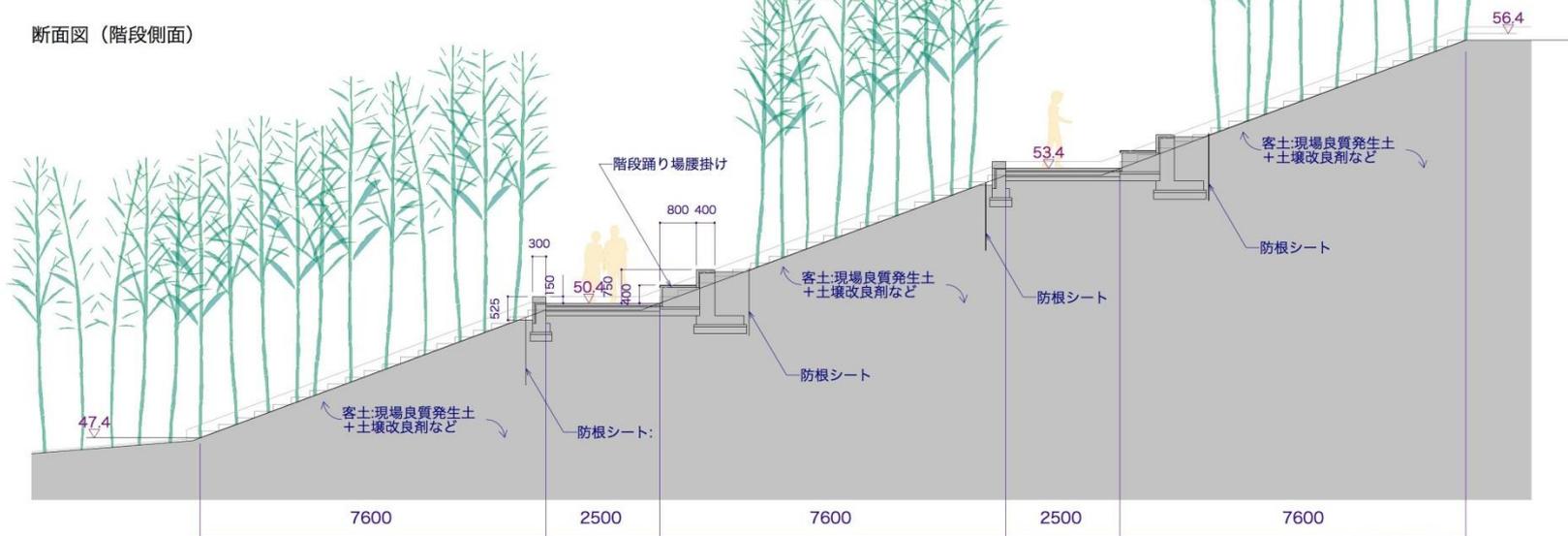


竹林の路・標準図

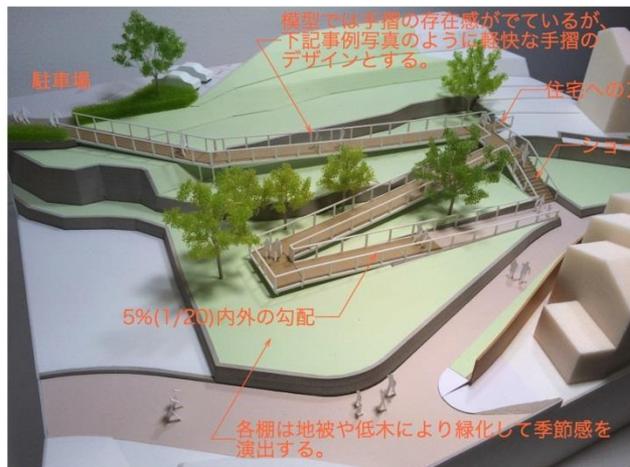
断面図 (階段中心線)



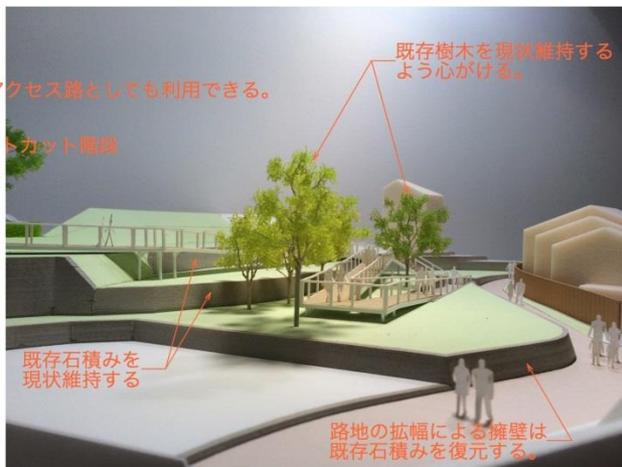
断面図 (階段側面)



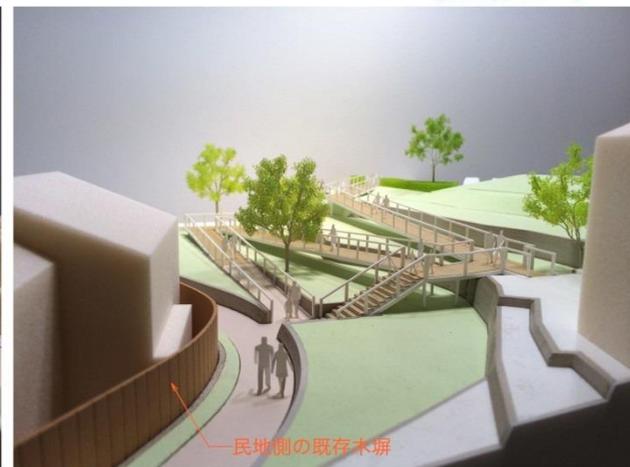
竹林の階段・縦断面図



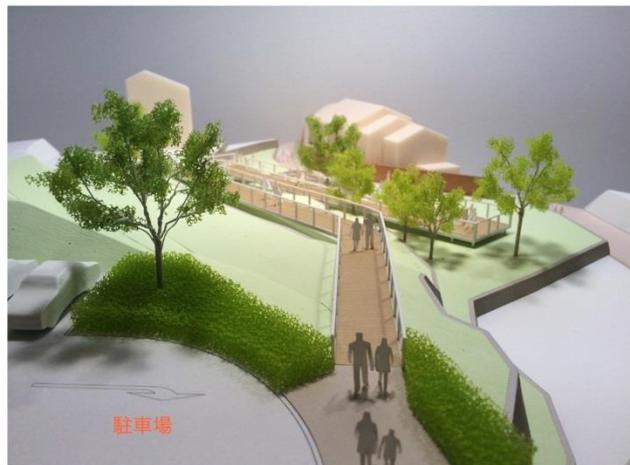
棚田スロープ全景（西側よりの俯瞰）



路地 竹林の階段方面から見る



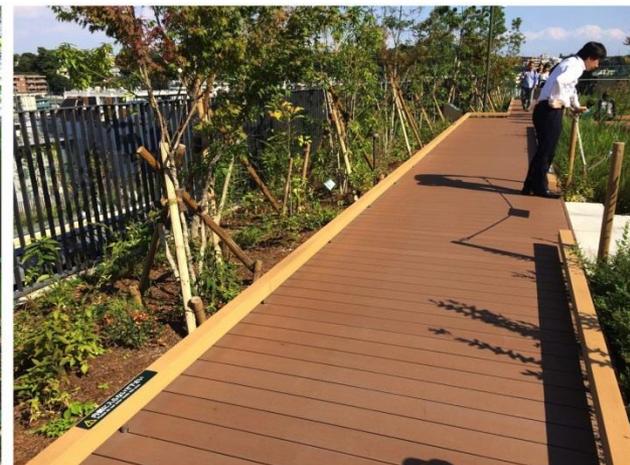
路地 紅葉の階段方面から見る



駐車場側から見る

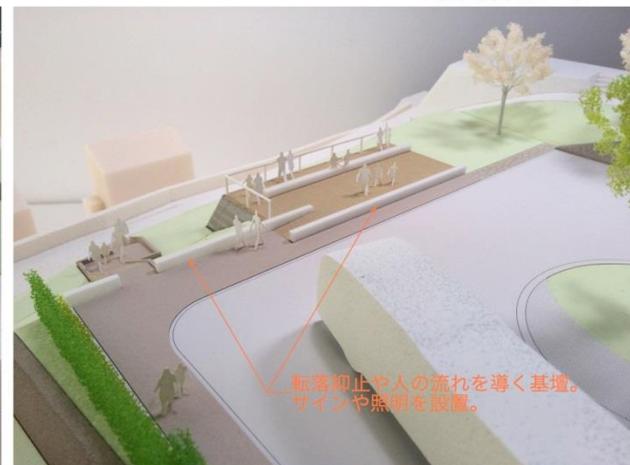


浮床の事例
・シンプルな構造をそのままみせて余計な装飾を施していない。
・手摺も軽快感のあるデザインが良い。



人工木材による舗装の事例
・溝加工、複数色を組み合わせることで安全対策を行う。

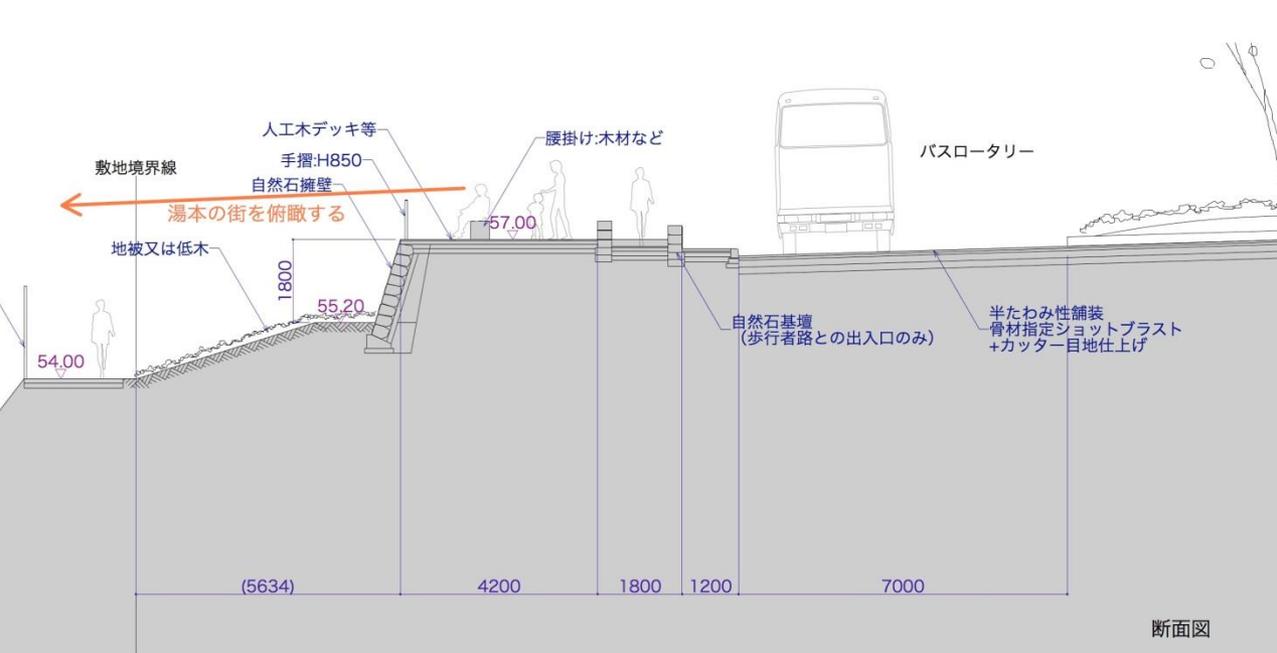
棚田スロープ 模型写真



南西側からの俯瞰（模型では表現されていないが北階段に手摺は設置）

西側からみる（模型では表現されていないが北階段に手摺は設置）

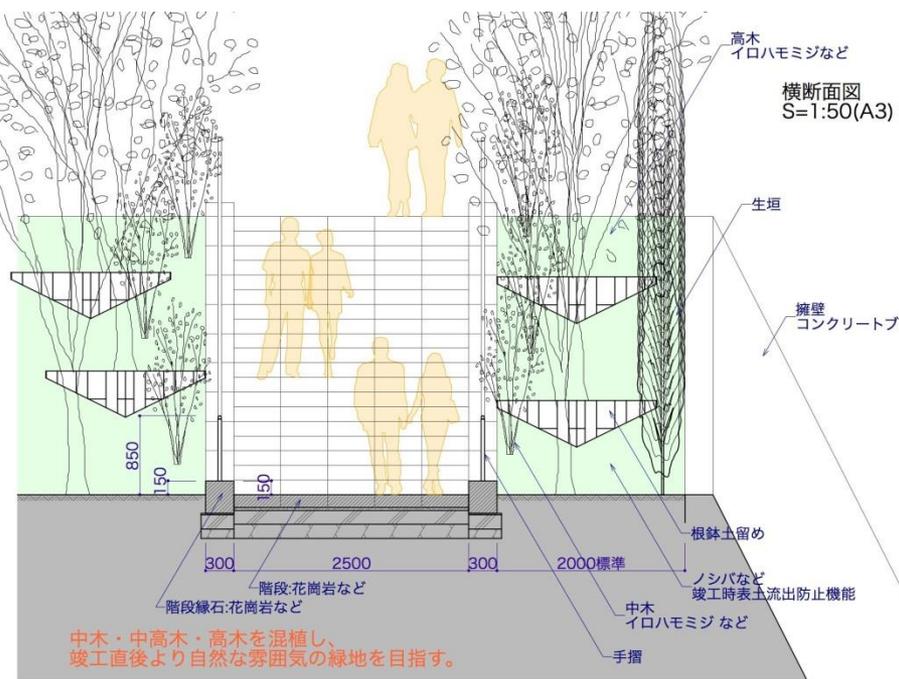
バスロータリー側からのみる



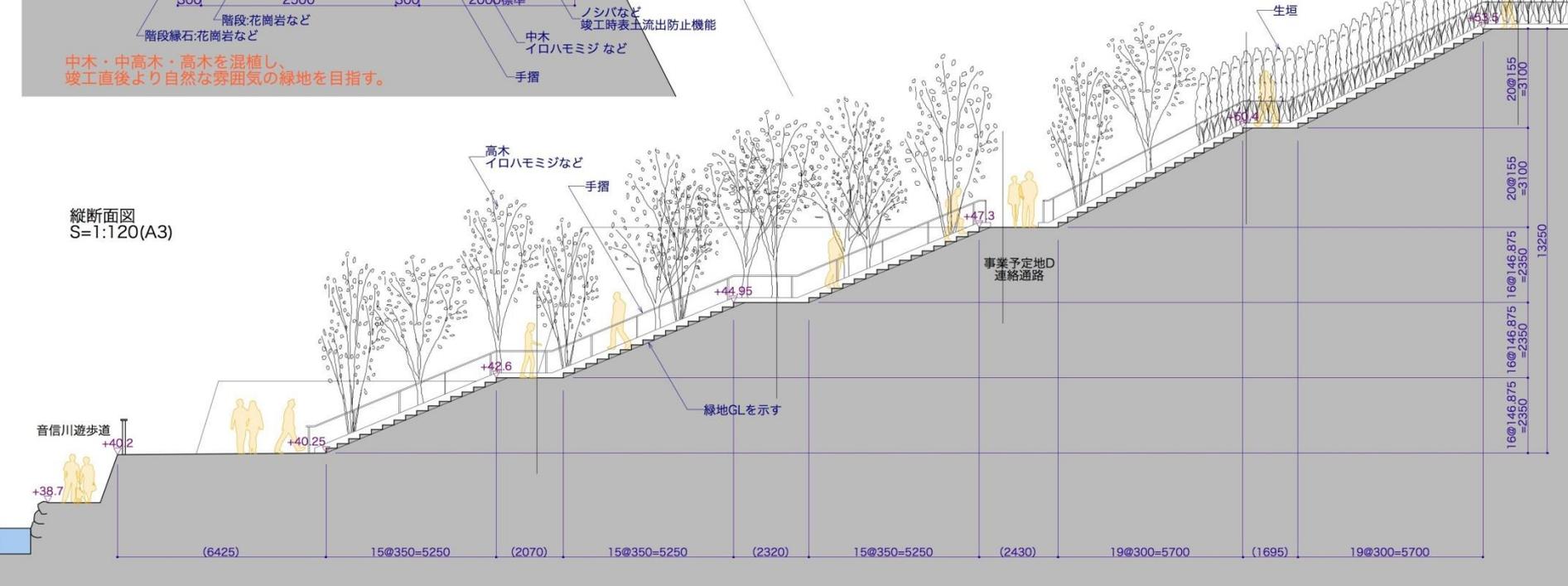
断面図

眺望テラス 模型写真

検討中

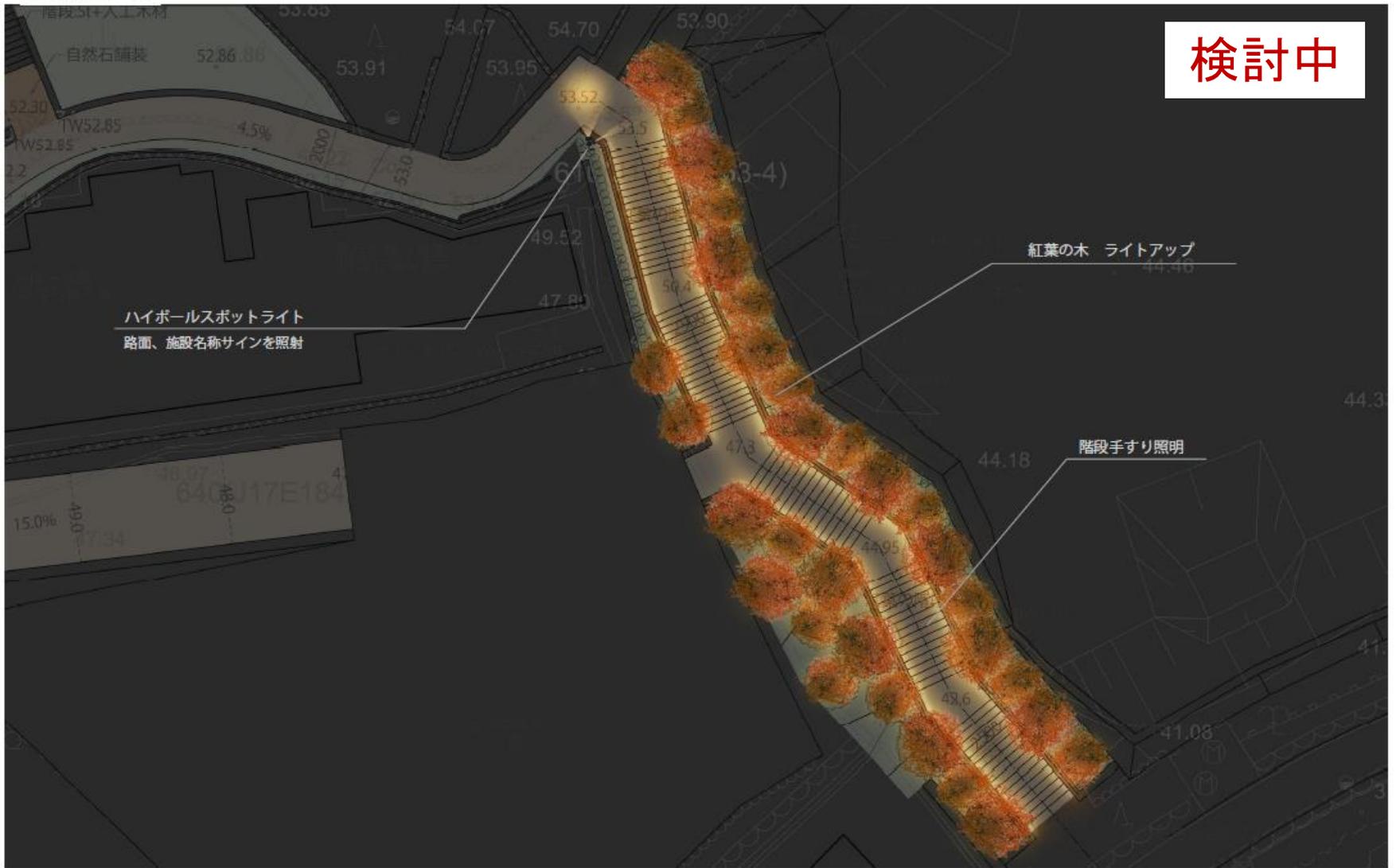


縦断面図
S=1:120(A3)



紅葉の階段

■ 平面イメージ



検討中

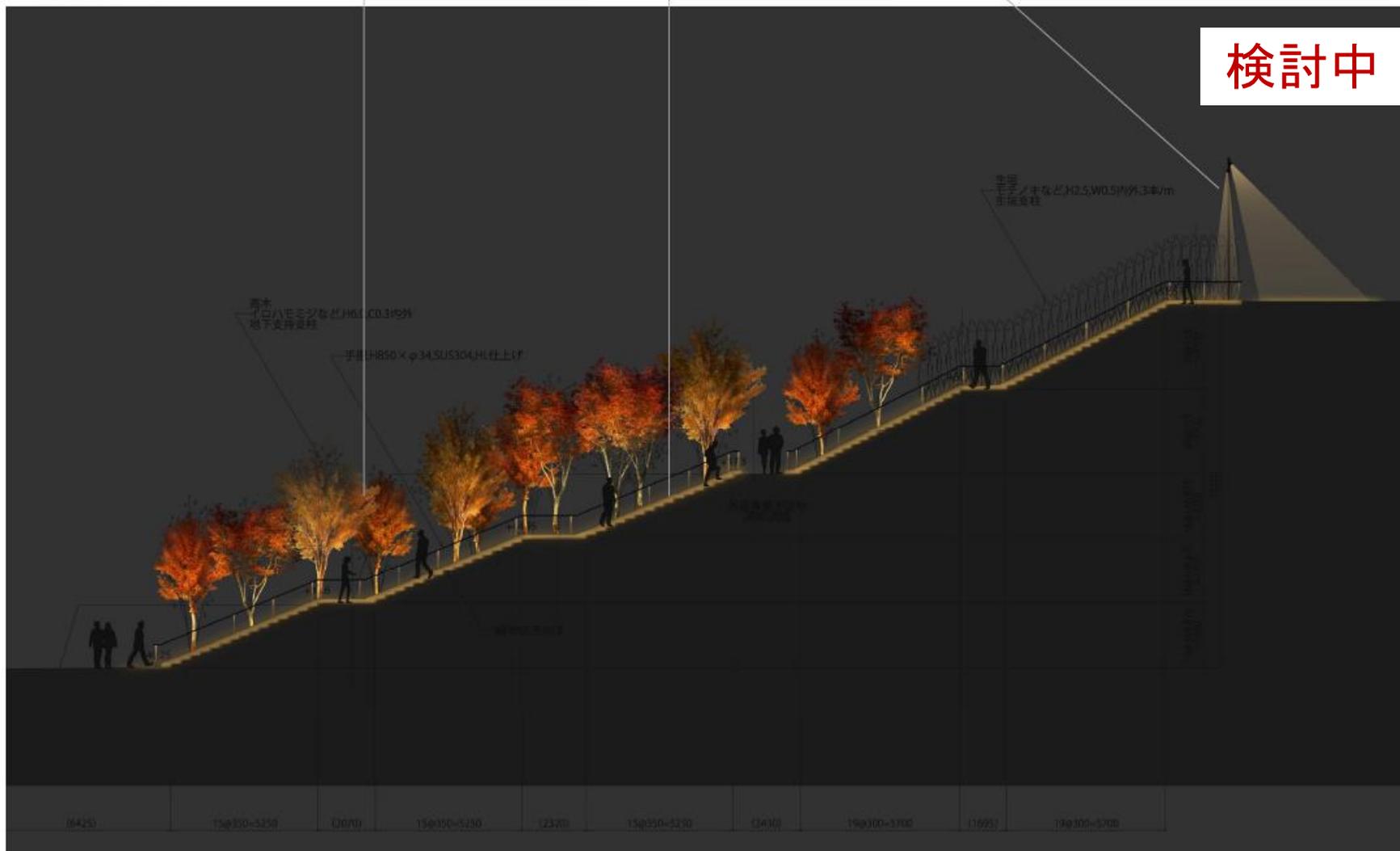
■ 縦断面イメージ

紅葉の木 ライトアップ

階段手すり照明

ハイボールスポットライト (路面、施設名称サインを照射)

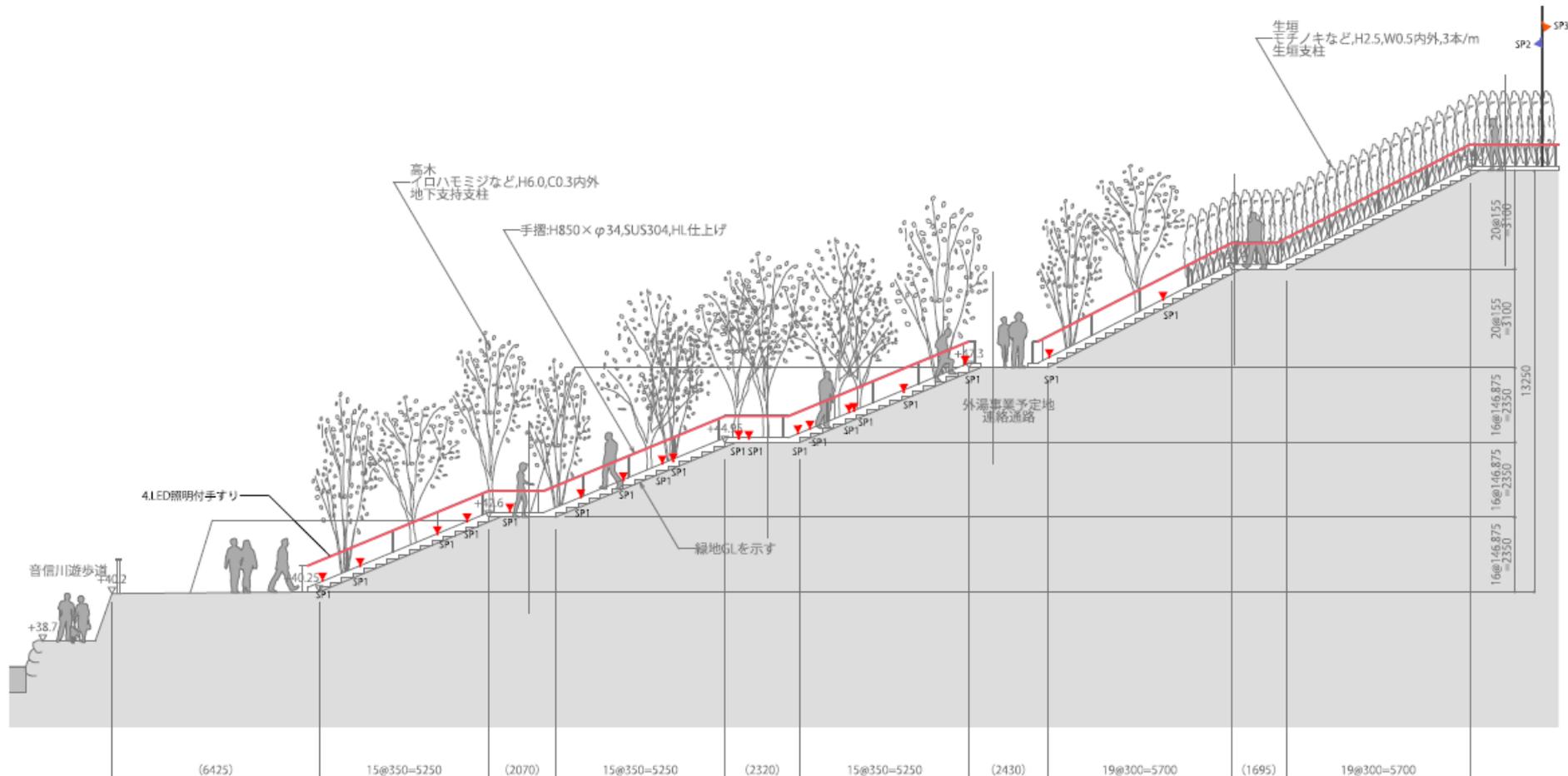
検討中



検討中



検討中



S=1/120(A3)



当初案
ステンスタック素地仕上げ



川側・上流より

検討案① (T型平面_W8m×H6m)
ステンスタック・ラッピング (ブラウン色) 仕上げ



川側・上流より

検討案② (W5m×H7m×D16m)
ステンスタック・ラッピング (ブラウン色) 仕上げ



川側・上流より

検討案③ (W6.5m×H5.5m×D15.5m)
ステンスタック・ラッピング (ブラウン色) 仕上げ



川側・上流より



川側・下流より



川側・下流より



川側・下流より



川側・下流より



山側



山側



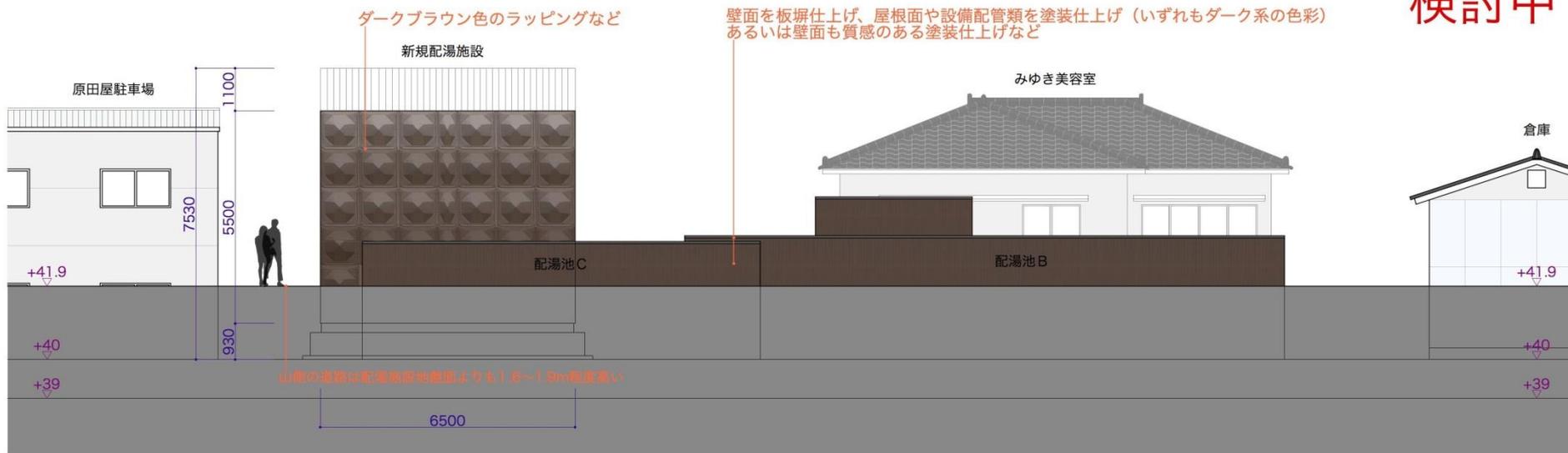
山側



山側

配湯施設・比較検討

山側・立面図



川側・立面図



配湯施設・立面図

② 恩湯泉源調査と今後の対応

恩湯泉源探索 中間報告

平成29年7月24日

公益財団法人中央温泉研究所

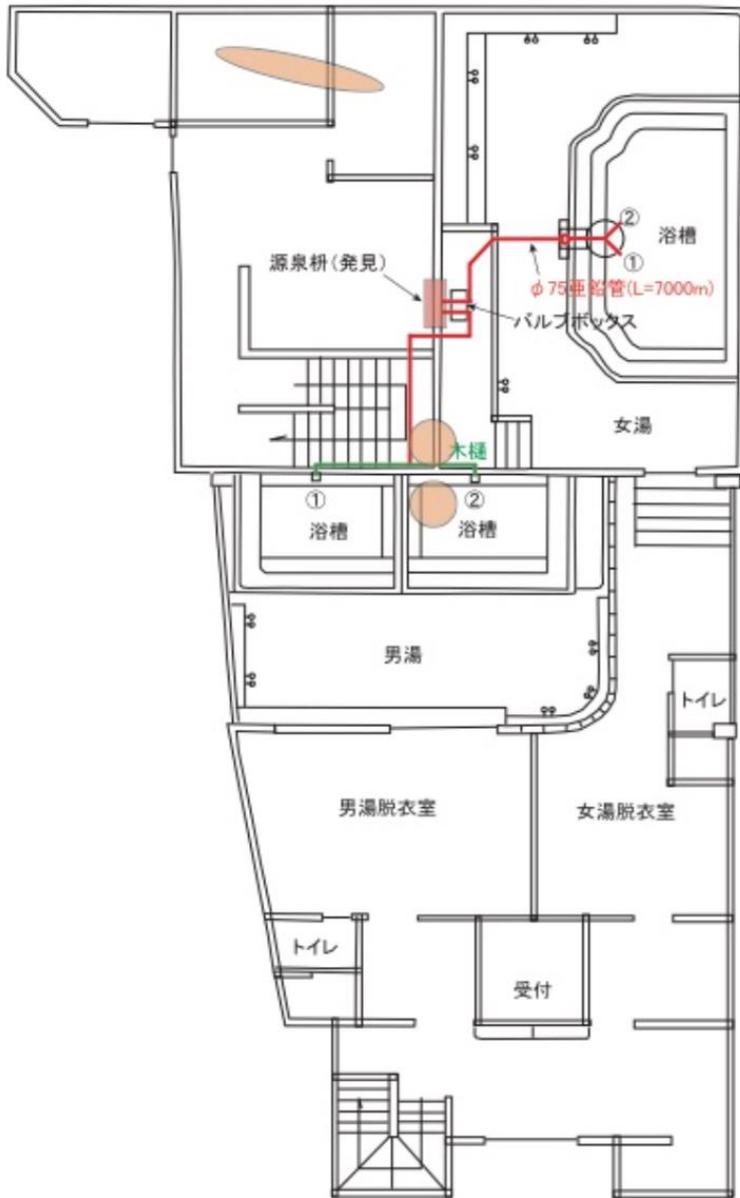
益 子 保

やすらぎの湯
心のふるさと
長門湯本温泉

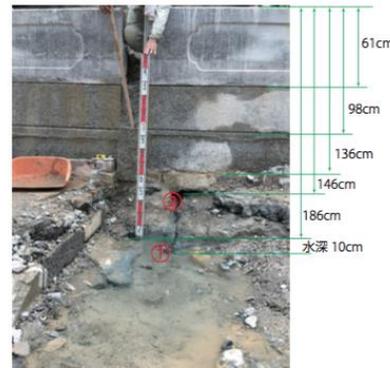
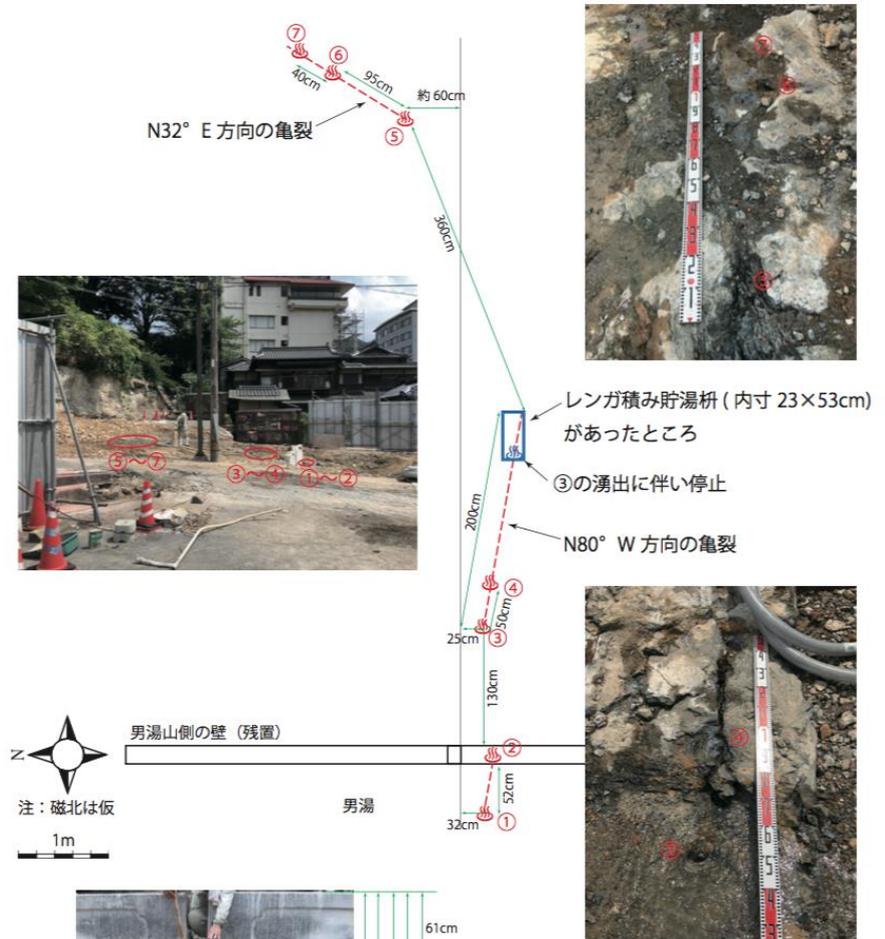
恩湯泉源調査



恩湯泉源調査



現在の温泉湧出箇所



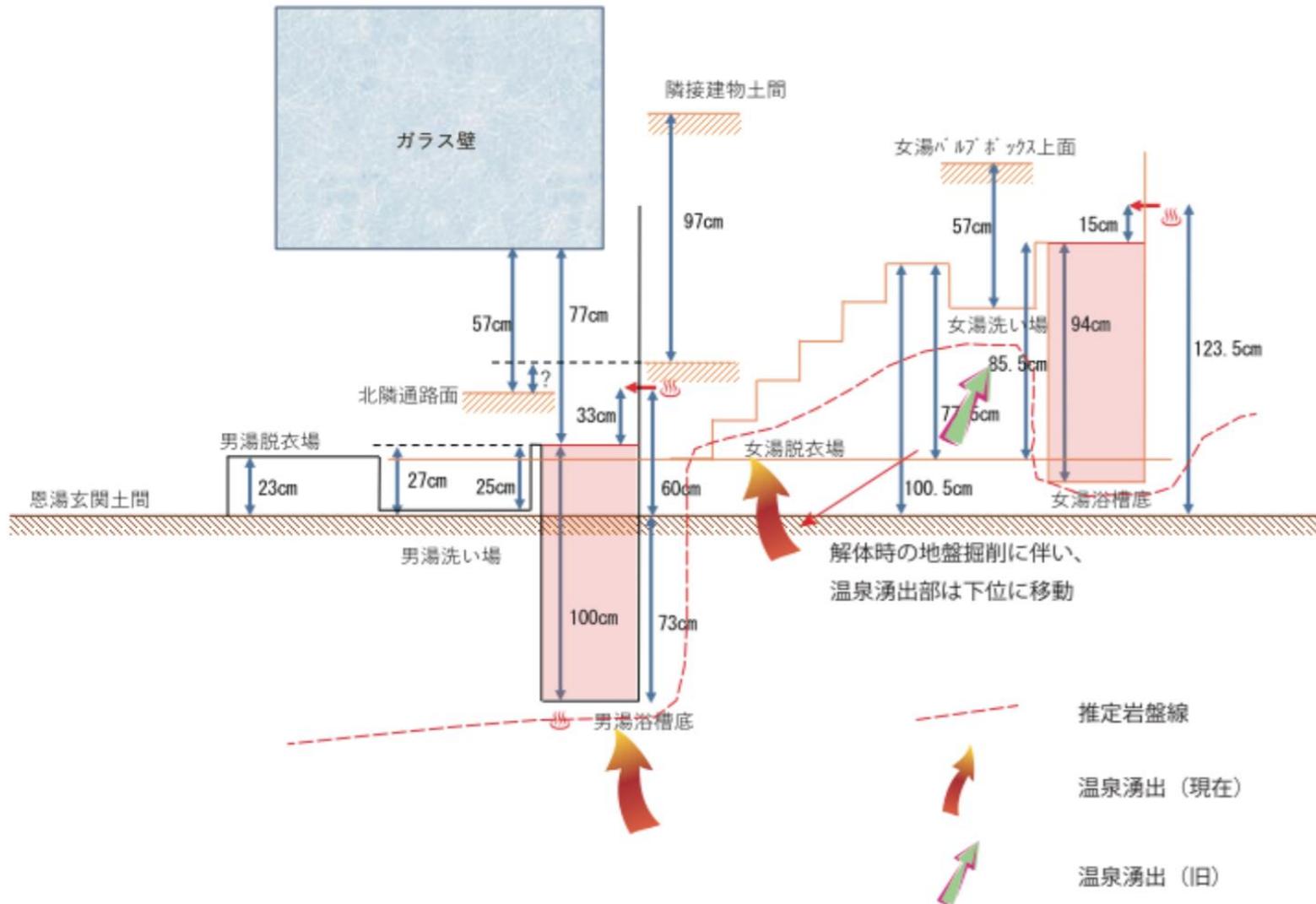
2017/07/21 の温度毒害結果 (気温 32.9°C)

- ①旧男湯浴槽底温泉 (多量湧出) : 39.0°C
- ②これまで未確認 (少量) : 39.1°C
- ③今回湧出確認 (多量湧出) : 39.2°C
- ④今回湧出確認 (少量湧出) : 37.9°C
- ⑤今回湧出確認 (少量湧出) : 38.2°C
- ⑥今回湧出確認 (微量湧出) : 37.5°C
- ⑦今回湧出確認 (微量湧出) : 37.6°C

※恩湯泉源は旧バレル位置の脇に湧出する温泉を
 桁に貯めて、自然流下で男湯、女湯へ給湯してい
 たが、③、④の湧出に伴い湧出停止。

恩湯泉源調査

男湯建物部の推定岩盤線と温泉湧出箇所



③ 整備スケジュール

工事スケジュール

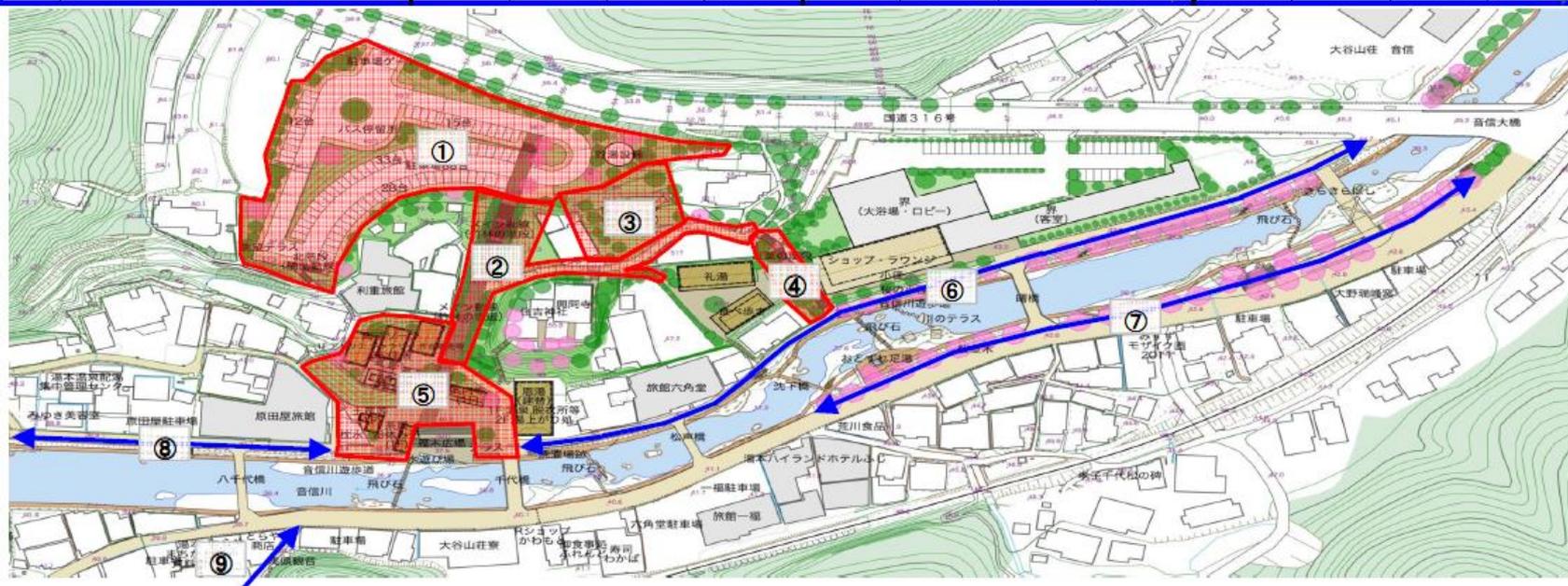


: 設計



: 工事

番号	工事個所	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	メイン部実施設計(1~5)	→		
①	駐車場		→	
②	竹林の階段・遊歩道		→	
③	南スロープ		→	
④	紅葉の階段	→		
⑤	メイン広場		※造成工事 →	※民間事業地を除いた箇所の整備 →
⑥	市道湯端平町線美化	→	→	→
⑦	市道湯本線美化		→	→
⑧	市道湯本東線美化		→	→
⑨	市道湯本大寧寺線美化		→	→



(6)プロジェクトコンセプトについて

癒されかた改革

- ・働き方改革がすすんでいる、癒され方改革がなされていない
- ・温泉地で癒しを求める、既存の癒しに対するアンチテーゼの意味も
- ・日本で新たな流れがすすんでいる
- ・それを実戦していくのが長門湯本

①消費地から創造地

②いやしではなくアクティブ

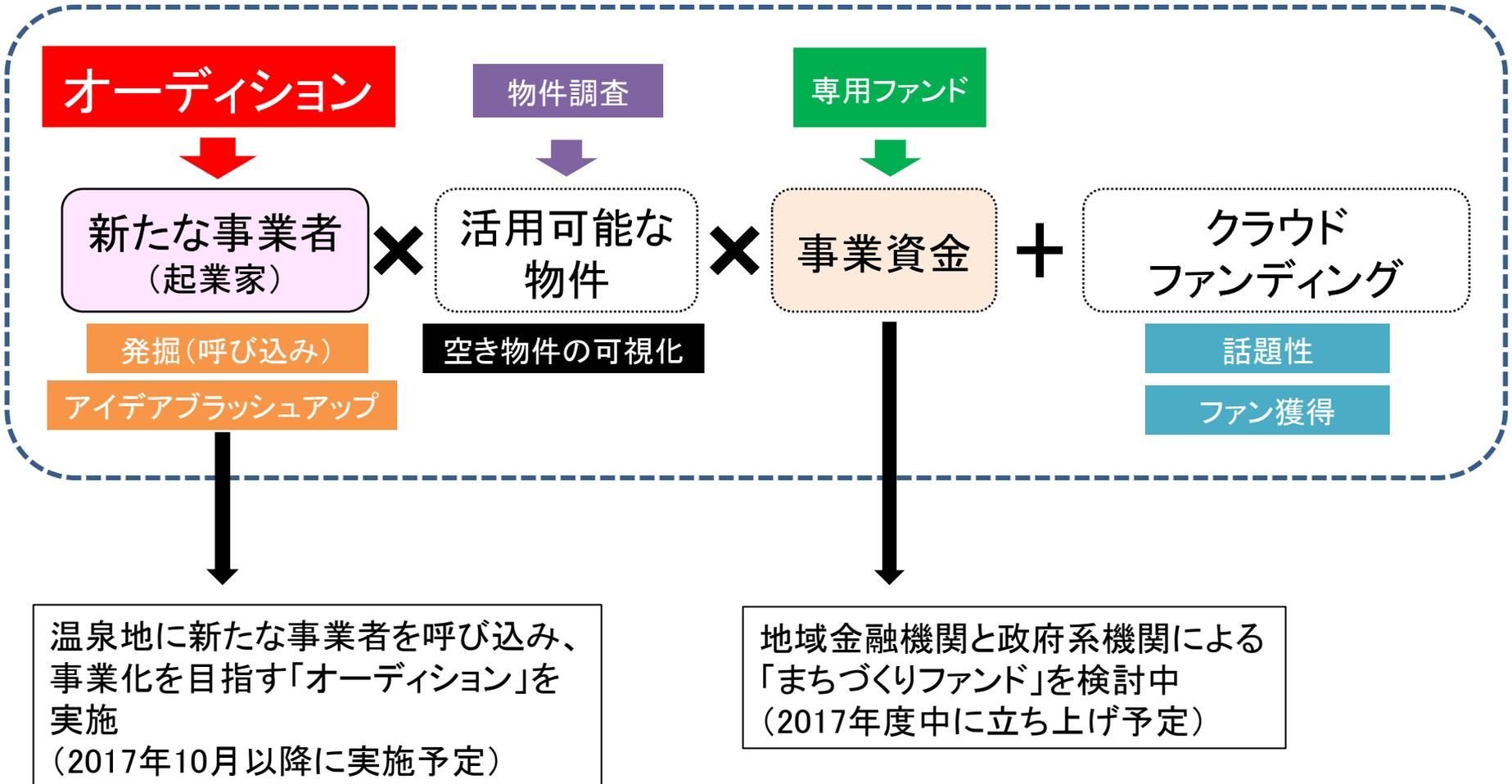
③働く人が満足する温泉地



(7) オーディション・ファンド等の進捗について

長門湯本温泉全体への民間投資促進

「地域金融機関グループ」が全体を企画・運営予定(2017年秋～)



(仮)長門湯本温泉 事業者オーディション 概要

1. 長門湯本温泉全体の活性化をともに進めていく事業者を呼び込む。
2. 参加者が立案した事業計画を長門湯本温泉のまちづくりに資するプラン及び持続的な成長が見込めるプランにブラッシュアップする。
3. 地元及び参加者間とのネットワーク構築を通じ、連鎖的且つ複数の事業を創出、さらに話題性を高め、情報発信する機能も期待する。

項目	内容(予定)
期 間	2017年10月(社会実験中) オーディション 説明会 2017年11月(2泊3日) オーディション 合宿(事業プランを磨く、地元との関係構築等) 2017年12月(1日) オーディション 最終プレゼン
場 所	温泉地内の施設
対象者	長門湯本温泉で新たな事業展開の意欲を持つ事業者(起業家を含む) 【想定】空き店舗等を活用し実行したい具体的なアイデアを持つ意欲ある人・企業 → 特に、「実績があり、温泉街で新たな事業を興したい人・企業」に期待 ① 面白い事業をやっている人・企業 ② 既に軸となる事業があるが、新規ビジネスを展開したい人・企業
参加人数	10名～20名程度
参加料	必要
主催・運営	YMFG ZONEプランニング
協力	長門湯本温泉の事業者等 クラウドファンディング運営会社、行政、地域金融機関等

スケジュールと実施効果

2017年9月 10月 11月 12月 2018年1月～

物件・オーナー意向調査

オーディション

告知
リリース

説明会
(10/7)

PR動画公開

オーディション合宿
(2泊3日)

最終
プレゼン
(1日)

事業プラン

開業

まちづくりファンド

クラウドファンディング

「プロジェクトコンセプト
に資する事業を募集」

長門湯本温泉で
「癒されかた
改革」
を実現する事業者

「合宿・プレゼンを通じて事業性を高める」

【オーディション参加者のメリット(想定)】

- ①長門湯本温泉で事業しやすくなる
- ②事業プランのブラッシュアップが受けられる
- ③事業の話題性が高まる

質の高い
事業の創出

(8)地域観光プランニングカレッジの実施について

地域観光プランニングカレッジ —山口県・長門湯本温泉×深川萩焼—

概 要

期 間 :	(オンライン) 平成 29 年 8 月 21 日 (月)、9 月 14 日 (木) (長門湯本温泉) 平成 29 年 9 月 24 日 (日) ~9 月 26 日 (火)、27 日午前解散
対 象 地 区 :	山口県長門市・長門湯本温泉地区 三ノ瀬地区 (深川萩焼の里)
会 場 :	作業会場 : 長門湯本温泉内 会場 (調整中) 宿泊施設 : 長門湯本温泉内 旅館等 (調整中)
講 師 :	川原晋 (首都大学東京)、泉英明 (ハートビートプラン)、岡村祐 (首都大学東京)、 伊藤弘 (筑波大)、姫野由香 (大分大)、泉山壘威 (東京大)、小林剛士 (山口大)、 宋俊煥 (山口大)、佐野浩祥 (金沢星稜大)、内海麻利 (駒沢大)、海津ゆりえ (文教 大)、永瀬節治 (和歌山大)、永野聡 (三重大)、西川亮 (日本交通公社)、石川宏之 (静 岡大)、
ス タ ッ フ :	山崎嵩拓 (東京大)
最終発表会 :	9 月 26 日 (火) ※地元の方を招いて行う予定
主 催 :	日本建築学会 地域観光プランニング小委員会
共 催 :	長門市 (予定)
後 援 :	
.....	
参 加 人 数 :	学生約 12 名、講師+スタッフ 14 名前後 地元 事業キーパーソン有志 6 名程度

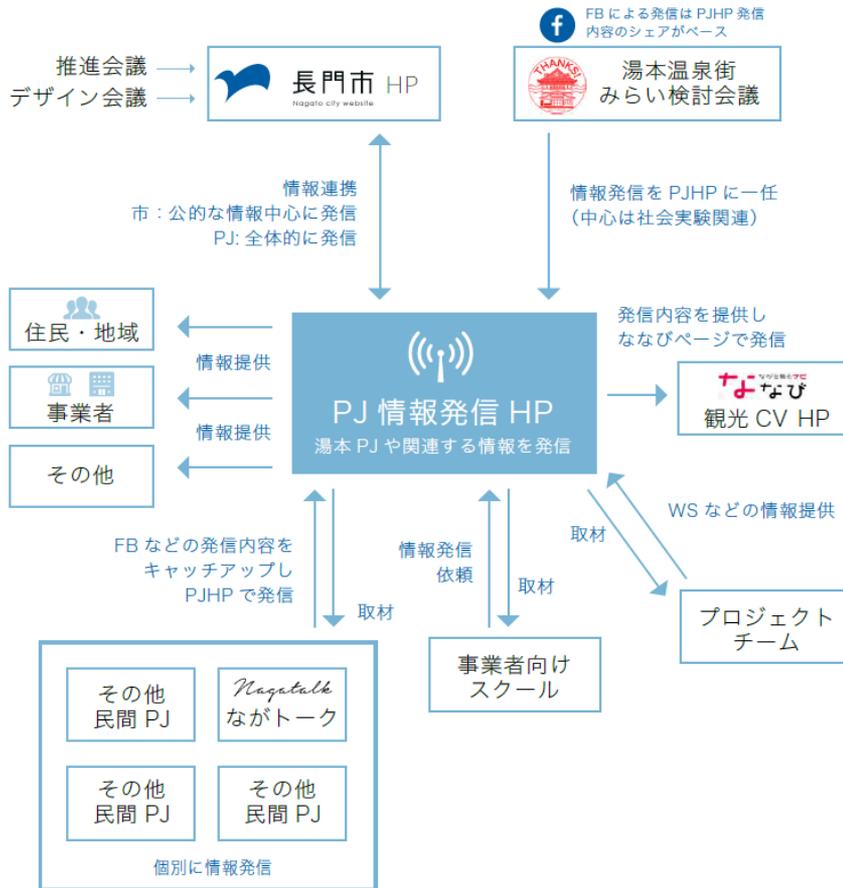
スケジュール

24 SUN	13:00	集合：	作業会場？
	13:30～14:00	ガイダンス	
	14:00～16:00	まち歩き	湯本 60 分＋三ノ瀬 60 分
	16:00～17:00	学生ファーストインプレッション	発表形式：模造紙、地図ベース
	17:00～17:35	事前課題発表	(5 班×7 分)
	17:35～18:00	地元リレープレゼン？	5 テーマ×5 分
	19:00～	懇親会	懇親会会場： →適宜入浴、宿泊施設移動
25 MON	9:00	学生集合	作業会場
	9:00～10:00	学生提案・発表	
	10:00～10:30	グループ編成	
	10:30～15:00	グループワーク・調査	
	15:00～17:00	ピンナップ	→提案の方向性確定、模造紙、PPT 化
	～(徹夜)	プレゼン・提案まとめ作業	→イラレ作業、資料スキャン、図面、スケッチ等、 PPT 作成 (食事・入浴・仮眠適宜)
26 TUE	0:00～ 9:00	プレゼン・提案まとめ作業	
	9:00～11:00	エスキス	【昼食準備：運営側】
	11:00～14:30	会場設営移動・PPT リハ	
	最終発表会		会場：市民活動センター (STIC ビル)
	14:30	開趣旨説明	
	14:45～15:45	提案の発表＋質疑応答	(発表 12 分、質疑 8 分) 20 分×4 班
	15:45～17:30	ディスカッション	終了後、会場片付け →入浴会場 (任意)
	19:00～	懇親会・修了証書授与	→懇親会会場：
27 WED	10:00～11:00	清掃・撤収・引渡	宿泊 及 作業会場
	12:00 頃	解散式	→ <u>データ回収：ai, PDF, PPT</u>

(8)プロジェクトの情報発信について

長門湯本温泉街づくり計画 プロモーション戦略案

1. プロモーション事業の整理



2. プロモーションする目的

① まちが大きく変わっていている様子を伝える

内容：恩湯解体や河川整備など大きな動きを発信する

目的：長門湯本が変わっていくという認知の向上

② まちに起こる小さな変化をセンス良くまとめて発信する

内容：店舗のオープンや素敵な日々の写真など

目的：湯本ファンを増やすようなブランディングを行う。

③ 実務的な告知・参加者募集など行う

内容：WS やセミナーといったプログラムの告知・申し込み

目的：プログラムへの参加者の増加

3. プロモーションする項目

	項目	頻度
①	恩湯解体や河川整備など公共的な工事等の進捗。	要検討
②	THANKS ONTO、ながトークなど民間実施企画の告知・レポート	企画実施に応じて随時
③	住民 WS などの告知と実施結果（互版の掲載）	告知、レポートで 月 1 回ずつ
④	社会実験の告知・事業者募集、実施内容報告	告知 1 回、事業者募集 1 回 実施内容紹介 5 回程度※要検討
⑤	社会実験の実施期間レポート	2-3 回 × 2 回（コア期間） 検証結果発表 1 回
⑥	プロジェクトコンセプトなどの発信	告知 1 回
⑦	カフェオープンなど兆しを発信	2-3 週に 1 回程度？ 状況に応じて

提案事項

(1) コア事業に関する地元意見交換会の実施・主な意見と対応方針

(2) コア事業の方針とプロポの考え方の提案

①観光まちづくりの進め方

②コア事業の方針、当初勝負する中核コンテンツと回遊性の考え方

③恩湯・泉源の活かし方

④コア事業の敷地設定

⑤景観デザインガイドライン骨子案

⑥求める空間デザインのメッセージ

(1) コア事業に関する地元意見交換会の実施

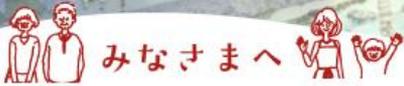
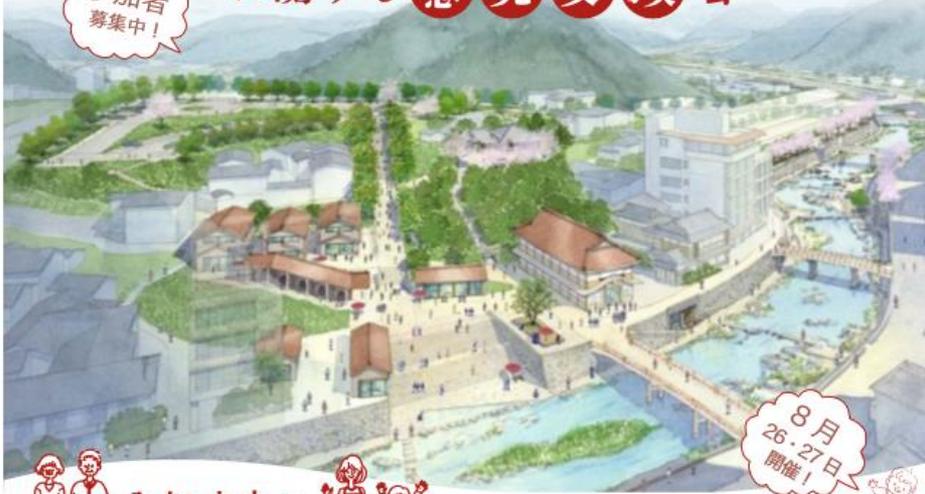
主な意見と対応方針

意見交換会

長門湯本温泉観光まちづくり計画

参加者
募集中!

に関する意見交換会



8月
26・27日
開催!

今年度に入り、長門湯本観光まちづくり計画の企画推進を図るため、外部専門家・地元・市で構成する「デザイン会議」を組成し、温泉地の再生について具体的な検討を進めています。これまでに温泉地の望ましい将来像や景観形成に関するルールづくりなどについて、ワークショップを開催し地域住民の方や地元設計施工会社の方々と意見交換を行ってきたほか、この9～10月に実施予定の社会実験の企画や運営に関する協議を地域の方々と進めています。

このたび、デザイン会議での検討経緯をにご説明するほか、今秋に予定されている恩湯などの建替え事業を担う民間事業者を決めるための公募に関して、温泉地の再生の考え方をデザイン会議のメンバーから地域の方々にご提案し皆さんと意見交換するため、下記のとおり意見交換会を実施します。どの会にお越しいただいても構いません。ぜひお越しください。

平成29年 8月26日(土) 8月27日(日)

とき

一部 11:00～12:30
二部 13:30～15:00
三部 17:00～18:30

10:30～12:00

※すべて同じ内容となりますので、ご都合の良い会にお越しください。

ところ

大寧寺 本堂
(長門市深川湯本 1074)

参加して頂きたい皆様 ▶ 湯本・三ノ瀬・門前区をはじめ長門市内にお住いの方や、お勤めの方、事業者の方

意見交換会の内容 ▶ ①長門湯本観光まちづくり計画の進捗及び恩湯の建替えを含む中核事業の進め方の説明 ②意見交換

8月26日

一部 11:00～12:30

二部 13:30～15:00

三部 17:00～18:30

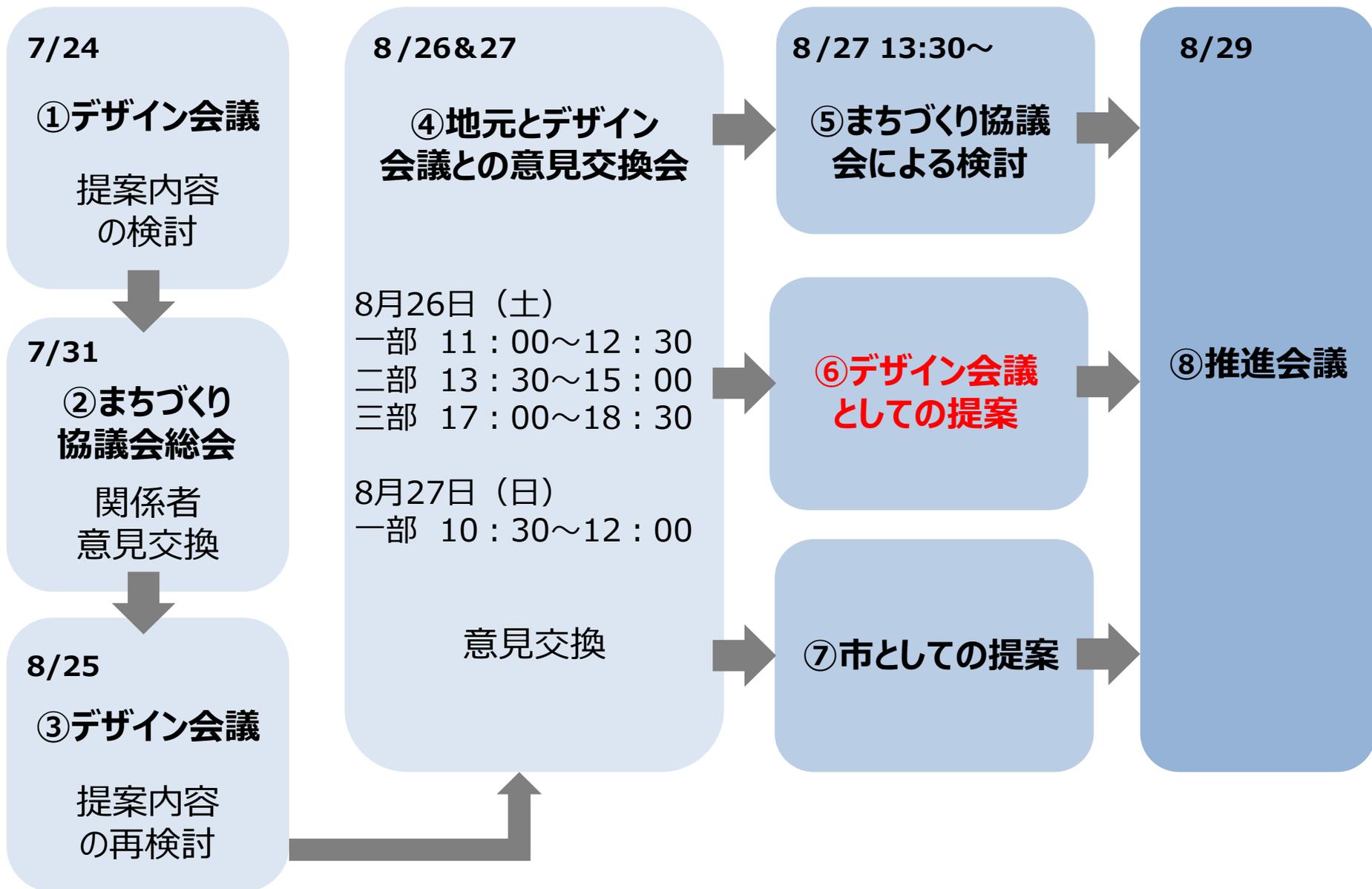
8月27日

一部 10:30～12:00

場所：大寧寺にて



住民意見交換会、地域意向の反映について



意見交換会の概要

・事業が早く進みすぎていて、地元への説明が不十分でないか？

→2年後に完成するタイトなスケジュールで、5月から急いで地域の住民や事業者、関連事業者ヒアリング、星野リゾート、大寧寺などの意向を聞き提案している。今回の意見交換のようなことは随時実施していきたい。

・段階的な計画となったのは何故か、どうして2つ同時に建替えないのか？

→住吉神社・興阿寺の境内に2つの外湯が存在した歴史性を尊重し、地域の思い入れが深い恩湯を真下から湧き出す泉源を活かし建替え、今は使われなくなった礼湯泉源は見える化する。当初は恩湯・飲食物販・雁木広場・川床のコアエリアに官民の投資を集中し魅力を高め、質の高い採算性が見込める民間事業を成功させ、数年してお客さんが増えた段階で次の投資エリアや事業者公募を考えるのが、事業者誘致や着実な事業推進にはよいと考える。現段階ですべての事業者を募集しても将来の変化がイメージしづらく応募も限られるが、コアエリアが整備運営された後では新たな事業者が興味を持ってくれる可能性も広がる。

・事業者のあてはあるのか？

→公募はこれからだが関連事業者へのヒアリングでは事業成立の可能性はあるという結果になっている。

・両方の外湯が無くなる期間はなるべく短くしてほしい

→工事工程を工夫してなるべく短くなるよう最大限努力し、その間のケアも検討する。

・整備する通路などの脇にちょっとしたお店があると歩くのが楽しくなると思う。来た人がまた来たいと思ってくれるような街にしたい

→まさに恩湯以外の部分に回遊性を高められるよう、事業者を呼び込むべく仕掛けをしている。

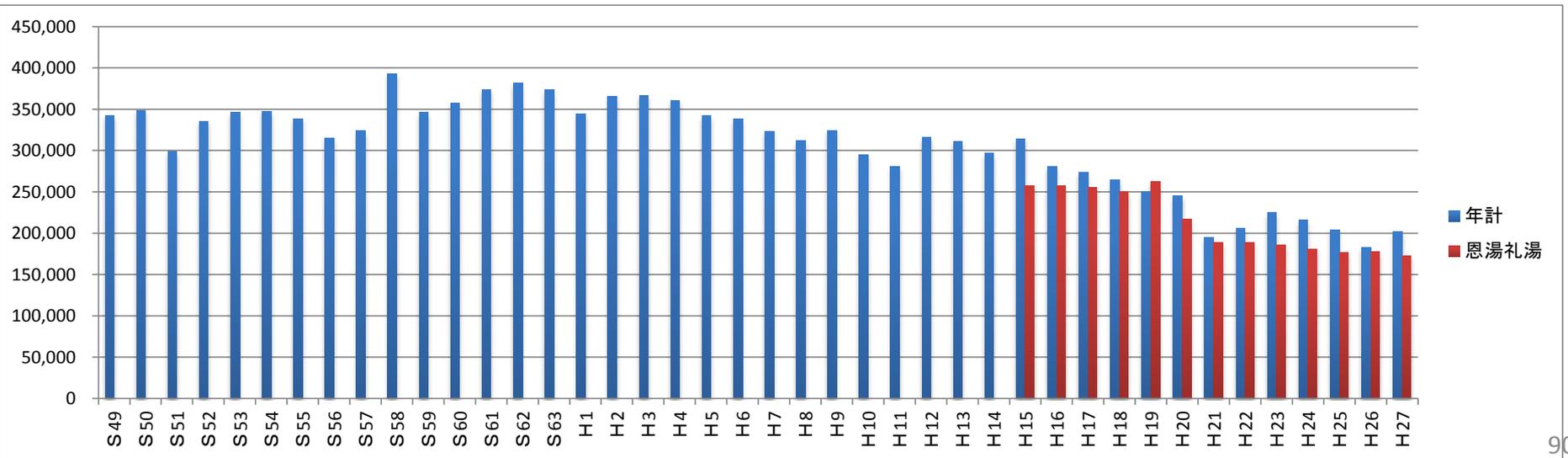
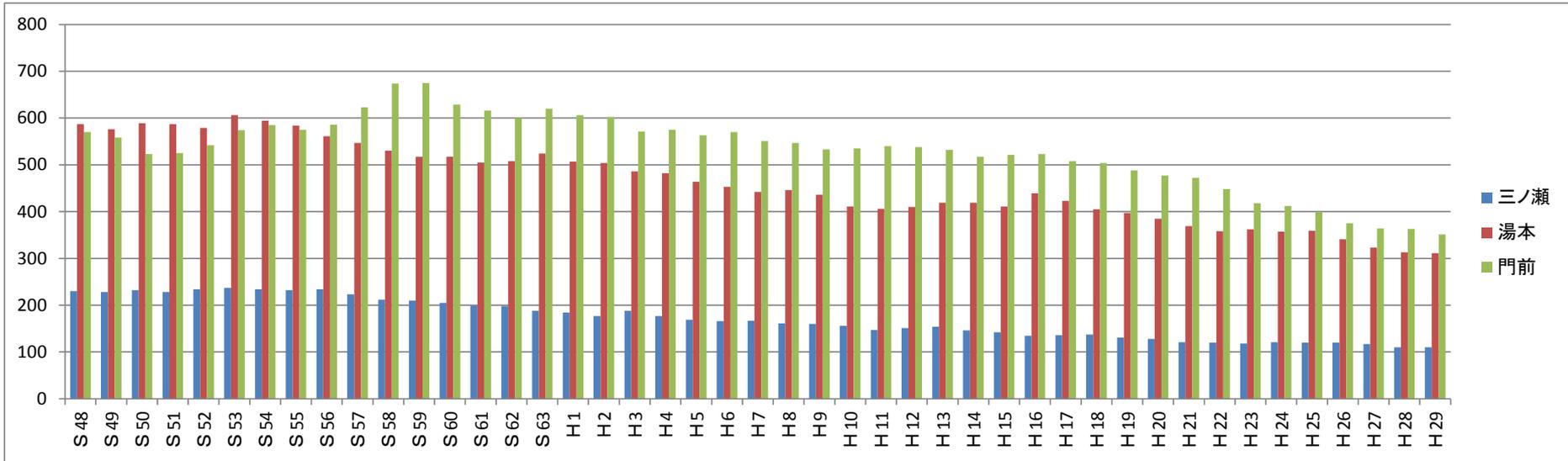
・お年寄りが多く利用されているので、スロープの設置など誰もが利用できるような温泉にしてほしい

→駐車場からのスロープの設置や、乗降場所の確保などを検討している。

(2) コア事業の方針とプロポの考え方の提案

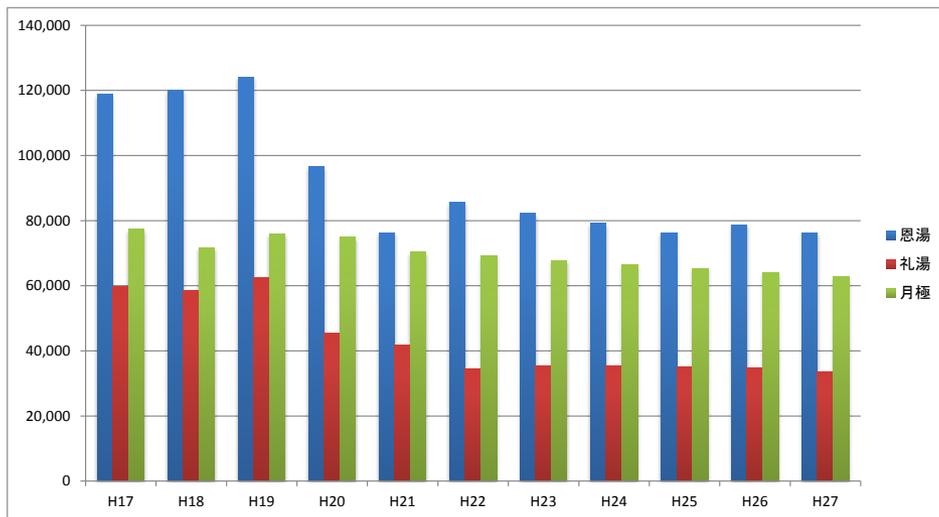
①観光まちづくりの進め方／地域の現状

湯本(湯本・門前・三ノ瀬)人口&湯本温泉宿泊者数



① 観光まちづくりの進め方 / 恩湯礼湯の現状

恩湯・礼湯・月極の利用者数の推移



地元：観光客 ≒ 6：4

恩湯



完成年 昭和26年、増改築47年

礼湯



完成年 平成14年

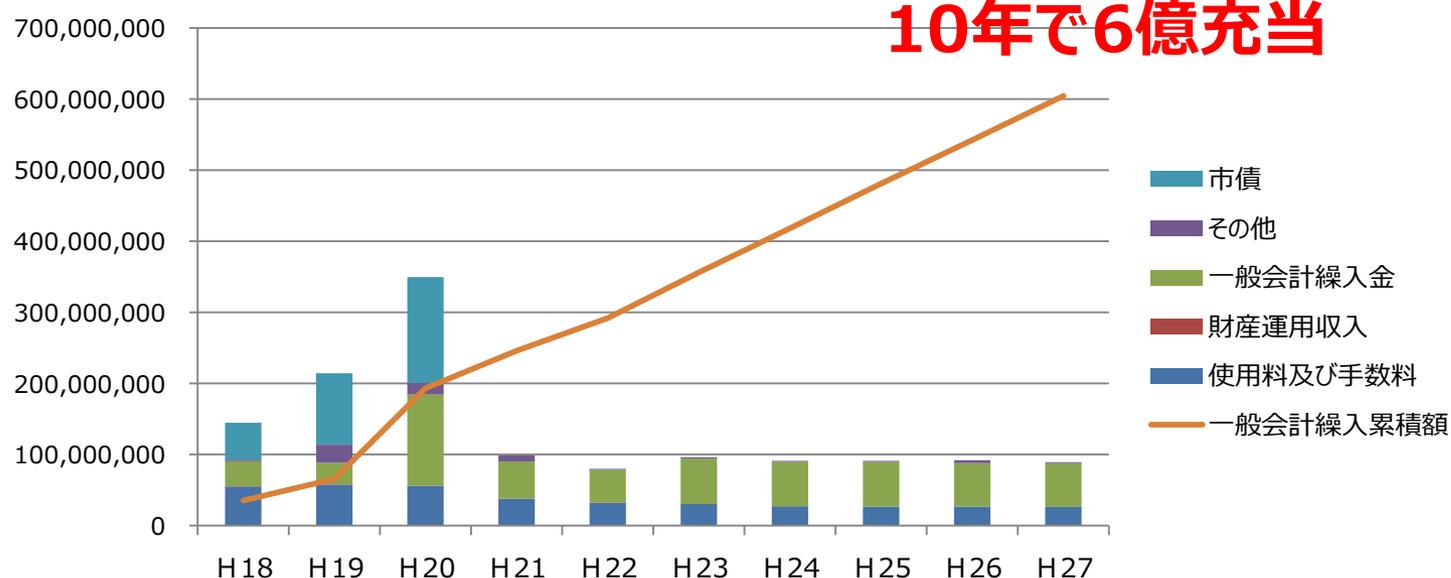
① 観光まちづくりの進め方 / 温泉事業の現所

H26湯本温泉事業特別会計 単位：千円

■ 市温泉事業

事業	歳入	歳出	差引	備考
温泉運営事業 (恩湯・礼湯)	22,000 (入浴料)	35,000	▲13,000	公衆浴場 2カ所の運営、入浴料200円/人 22,000 恩湯・礼湯 (一般客19,000、地元3,000) 13,000 燃料費・光熱水費 14,000 施設管理委託料
配湯事業	5,000 (利用料)	7,000	▲2,000	旅館施設 11軒等の配湯 5,000 宿泊施設11軒、足湯施設の配湯 7,000
他	61,000 (繰入金) 4,000 (雑収入)	11,000 (一般管理費) 39,000 (公債費)		6,000 職員人件費 5,000 一般管理費
	92,000	92,000		

■ 湯本温泉事業 特別会計決算



長門湯本温泉 年表

(行政広報誌、長門時事のアーカイブより)

全体

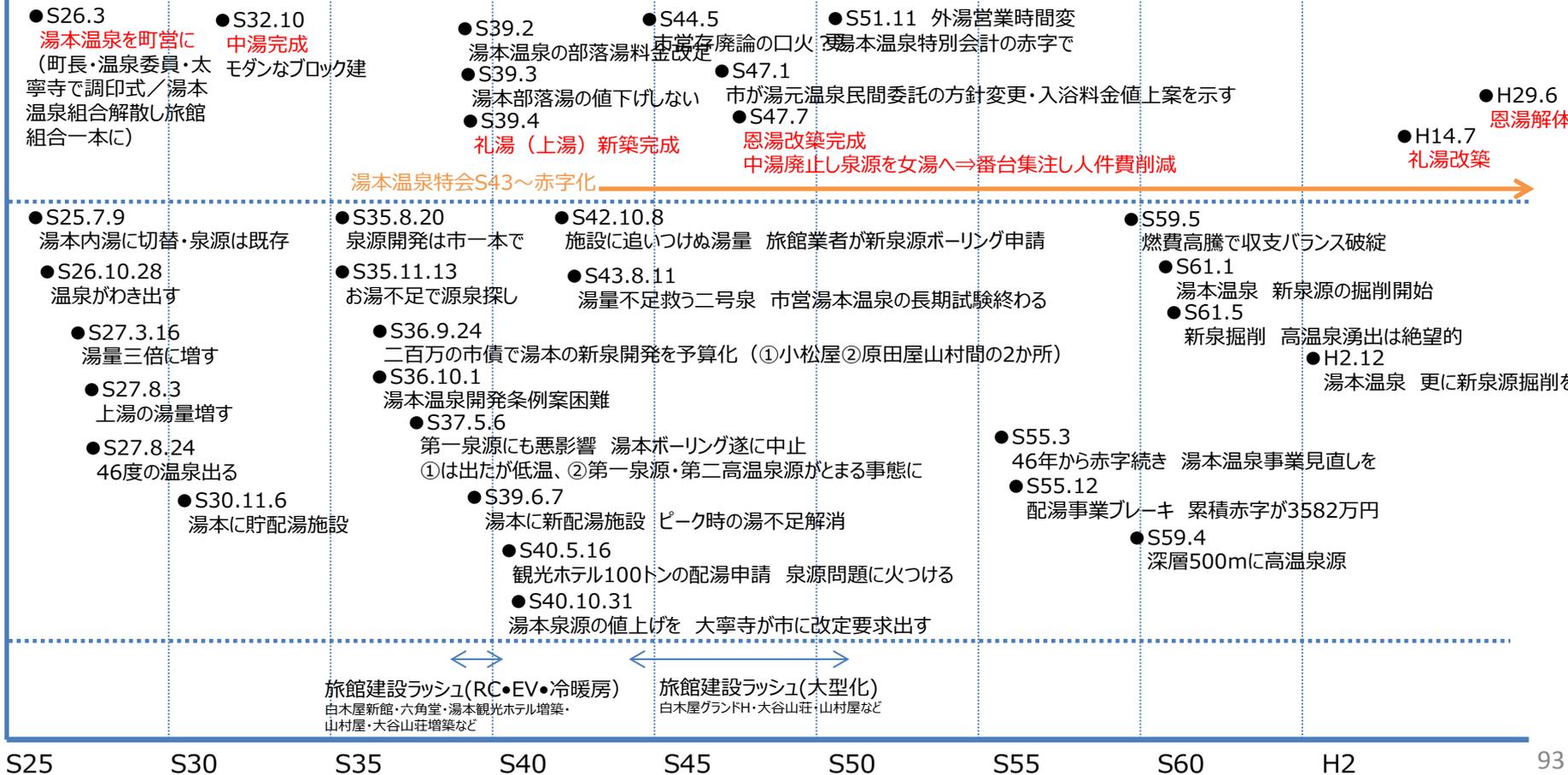
外湯

お湯

旅館



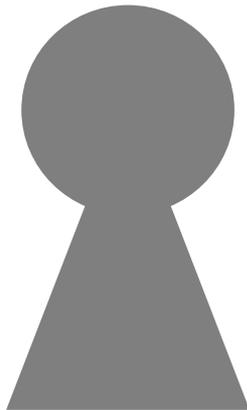
【湯本温泉平の湯元殿】



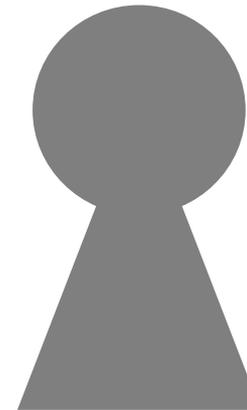
①観光まちづくりの進め方／コア事業の推進主体

人口減少・財政難の中での事業の進め方

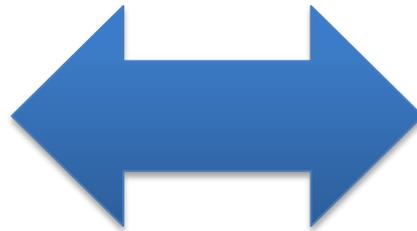
行政



民間主体



パートナー



パブリックマインドをもつ良き民間主体
を稼がせる
行政しかできないことをやる

リスクを負い事業を推進、きちんと
稼いで、利益をまちに再投資する

信頼できる民間を探し出し相互の役割をきちんと

① 観光まちづくりの進め方

マスタープラン主義からの脱却

- ・リスクを持つ事業主体が大切
- ・最初に決めすぎず常に更新するもの
- ・小さく質を高く始めて大きく育てるプロセス

同時多発的な小さくとんがった事業からスタートして、各々が確実に事業性を確保し、段階的に再投資拡大していくという順番

①観光まちづくりの進め方

ビジョンの共有

(市計画と地元意向のすり合わせ)



はじまりの事業を具現化する (重要なポイント)

① 恩湯・雁木広場・川床

② cafe&pottery 音



はじまりの事業を地域総出で応援し成功させる



利益を出し再投資、第2第3の事業を具現化

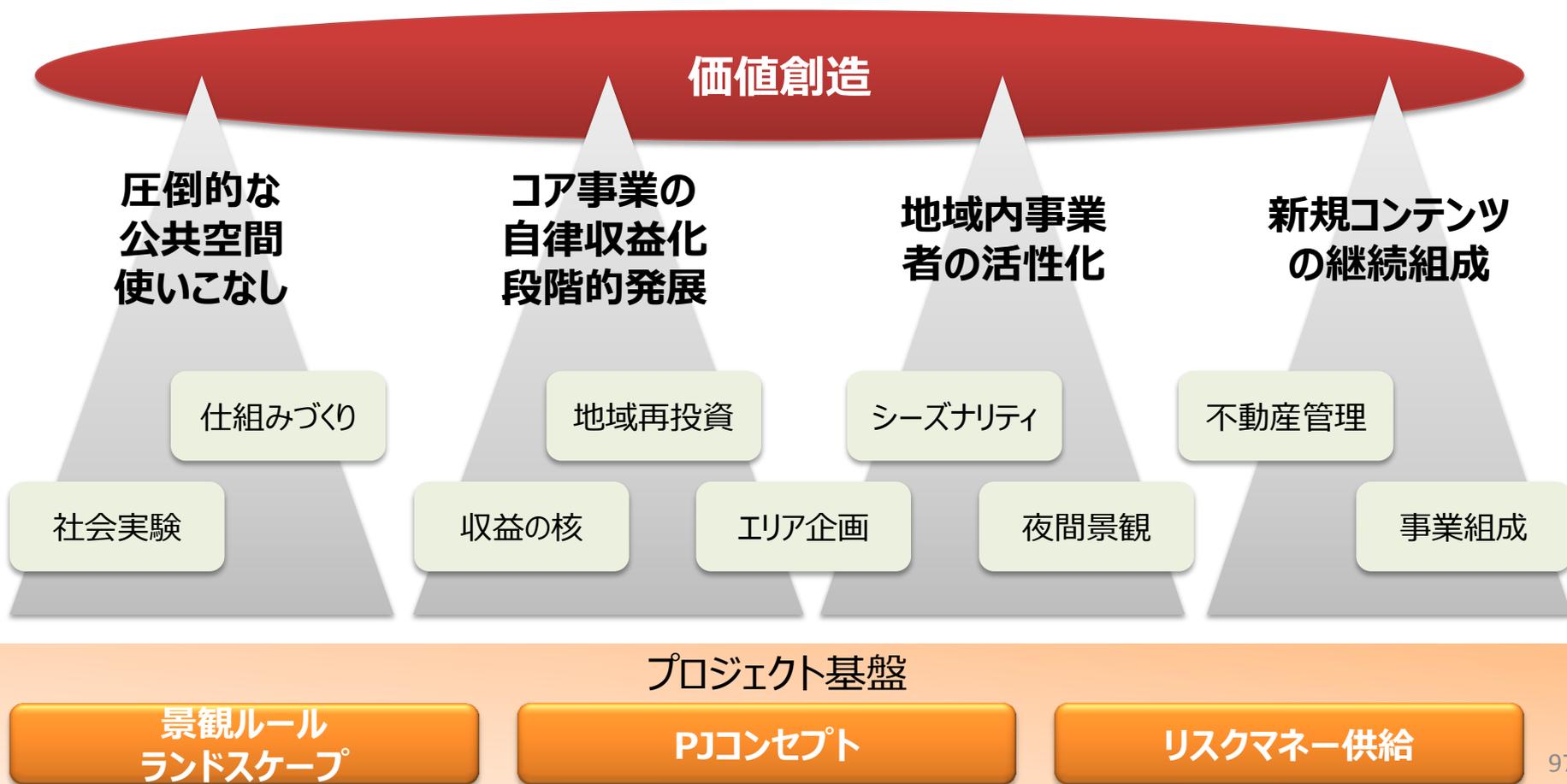


エリア全体の運営へ、国内外へ発信

① 観光まちづくりの進め方

トップ^o10を目指す考え方

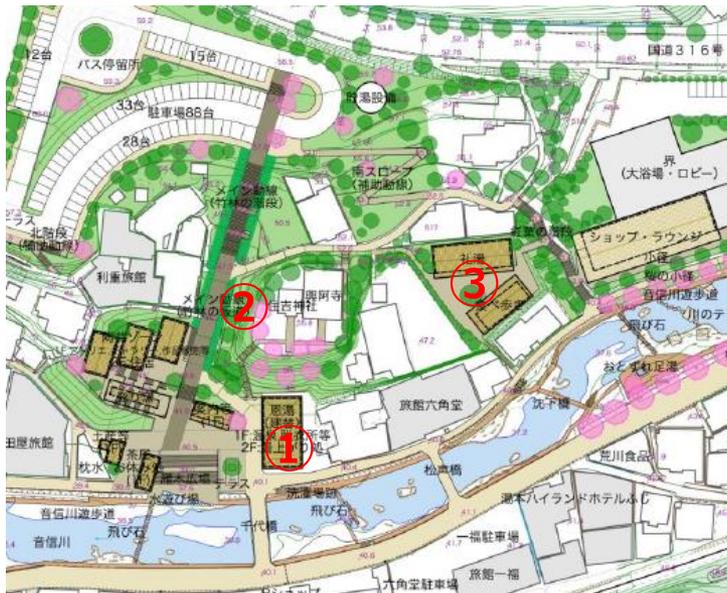
TOP 10の温泉街形成
[温泉街形成（6つの要素）、コアコンテンツ（川、湯、萩焼）]



① 観光まちづくりの進め方／恩湯・礼湯の考え方

- ・恩湯は建て替え
- ・礼湯は礼湯跡を源泉位置で見える化
(源泉・歴史性を大事にする)
- ・新礼湯位置に第3の湯または別の回遊拠点を将来的に検討
(今回の事業の対象とはしない)

礼湯泉・源泉



竹林の階段全景



礼湯泉・源泉は格式ある屋根、水盤、銘板によって構成

②コア事業の方針、当初勝負する中核コンテンツと回遊性の考え方

- (1) 長門湯本温泉の歴史や文化、特徴を活かした計画であること
- (2) 収益性のある自立した事業であること
- (3) 当初は恩湯周辺の質を高めることに集中投資し、その後段階的に投資すること
- (4) 恩湯単体ではなく、地先エリア一帯の魅力を高める事業であること
- (5) 地域の事業と連携し周辺事業者の事業機会を増やすこと
- (6) 事業者の経営状況で恩湯の継続が左右されないような工夫をすること

回遊性をさらにあげる方法



川に開く建物・道路活用



川を楽しむ仕掛け



夜間景観づくり



空物件活用の素敵なお店



おいしいもの！



夜楽しめるコンテンツ
地域のおもてなし

当初の中核コンテンツ



恩湯の特徴・泉源・デザイン



川床&川沿い道路



ちよいバイトちよい飲み



萩焼カフェ



おいしいもの！



夜間景観づくり

TOP10を目指すための6つの要素（計画より）

風呂（外湯）

そぞろ歩き
（回遊性）

食べ歩き

絵になる場所

文化体験

休む・佇む空間

③ 恩湯・泉源の活かし方

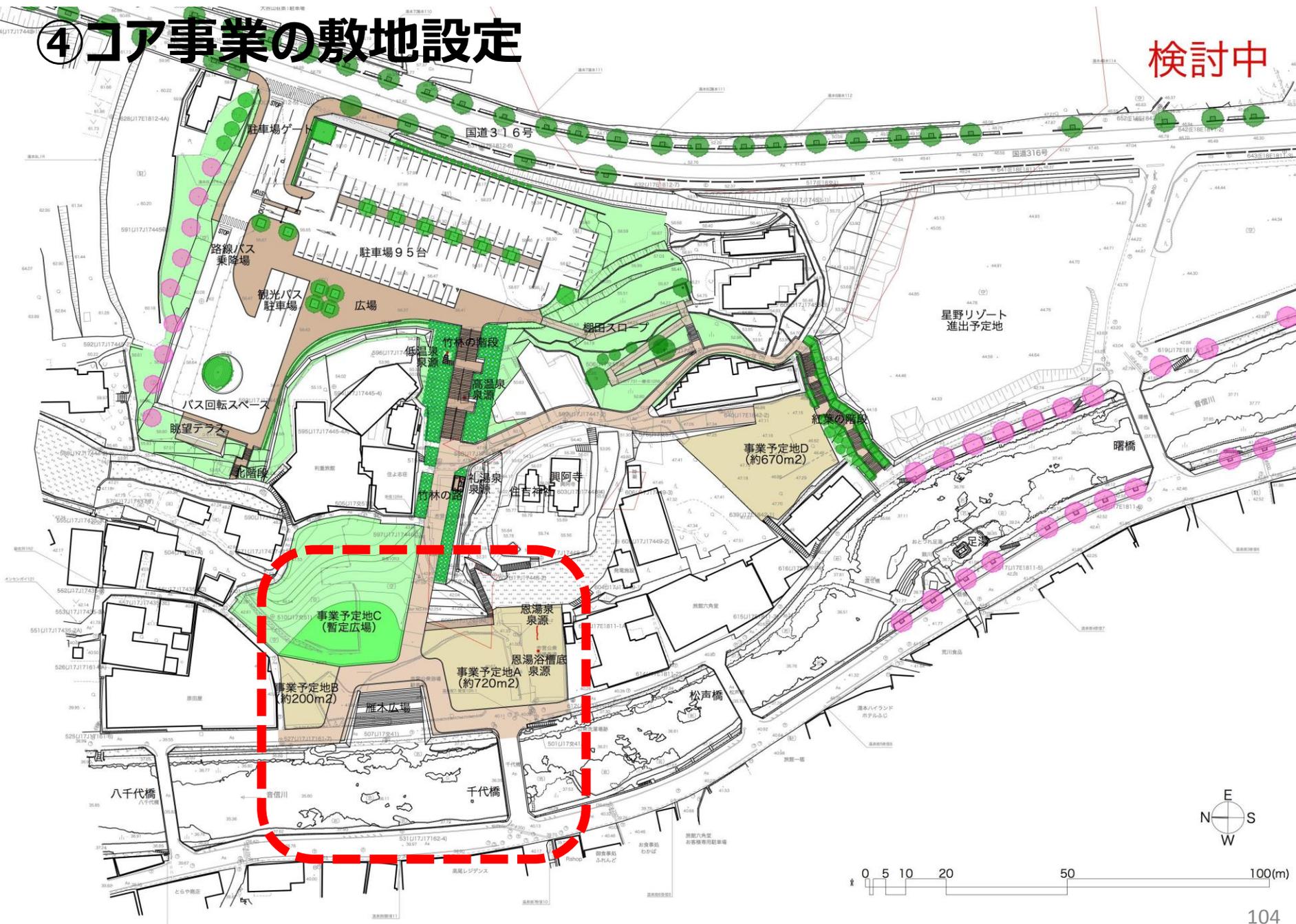
専門家の意見を参考に方向性を議論

- 1) 岩盤から直接湧き出る特徴を最大限に活かす
現状の泉源をそのまま活用し、見せる触れさせるなどを重視
(ボーリングして泉源保護をするという対応はしない)
- 2) 泉源に対するリスク回避策をきちんと考慮する
 - ・旧恩湯の男湯女湯の仕切り壁を撤去せず活かす
 - ・岩盤への荷重の配慮
 - ・万が一の泉源が変化した時の対応ができるように建物側で配慮する



④コア事業の敷地設定

検討中



④コア事業の敷地設定

- ・2敷地（恩湯・枕水跡）は確定
- ・陶芸ゾーンの一部敷地組み込みの提案を受け付ける



検討中

⑤ 景観デザインガイドライン骨子案

湯本らしい生活景観
開発前に自主ルールを
外部資本とのトラブル防止

活用 & 夜景 & もてなしは
価値を高める常套手段

1. 住宅・店舗・木造旅館に関するルール

1. 屋根形状

屋根の形状は入母屋や切妻、寄棟等の2方向以上に勾配のある屋根とし、十分な軒の出を確保しましょう。

- ・長門湯本温泉の町並みは段階的に変化してきました。明治後期までは茅葺屋根が多く、その後、瓦葺きの格調高い入母屋屋根が普及してきました。屋根の向きは様々で平入りや妻入りで統一された町並みではなく、多様性のある豊かな町並みでした。
- ・現在では、入母屋屋根より切妻屋根が主流となっておりますが、住宅や店舗の94%が勾配屋根です。
- ・軒の出を十分確保することで、建物の外観が美しくなるとともに、木造建築を長持ちさせることができます。
- ・屋根勾配は急勾配にせず、周囲の町並みに調和する屋根勾配としましょう。



2. 屋根材料
長門湯本温泉の温泉街らしい佇まいの再生が望まれる湯本地区では、石州瓦などに代表される赤瓦の瓦屋根を基本としましょう。三ノ瀨地区・門前地区では、屋根は瓦屋根を基本としましょう。やむをえず、素材を鉄板葺きとする場合や赤瓦以外の色彩の瓦を使う際には、灰色や黒などの落ち着いた色彩を採用しましょう。

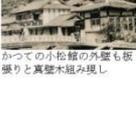
- ・長門湯本温泉周辺の山間地の集落などでは、石州瓦に代表される赤瓦の美しい集落景観が残っています。
- ・長門湯本温泉の屋根の素材は、明治後期までは茅葺、その後、瓦葺きが普及してきました。現在でも約90%が瓦葺き屋根です。
- ・瓦の色はかつては周辺の集落と同様に赤瓦が多く用いられてきましたが、現在では黒瓦や銀黒瓦なども増え、赤瓦の割合は20%程度となっています。



3. 外壁

外壁は、板張りや基本としましょう。材料は、木材や塗壁など、自然素材を積極的に活用しましょう。やむをえず新建材を用いる場合は、濃茶、黒、白、ベージュなど、自然素材と調和する色彩を採用しましょう。

- ・長門湯本温泉の住宅や店舗の約5割が板張り及び木組みと漆喰の外壁です。
- ・木材は将来にわたって確保でき、部分的な補修もできる優れた素材です。また多くの人が長門湯本温泉らしさを感じる材料です。
- ・外壁は、板張りを基本とし、材料は、木材や塗壁など、自然素材を積極的に活用しましょう。
- ・対象地区のうち、湯本地区は都市計画で準防火地域と定められており、外壁や軒裏に防火構造が求められます。
- ・これまで、準防火地域では、外壁はモルタル塗とすることや防火サイディングを活用することが一般的でしたが、近年は設計上の工夫で準防火地域でも外壁に木材を活用することが可能です。



4. 開口部

湯本地区の音信川沿いの建物の多くは、川を楽しむため、川に対して開放的な設えとし、2階以上に連続した開口部を設けています。このような川を楽しむ文化とそれが生み出す町並みを継承しましょう。

- ・音信川がまちの中央を流れ、2階以上の川沿いの窓から、川の流れを楽しむことは長門湯本温泉ならではの魅力です。
- ・このような魅力は最大限活用して結果として、2階以上の音信川に向けた水平に連続する開口部が、長門湯本温泉の町並みの特徴となっています。



5. 開口部の意匠

開口部を構成する、戸袋、窓枠、手摺、高欄などについて積極的に木質化を図りましょう。また、開口部の上部には霧除け庇を設置しましょう。

開口部の建具は、木製建具を積極的に活用しましょう。防火性能や断熱気密性能、コストの関係から、やむをえずアルミサッシとする場合は、黒や濃茶などの落ち着いた色彩としましょう。また、網戸の色彩にも配慮しましょう。

- ・長門湯本温泉では、開口部は町並みを構成する非常に重要な要素となっています。
- ・開口部は、建具、窓枠、戸袋、手摺、高欄、霧除け庇などで構成されており、これらの要素を木質化することは、町並みに潤いを与えます。
- ・川に対する開放的な設えと安全性を両立するため、開口部には高欄や手摺が設置されています。これらの高欄や手摺の意匠は、大工さんの腕の見せ所でもあり、それが町並みの豊かさを生み出してきました。



6. 下屋庇・オーニング・看板建築

老朽化した新建材の看板を外し、修景を図りましょう。また、下屋庇やオーニングを設置し、町並みの連続性を生み出しましょう。

- ・建物を覆う新建材の看板建築やビニール製のテントなどが、時間の経過により老朽化しています。老朽化した新建材の看板を外し、修景を図りましょう。
- ・商店の外壁も木材や塗壁などの経年美化する自然素材を積極的に活用することが大切です。
- ・また、町並みの連続性を生み出し、商店として人を迎える構えとして、下屋庇やオーニングを設置することが考えられます。



7. シャッター

夜もそぞろ歩きのできる温泉街を目指すため、雑戸シャッターは極力避けましょう。

- ・「シャッター通り商店街」という言葉に代表されるように、雑戸シャッターは寂れた町や閉鎖的な町という印象を与えます。夜もそぞろ歩きのできる温泉街を目指すため、雑戸シャッターは極力避けましょう。
- ・防犯対策として、開口部への木製格子の設置、セキュリティカーブスの活用など、防犯と景観の両立を目指しましょう。



8. 設備機器

エアコン室外機や自動販売機などの設備機器の見え方に配慮しましょう。

- ・露出したエアコン室外機、プロパンガスボンベ、給湯器、自動販売機などは町並みを乱します。
- ・設備機器は通りから直接見えない位置に設置しましょう。やむをえず通りから直接見える場所に設置する場合は、木箱で覆う、格子で目隠しするなど工夫しましょう。



9. サイン・看板

看板を設置する場合は、町並みを乱さないよう控え目な看板とし、設置箇所は極力最小限にしましょう。また、看板はデザインされたおしゃれな看板にしましょう。

- ・サインや看板には様々な種類がありますが、車のスピードでも視認できるような、大きな看板(壁面広告・屋上広告・ポールサイン、連棟サイン・看板建築など)は町並みを乱します。
- ・一方、人が歩いて視認できるようなサインは、控え目な看板(壁面看板・袖看板・平置き看板・突き出し看板・スタンド看板など)でも構いません。しかし、視認する時間が長くなるため、そのデザインやデザインが重要となります。
- ・看板を設置する場合は、町並みを乱さないよう、控え目な看板とし、設置箇所は極力最小限にしましょう。また、看板はデザインされたおしゃれな看板にしましょう。
- ・イベント時などの賑わいを演出するための、のれんやのぼりなどもデザインに配慮しましょう。
- ・夜間も看板が読めるように看板をライトアップすることは問題ありませんが、電飾看板などは避けましょう。
- ・既存のネオン看板については、文脈の継承の観点から再利用することが考えられますが、新たにネオン看板を増設するの避けましょう。



10. 駐車場・車庫

駐車している車が町並みに露出しないように、生垣や板塀で隠しましょう。また、大規模な駐車場は積極的に樹木を植えましょう。車庫の外壁は板張りを推奨しましょう。開口部には木製扉や格子戸を設置し、内部が見えないように配慮しましょう。やむをえず、シャッターとする場合は濃茶などの色彩としましょう。屋根は色彩に配慮しましょう。



II. 夜間景観に関するルール

訪れたい風景「散策する楽しさ」「住まう誇り」につながる「長門湯本らしい夜間景観」のために以下の6つの項目に対して守るべき目標を設定します。

- ①あかりの色(色温度)・・・温泉地らしさのために
- ②あかりの点灯時間・・・安全安心を強化
- ③豊かな緑を活かすルール・・・誰もが感じる美しき心地よさと安心感
- ④まちの顔づくり・・・長門湯本だとひとめでわかる夜景をつくる
- ⑤まちのシンボルや特徴を活かす・・・町全体をミュージアムへ
- ⑥サイン/看板の照明・・・上質な観光地にふさわしいデザインへ

1. あかりの色

まちのあかりの色は、電球色にしましょう。

- ・黄色く、暖みのある光の色を「電球色」と呼びます。
- ・温泉街や住宅地では、寒しい白色の光よりも、情緒的で落ち着いた電球色が似合います。
- ・蛍光灯にもLED電球にも電球色があります。



×白色のさびしい旅館街



×白色の旅館宴会場



×白い街灯の目立つ住宅街



○電球色のおちついた旅館街



○電球色の上質感のある旅館宴会場



○電球色のあたたかな住宅街

2. あかりの点灯時間

門灯や軒先の提灯などの外部の明かりや、道に面した窓際やお店のあかりは22時まで点灯しましょう。

- ・夜のそぞろ歩きが楽しく、暗がりのない安全安心な街並みをつくりましょう。
- ・タイマーを付ければ、自動で点灯・消灯をすることも可能になります。
- ・また光源がLEDであれば、点灯時間を長くしても電気代は僅かにしかかかりません。(7WのLED電球1つあたり、5時間点灯で ひと月あたり2.8円程度です。)



×暗し、建物の濡れもなく歩行に不安のある道



○建物の濡れや軒先の提灯がいており安心感と情緒のある通り(天橋立)



○建物の濡れは、雨後も点灯している(會館)

3. 豊かな緑を活かすルール

道や広場に面した樹木は、できるだけライトアップしましょう。

- ・昼間は癒しを与えてくれる樹木ですが、夜になると影になり暗がりをつくってしまいます。
- ・道や広場から見える庭木をライトアップすることで、安心感と心地よさをまちにもたらします。
- ・参道や散策路など民間敷地の緑がまちの景観をつくっている場合も多いので、わずかも樹木のライトアップができれば、大きな安心感のある貴重なまちの風景となります。
- ・ライトアップも、暖かみのある電球色のあかりで行いましょう。



×樹木が暗がりをつくっている



×影があるが、真つ暗でも見えない



×影があるが、樹木が影になっておりプロムナード



○ライトアップで樹木が主役になった旅館の中庭



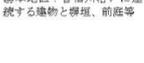
○立派な木がライトアップされ見えるようになり、夜の風景ができるようになった。



○樹木がライトアップされ、安心感のある歩いて楽しむプロムナード

11. 付属屋

付属屋の外壁は板張りを推奨しましょう。やむをえず、その他の素材を採用する場合は、濃茶や黒、グレーなどの目立たない色彩としましょう。屋根は色彩に配慮しましょう。



12. 塀垣・門・石積擁壁・前庭

湯本地区、門前地区、三ノ瀬地区のそれぞれの地区の町並みの異なる魅力を生み出すのが塀垣、門、石積擁壁、前庭の構成です。各地区の魅力や特徴を維持・継承していきましょう。駐車場や空き地などによって町並みの連続性が途切れている個所には、積極的に塀垣を設置し、町並みの連続性を再生しましょう。



- ・門前地区は、石塀とその背後にある前庭が生み出す町並みが特徴的です。
- ・三ノ瀬地区は、石積みや生垣、門、美しい庭園などが生み出す豊かな町並みが特徴です。
- ・湯本地区の音信川沿いの建物は、商店などは通りに連続し、旅館や住宅は板塀や石塀、門、前庭などで連続性のある町並みを形成しています。各地区の魅力や特徴を維持・継承していきましょう。
- ・塀や垣根の高さは圧迫感を与えない高さとし、背後の緑を感じられること、板塀のデザインは背後の庭が隙間から垣間見られる状況を生み出すことが豊かさにつながります。
- ・駐車場や空き地などによって、町並みの連続性が途切れている個所には、積極的に塀垣を設置しましょう。
- ・新たに設置する際は、金網フェンスやブロック塀は避けましょう。

まちの顔づくり

軒先に長門湯本温泉オリジナルデザインの提灯をつけましょう。

- ・共通のデザインの提灯を街中の軒先に付けることで、「ひとめで長門湯本だとわかる風景」「ここでしか見れない街並み」をつくることができます。
- ・長門湯本温泉のオリジナルデザインの提灯を掲げ、情緒的な温泉街の夜景づくりを行いましょう。



×通り筋に置かれる、オリジナル提灯が

○軒先にオリジナル提灯をつけたイメージ、オリジナル提灯デザイン案情緒的な雰囲気をつくる。



まちのシンボルや特徴を活かす

まちのシンボルをライトアップしましょう。

- ・大寧寺や住吉神社のような由緒ある寺社仏閣、三ノ瀬の登り窯、街の中に多く見られる石垣や橋などは長門湯本温泉ならではの大切な景観資源です。また、足湯・源泉などの施設、旧温泉のネオンなども、新たににつくれる恩湯施設などのランドマークとともに、まちの物語を語るシンボルです。
- ・これらのシンボルの演出やランドマークのライトアップによって、今まで以上にまちの記憶を大切にしたい・住みたい長門湯本に育てていきましょう。



×電線で何があるか夜間にもわ

○住吉神社の階段のライトアップ

○お池のこみち(大寧寺参道)のライトアップイメージ

○石垣のライトアップイメージ

サイン・看板の照明

下記のような看板は、温泉地や住宅地に相応しくないで、できれば改善しましょう。

- 眩しすぎる ○派手な色彩 ○速い速度で動く・点滅する ○大きな音ができる
- ・白すぎる内照式の看板は、落ち着いた温泉地には似合いません。既存の看板がある場合は眩しさが夜間景観阻害の原因となる場合もあるので、買い替えなどのタイミングで電球色に変えましょう。
- ・切文字(箱文字)型のバックライト文字や、外から照らす板状の看板は、上質な印象や和風のまちなみをつくりません。
- ・提灯や行灯のような和風のものは、内照式でも情緒があるため、推奨されます。



○切り文字の看板

○異照式の看板、提灯の看板

○行灯の看板



×派手な内照式看板・黄色のネオン

×眩しく、派手な色、速い動き、大きな音の出る看板(デジタルサイン等)



×派手な色、速い動きのある看板

⑤ 景観デザインガイドライン骨子案

景観ガイドライン（目標）

（1）民地デザイン

- ①屋根：形状・材料
- ②外壁：色彩
- ③開口部：意匠
- ④下屋庇
- ⑤オーニング
- ⑥看板建築
- ⑦シャッター
- ⑧設備機器
- ⑨サイン・看板（昼）
- ⑩駐車場・車庫
- ⑪付属屋
- ⑫塀・門・擁壁・前庭

（2）公共空間活用

- ①川床：大きさ・素材・色彩
- ②道路

（3）夜間景観

- ①あかりの色
- ②点灯時間
- ③樹木ライトアップ
- ④オリジナル提灯
- ⑤まちのシンボル
- ⑥サイン・看板（夜）

（4）もてなしシーン

- ①シーンづくり
（利活用系・もてなし系）
- ②建物を道に開く
- ③地先公共空間の活用
- ④もてなしアイデア
- ⑤あかりの作り方
- ⑥がっかりするもの、
やめたいもの

景観協定（法規制）

（1）用途：湯本

→性風俗・ギャンブルは×
（夜間営業は○）

（2）サイン・看板（昼・夜）：3地区

※山口屋外広告物条例を調査

→自主・非自主広告

→動くサインージ広告（映像・文字）
電飾看板（動くもの）

（3）外部あかりの色：湯本+門前

→3000K以下



協定委員会にて景観ガイドラインと景観協定を運営

- ・協定者（理事数名）
- ・専門家（2～3年はデザインチーム+設計者・施工者WSから）

⑥ 求める空間デザインのメッセージ

■ 評価項目のイメージ（すべて活用イメージとセット）

① 歴史・文化をふまえたシンボル性

（温泉由来、大寧寺・萩焼・南条おどり、住吉さんなど）

② 泉源の活かし方、他にはない特徴づけ

③ 建物とオープンスペース（雁木広場・川床など）が一体となった使われ方

④ エリアの夜間景観をリードする

意見交換会の概要

- ・事業が早く進みすぎていて、地元への説明が不十分でないか？
→2年後に完成するタイトなスケジュールで、5月から急いで地域の住民や事業者、関連事業者ヒアリング、星野リゾート、大寧寺などの意向を聞き提案している。今回の意見交換のようなことは随時実施していきたい。
- ・段階的な計画となったのは何故か、どうして2つ同時に建替えないのか？
→住吉神社・興阿寺の境内に2つの外湯が存在した歴史性を尊重し、地域の思い入れが深い恩湯を真下から湧き出す泉源を活かし建替え、今は使われなくなった礼湯泉源は見える化する。当初は恩湯・飲食物販・雁木広場・川床のコアエリアに官民の投資を集中し魅力を高め、質の高い採算性が見込める民間事業を成功させ、数年してお客さんが増えた段階で次の投資エリアや事業者公募を考えるのが、事業者誘致や着実な事業推進にはよいと考える。現段階ですべての事業者を募集しても将来の変化がイメージしやすく応募も限られるが、コアエリアが整備運営された後では新たな事業者が興味を持ってくれる可能性も広がる。
- ・事業者のあてはあるのか？
→公募はこれからだが関連事業者へのヒアリングでは事業成立の可能性はあるという結果になっている。
- ・両方の外湯が無くなる期間はなるべく短くしてほしい
→工事工程を工夫してなるべく短くなるよう最大限努力し、その間のケアも検討する。
- ・整備する通路などの脇にちょっとしたお店があると歩くのが楽しくなると思う。来た人がまた来たいと思ってくれるような街にしたい
→まさに恩湯以外の部分に回遊性を高められるよう、事業者を呼び込むべく仕掛けをしている。
- ・お年寄りが多く利用されているので、スロープの設置など誰もが利用できるような温泉にしてほしい
→駐車場からのスロープの設置や、乗降場所の確保などを検討している。